SHARP

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形 名

LC-30HV3
(エル シー エイチブイ)

はじめに設置する
テレビを楽しむ
外部機器との接続
お知らせ
Quick Start Guide
(クイックスタートガイド)

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに

設置する

テレビを楽しむ

テレビを楽しむ（つづき）

外部機器との接続

お知らせ

Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

ご注意 お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

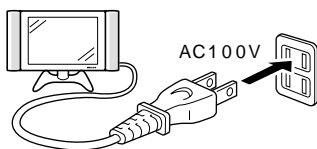
記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

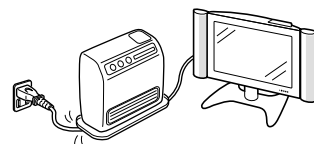
記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

火災・感電の原因となります。

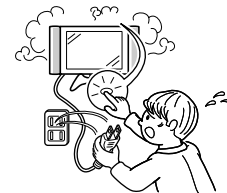
電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

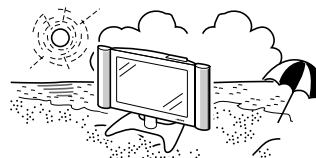
電源プラグ
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグ
を抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入ったり、ぬらさない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

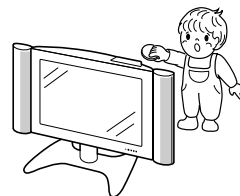
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、テレビの電源を切り、電源プラグを抜く

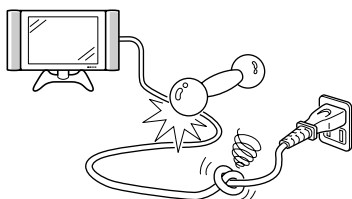
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

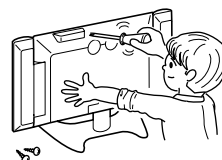
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などから物を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

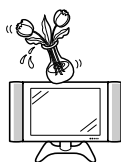
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱しない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

テレビの裏ぶたを外したり、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

テレビの上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

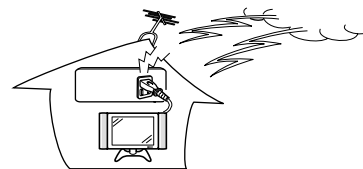
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

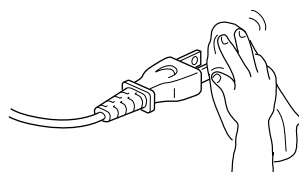
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

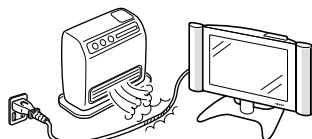
電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

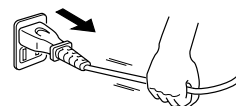
安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

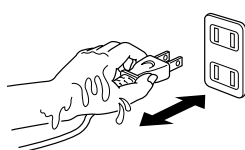
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

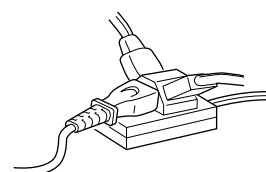
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

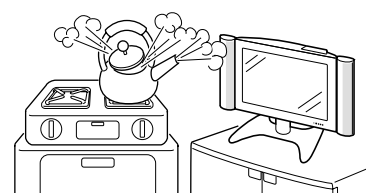
禁止

火災・感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

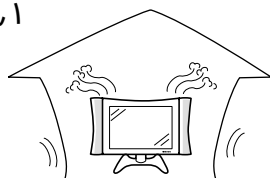
離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

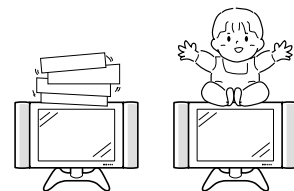
湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たる所に置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

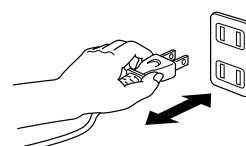
あお向けや横倒し、逆さまにしない・風通しの悪い所に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

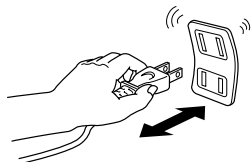
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

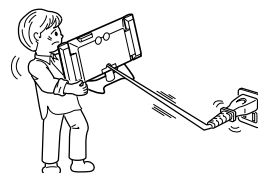
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

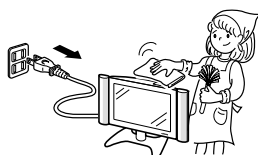
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

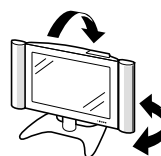
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

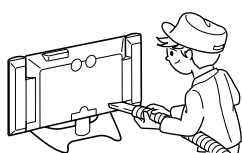
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

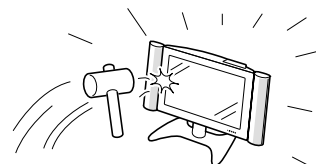
スタンドの角度を調整するときは注意する

注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。(角度調整の範囲…前方10度、後方8度、左右各10度以内)

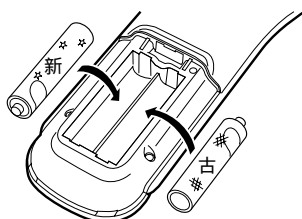
3年に1度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する

注意

内部にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない

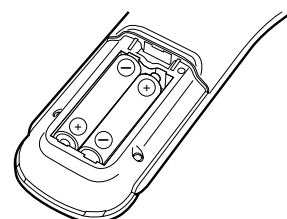
禁止

液晶画面のガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

指定以外の電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

禁止

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは極性表示(プラスとマイナス)の向きに注意する

表示通りに入れる

破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

• この取扱説明書でテレビと表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

本機の特長

30V型ワイドXGA液晶パネルを搭載(ブラウン管テレビ32型相当)

- ASV※1方式低反射ブラックTFT液晶により広視野角、高コントラストを実現。
- 高効率バックライトシステムにより、高輝度を実現。
- 当社独自のデジタル高画質化回路「D.D.H.Q.システム※2」採用。

※1:ASV…Advanced Super Viewの略。

※2:D.D.H.Q.システム…Digital Direct High-Qualityシステムの略。

チューナー部を薄型ボディーに一体化

- 奥行き8.5cm 質量約16.9kg※3の薄型・軽量ボディーに、チューナー部を一体型で内蔵。
- オールインワンスタイルなので、手軽に設置・移動が可能。

※3:ディスプレイ部+スピーカー部装着時(スタンド部除く)の寸法、質量です。

ダブルパワーサウンドシステムによる高音質

- 薄型フォルムの中で臨場感あふれる高音質を実現するバスレフ式エンクロージャー(スピーカーボックス)と、スピーカーに迫力ある音を再生させる「ダブルマグネット」の、2つのパワーユニットを採用。
- 加えて、デジタルアンプとBBE Mach3 Bass回路※4のシステム化により、メリハリのある低音とクリアなサウンドを両立。

※4:「BBE Mach3 Bass」はBBE社の登録商標です。

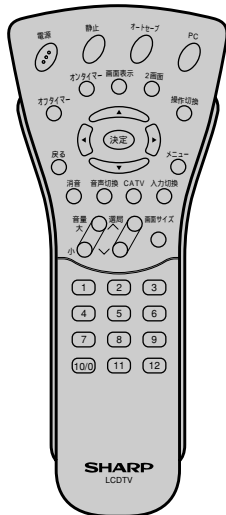
D4映像入力端子をはじめ、パソコンモニター(XGA)にもなるミニD-sub15ピンRGB入力端子など、豊富な入出力端子を装備

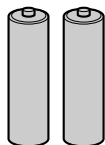
環境世紀にふさわしい、AQUOSならではの低消費電力・長寿命設計

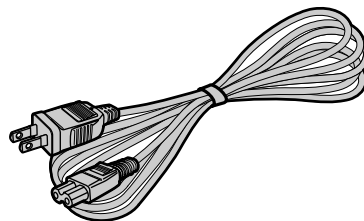
- 消費電力は約135Wと、同等画面サイズ32型ブラウン管テレビ(当社32C-PD5:190W)に比べ約29%削減の省エネルギー化を実現。
- 長寿命バックライトの採用。
- 周囲の明るさに応じてバックライトを自動的に調光し、節電する「オートセーブ機能」搭載。

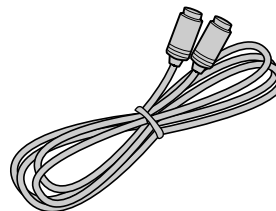
付属品

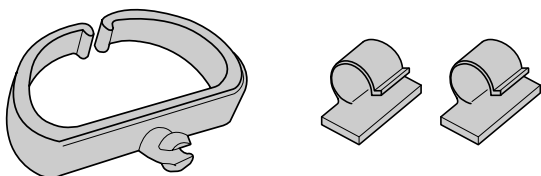
付属品をご確認ください

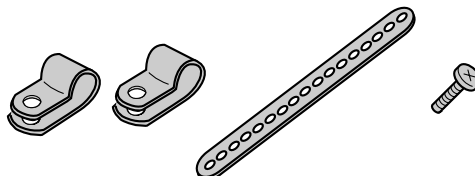
リモコン×１

（使いかた→１２ページ）

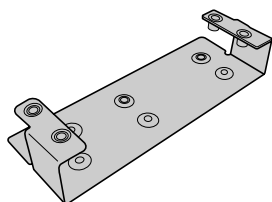
単４形乾電池×２

（使いかた→１３ページ）

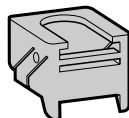
電源コード×１

（使いかた→１７ページ）

アンテナケーブル×１

（使いかた→１８ページ）

ケーブルクランプ（大×1、小×2）

（使いかた→８７ページ）

転倒防止用部品一式
（クランプ×2／固定バンド×1／ネジ×1）

（使いかた→１７ページ）

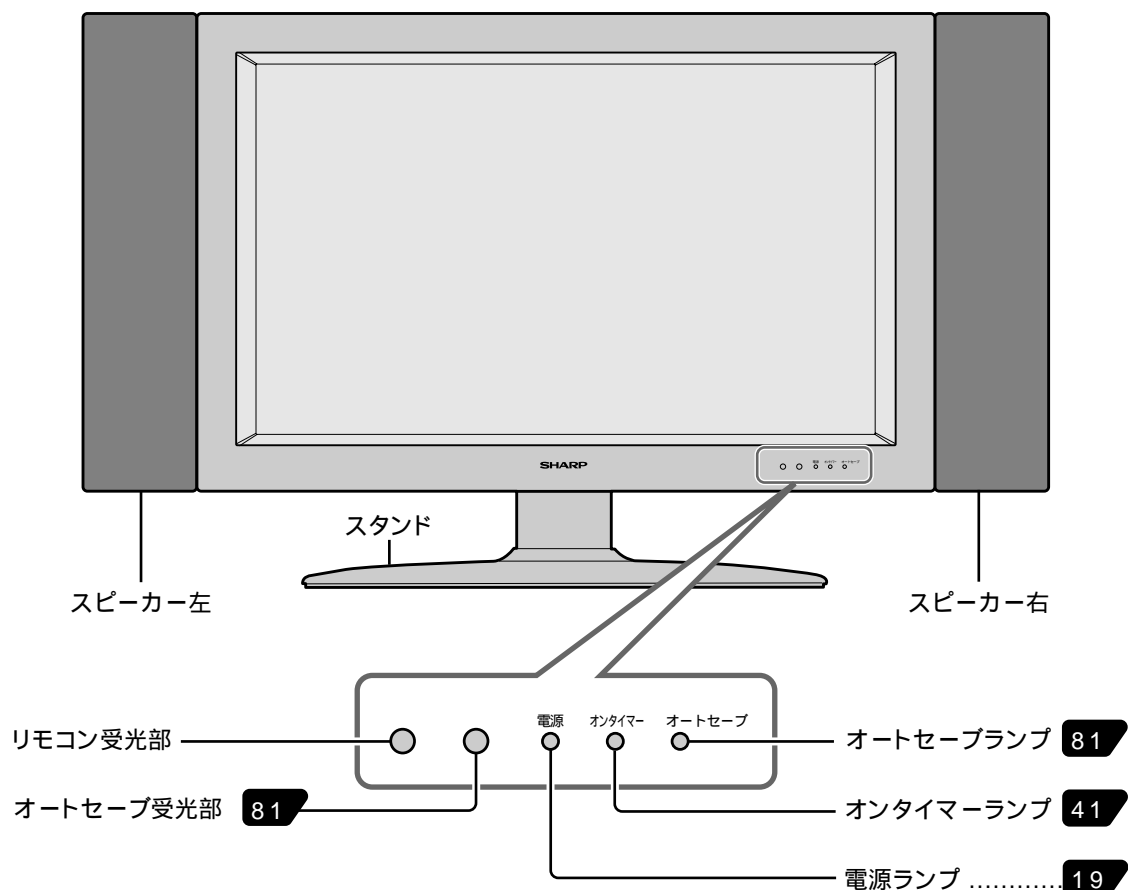
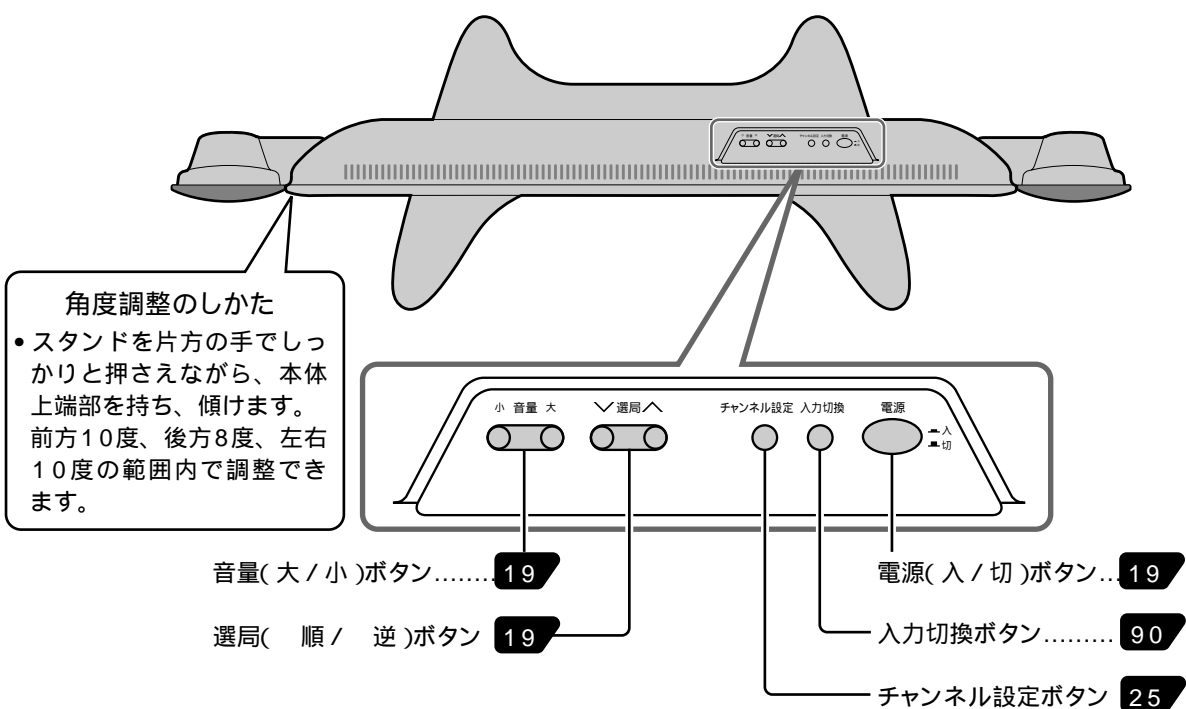
壁掛け金具用アタッチメント×1

（使いかた→１６ページ）

AVワイヤレス伝送受光部取付け台×1

（使いかた→１１０ページ）

- **取扱説明書×1**
- **保証書×1**

各部のなまえ(本体)

■ 　内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

本体(前面)

本体操作部(天面)

本体(後面)

• 端子については、86〜87ページの「端子のなまえとはたらき」もご覧ください。

ビデオ2入力端子 88

ヘッドホン端子 … 86

ビデオ1入力端子… 89

ビデオ3入力/コンポーネントビデオ1入力端子…………… 89

ビデオ4入力/コンポーネントビデオ2入力/モニター出力端子 89・102

アンテナ入力(VHF・UHF)端子 18

PC音声入力端子…………………… 106

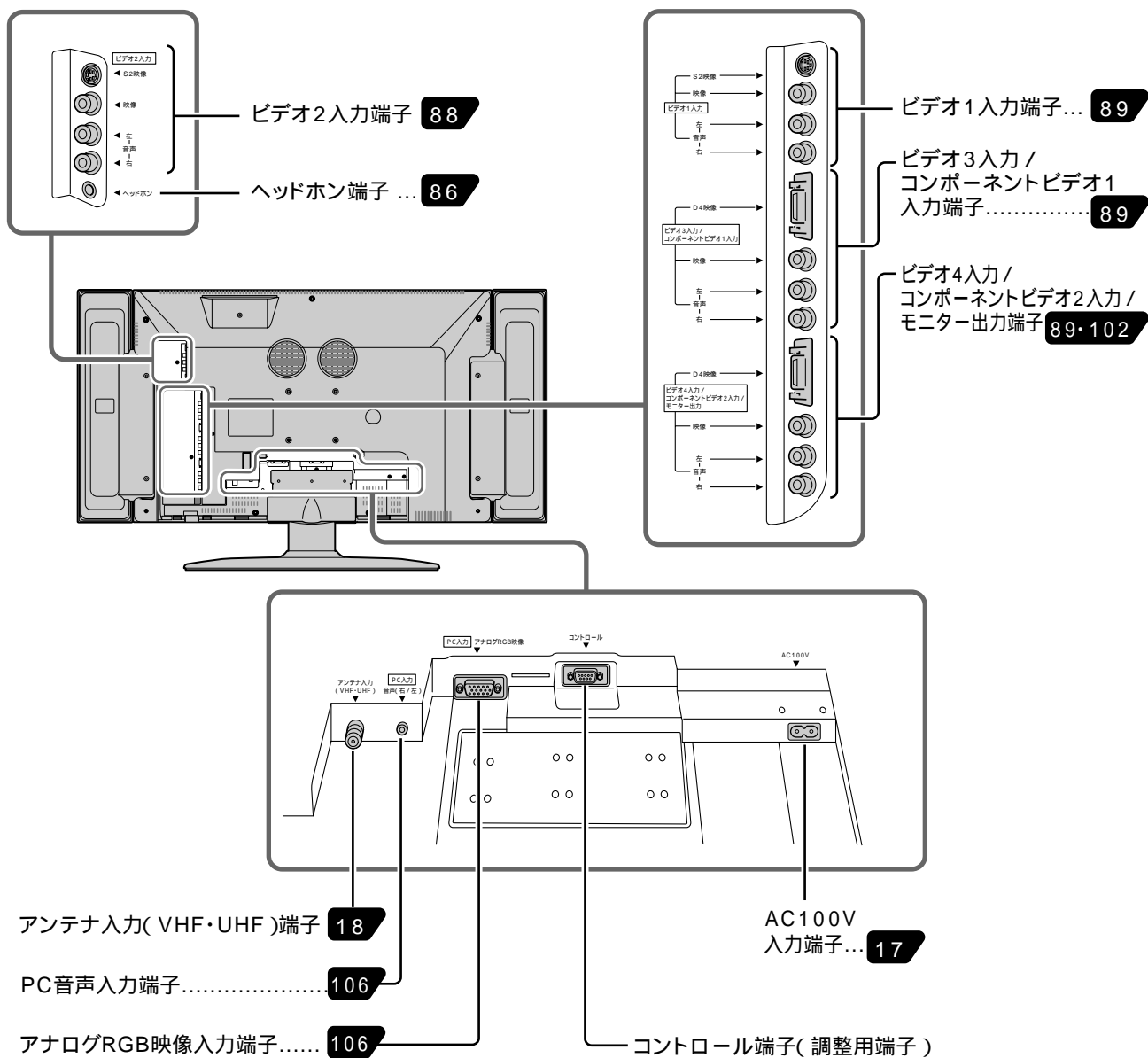
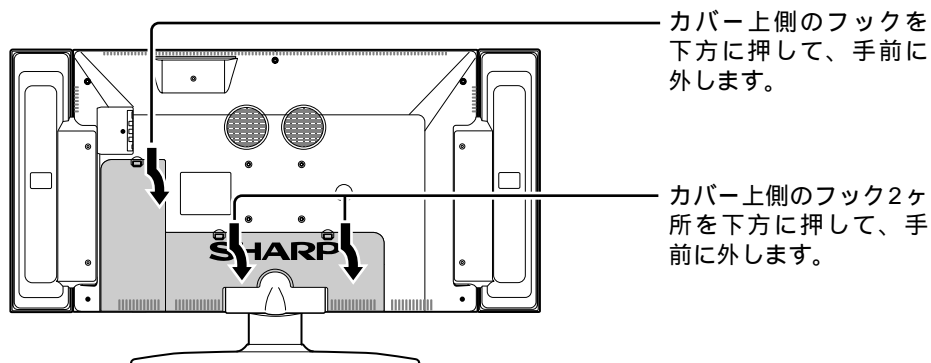
アナログRGB映像入力端子…… 106

AC100V入力端子… 17

コントロール端子(調整用端子)

端子カバーの外しかた

カバー上側のフックを下方に押して、手前に外します。

カバー上側のフック2ヶ所を下方に押して、手前に外します。

各部のなまえ(リモコン)

■ ▰ 内の数字は、本書で説明しているおもなページです。

静止……………… 78
視聴中の番組を2画面にして、静止画と動画で表示します。

電源……………… 19
電源を入／切(電源待機)します。

オンタイマー……………… 40
電源を指定時刻に入れます。

オフタイマー……………… 42
電源を指定時間後に切ります。

カーソル(上下左右)……………… 20
メニューや項目を選びます。

戻る……………… 20
1つ前の画面に戻ります。
操作を誤ったときや、やりなおしたいときは、決定ボタンを押さず、戻るボタンを押します。

決定……………… 20
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

消音……………… 19
音を一時的に消します。

音声切換……………… 73
音声モードを切り換えます。

音量(大／小)……………… 19
音量を調整します。

テレビチャンネル……………… 19
• 地上放送やCATV放送を選局します。
• チャンネル設定の入力にも使用します。

オートセーブ……………… 81
周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動調整します。

PC……………… 56
PCモードを選びます。
(PC［パソコン］画面が表示されます)

画面表示……………… 19
画面表示を入／切します。

2画面……………… 76
2画面表示にします。

操作切換……………… 77
2画面表示中の操作画面を切り換えます。

メニュー……………… 20
メニュー画面の表示を入／切します。

入力切換……………… 90
入力モードを選びます。

CATV……………… 19
CATV放送のチャンネル番号を入力して選局するときに使います。

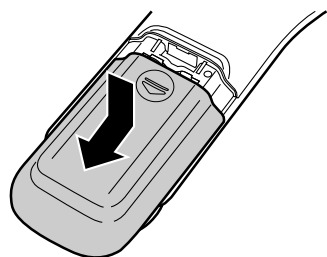
画面サイズ
お好みの画面サイズを選びます。
• テレビ／ビデオモード時……… 45
(ノーマルモード、ワイドモード、シネマモード、フルモード、オートモード)
• PCモード時……………… 56
(ノーマルモード、フルモード、リアルモード)

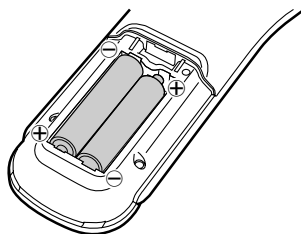
選局(∧順／∨逆)……………… 19
各種放送を選局します。
※工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています

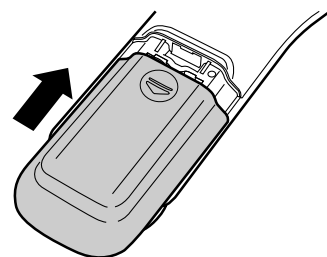
• 「音量」、「選局」、「入力切換」ボタンは本体でも操作できます。

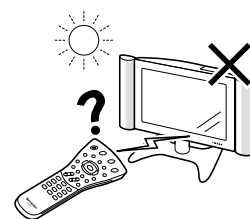
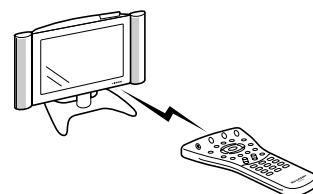
リモコンの準備と使いかた

乾電池の入れかた

1 カバーを開ける

▽部を押しながら、カバーをスライドさせます。

2 乾電池を入れる
[付属の単4形乾電池2個]

電池収納部の⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 カバーを閉める

下側のツメをリモコンに合わせて、カバーを閉じます。

■ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
■ リモコンには衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり温度の高いところには置かないでください。
■ リモコンは直射日光のあたる場所に取り付けたり、放置しないでください。
熱により変形することがあります。
■ 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン動作がしにくくなります。照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。
■ リモコンを操作してもテレビが動作しなくなったら乾電池の交換時期です。
新しい乾電池と交換してください。

注意

乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂することがありますので、つぎのことをお守りください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますのですぐに取り出してください。
  また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

おしらせ

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

お使いになる前の準備

1 リモコンに乾電池を入れる→１３ページ

2 アンテナ線を接続する →１８ページ

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

3 ビデオやオーディオ等、周辺機器を接続する →８６ページ

⚠注意
接続する周辺機器の取扱説明書を合わせてご覧になり、正しく接続してください。

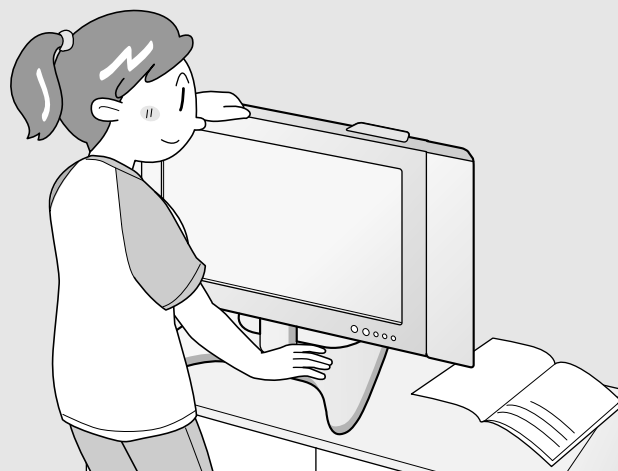
4 電源プラグをコンセントに差し込む

●接続した周辺機器に合わせて、コンセントに差し込んでください。

⚠警告
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意
旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

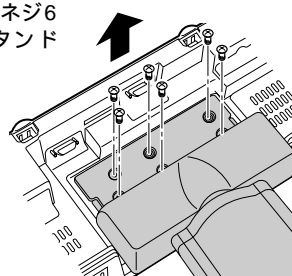
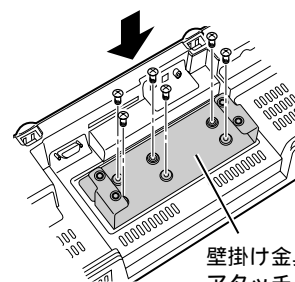
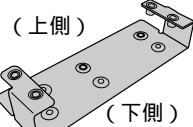
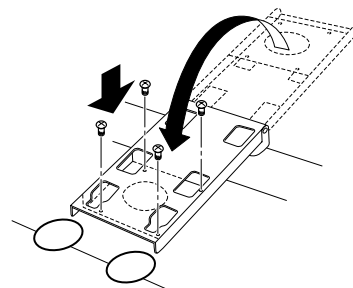
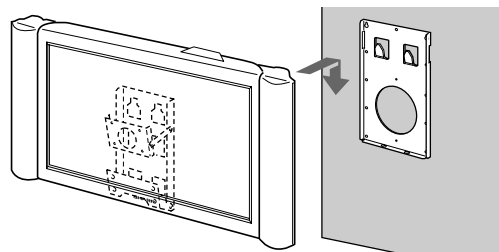
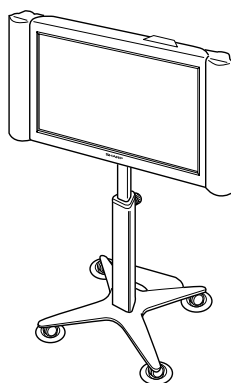
5 受信チャンネルの設定をする→２４ページ

設置する

設置のしかた

別売品を使って設置する

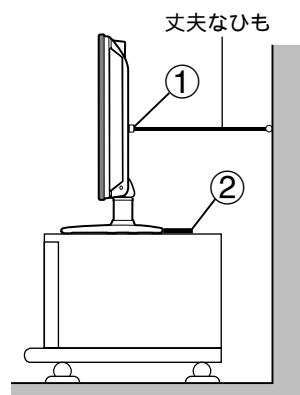
■ 本機を別売の壁掛け金具(AN-28AG1)や、フロアースタンド(AN-30FS1)に取り付けて使用することができます。
•取付け方法など、詳しくは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

壁にかけて使う〈壁掛け金具(AN-28AG1)〉

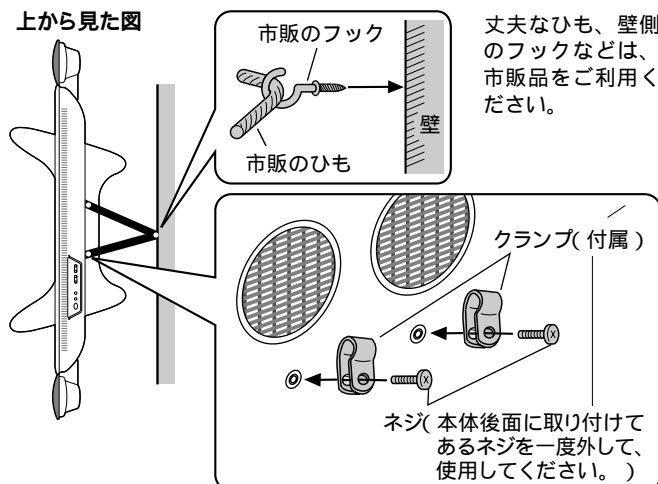
1 **本機に付属の壁掛け金具用アタッチメントを本機後面に取り付けます。**
(スタンドの外しかたについては、壁掛け金具の取扱説明書を合わせてご覧ください。)

2 **本機に壁掛け金具ユニットを取り付けます。**
(詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。)

3 **本機を壁に掛けます。**
(詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。)

フロアースタンドに取り付けて使う
〈フロアースタンド(AN-30FS1)〉
(詳しくはフロアースタンドの取扱説明書をご覧ください。)

転倒防止について

⚠注意 不意の地震のとき、テレビが倒れてけがをするおそれがあります。安心してご使用いただくために、転倒防止策の実施をお願いいたします。

壁または柱などを利用して固定してください。

付属の転倒防止用部品などを利用し、壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。（キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿をご使用ください。）
テレビを移動させるときは、固定されたひもを外してから行ってください。

固定のしかた

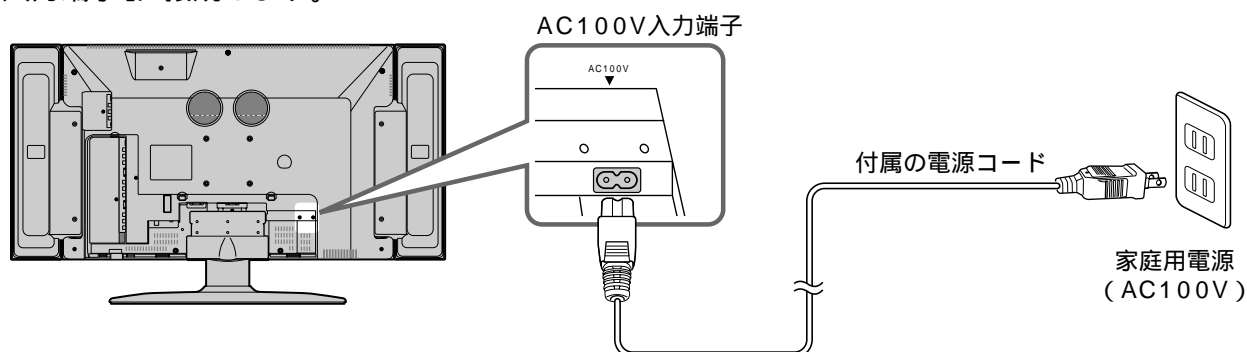
①壁または柱に固定する

本体後面に取り付けてあるネジとネジ穴を利用しクランプを取り付けて、丈夫なひもで壁や柱など確実に固定できる堅牢部に取り付けてください。

②テレビ台に固定する

スタンド底面に、付属のバンドをネジで取り付けた後、テレビ台の上にネジで固定します。

ご注意 **取付け作業は、平らな面にクッションなどを敷いてテレビを寝かせた状態で行ってください。**

電源コードを接続する

■ 本体天面の電源ボタンが「切」になっていることを確認し、電源コードのプラグを本体後面の「AC100V入力端子」に接続します。

• 電源コードのプラグが抜けないように、しっかりと接続してください。

アンテナを接続する

■ アンテナの接続が終わるまでは、本機の電源を入れないでください。

VHF/UHFアンテナを接続する

- **アンテナ線は付属のアンテナケーブルで、テレビのアンテナ入力（VHF・UHF）端子に接続してください。**
- **本機のアンテナ入力（VHF・UHF）端子は、VHFとUHFの混合タイプです。**
- **VHFとUHFが独立している場合は、市販の混合器を使って接続してください。**

UHFアンテナ
VHFアンテナ

壁のアンテナ端子

お住まいのアンテナ端子に合ったアンテナ線を選び、接続してください。

VHF/UHFまたは
VHFまたはUHF
VHFまたはUHF
VHFとUHF

平行
フィーダー線

平行
フィーダー線
（市販品）

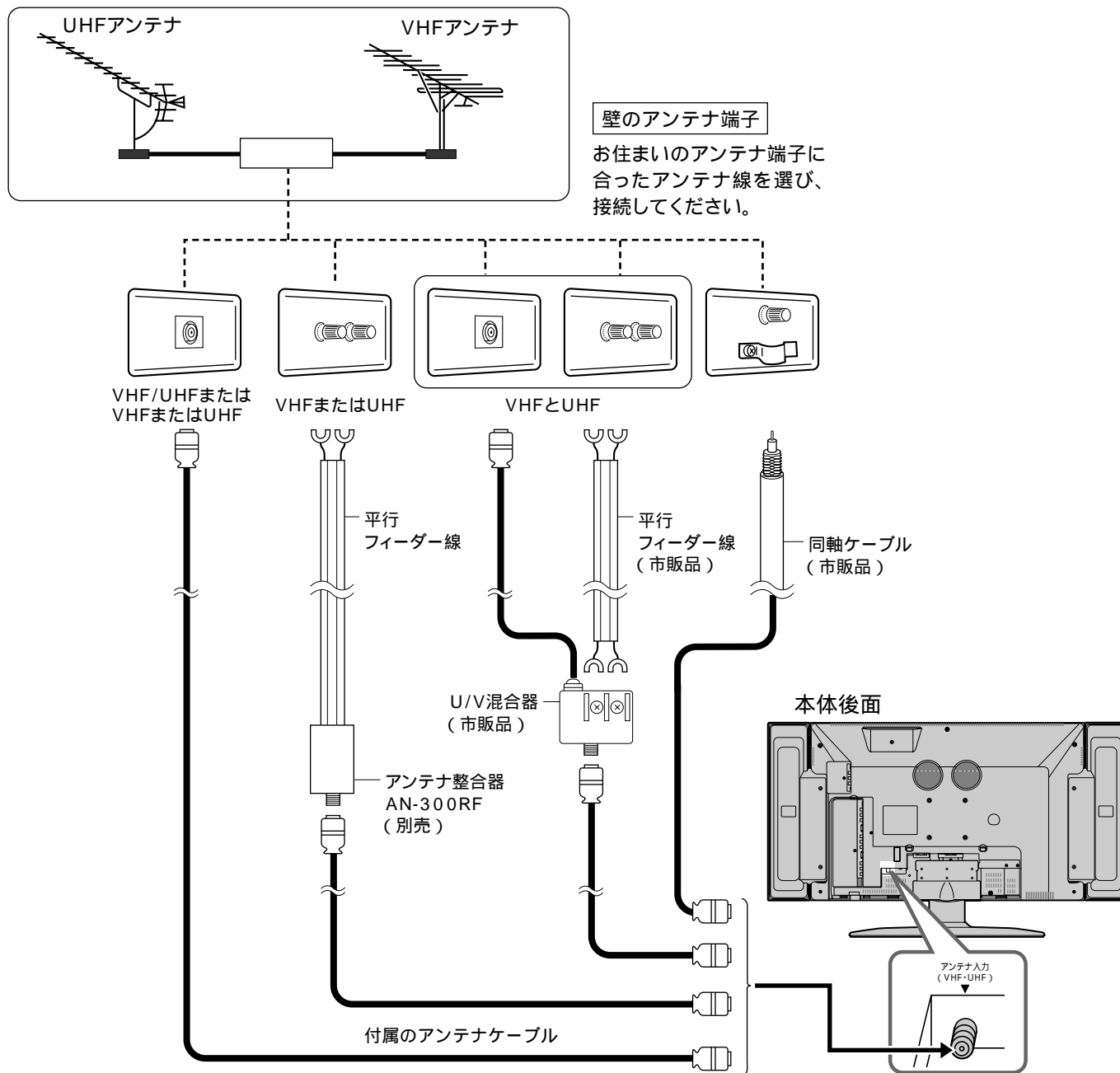
同軸ケーブル
（市販品）

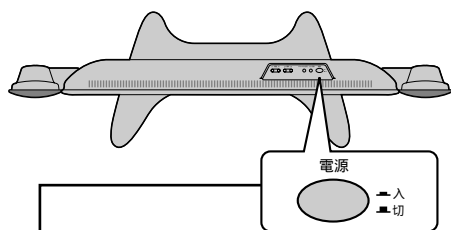
U/V混合器
（市販品）

アンテナ整合器
AN-300RF
（別売）

▼本体後面

アンテナ入力
（VHF・UHF）

付属のアンテナケーブル

- VHF/UHFの屋内アンテナ端子が分かれている場合など、混合器の取り付けが必要なときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

ふだんの使い方

❶電源を入れる
(本体天面の電源ボタン)

- 電源ランプが点灯(緑色)。
- 電源が入ると、リモコンで操作ができます。

❷チャンネルを選ぶ

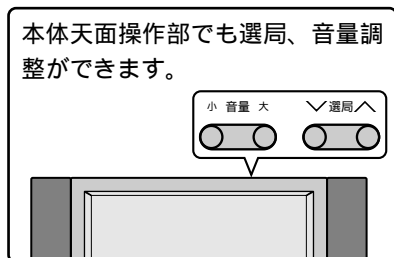
- 選局(∧順/∨逆)
- テレビチャンネル

❸音量を調整する

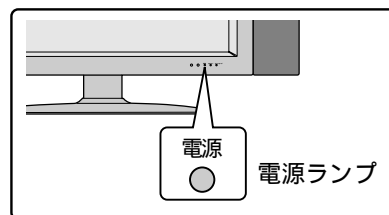
数字とバーで音量を表示

音を一時的に消す

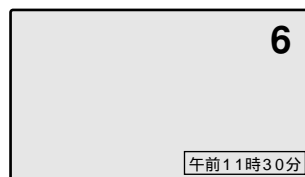
- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

本体天面操作部でも選局、音量調整ができます。

❹テレビを消す
(リモコンの電源ボタン)

- 電源ランプ点灯(赤色)。
- テレビが電源待機状態になります。リモコンの電源ボタンでテレビをつけたり、消したりできます。

電源　電源ランプ

画面表示を切り換える

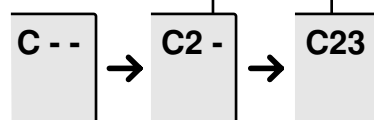
- チャンネル、時刻、オンタイマー時刻、オフタイマー時間などが表示されます。

▼画面表示

CATVチャンネルを選ぶ

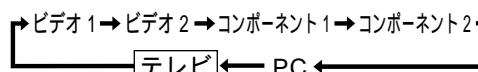
<例>C23を選ぶとき

① CATVボタンを押します。
② テレビチャンネルボタンでチャンネルを選びます。

▼ 画面表示

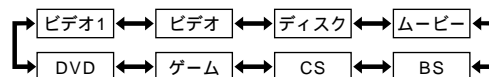
① C - -　→　② C2 -　→　C23

入力を切り換えるとき

- 入力切換ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります(出荷状態時)。

ビデオ1→ビデオ2→コンポーネント1→コンポーネント2→PC→テレビ→ビデオ1

ビデオ1～4の表示について

- 接続した設定内容により、ビデオ表示を変更できます。詳しくは**100**～**101**ページをご覧ください。

<例>ビデオ1

ビデオ1↔ビデオ↔ディスク↔ムービー↔BS↔CS↔ゲーム↔DVD↔ビデオ1

受信チャンネルについて

- 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルが受信できるようにセットされています。
  UHF放送を受信するときや、受信チャンネルを合わせなおす場合は、**32**ページをご覧ください。

放送が終了すると

- 約5分後に、テレビの電源が切れます。電源ランプが赤色に点灯…無信号オフ機能(**84**ページ)
- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは正しく動作しない場合があります。
- ビデオ入力画面のときも、無信号状態になると電源が切れます。

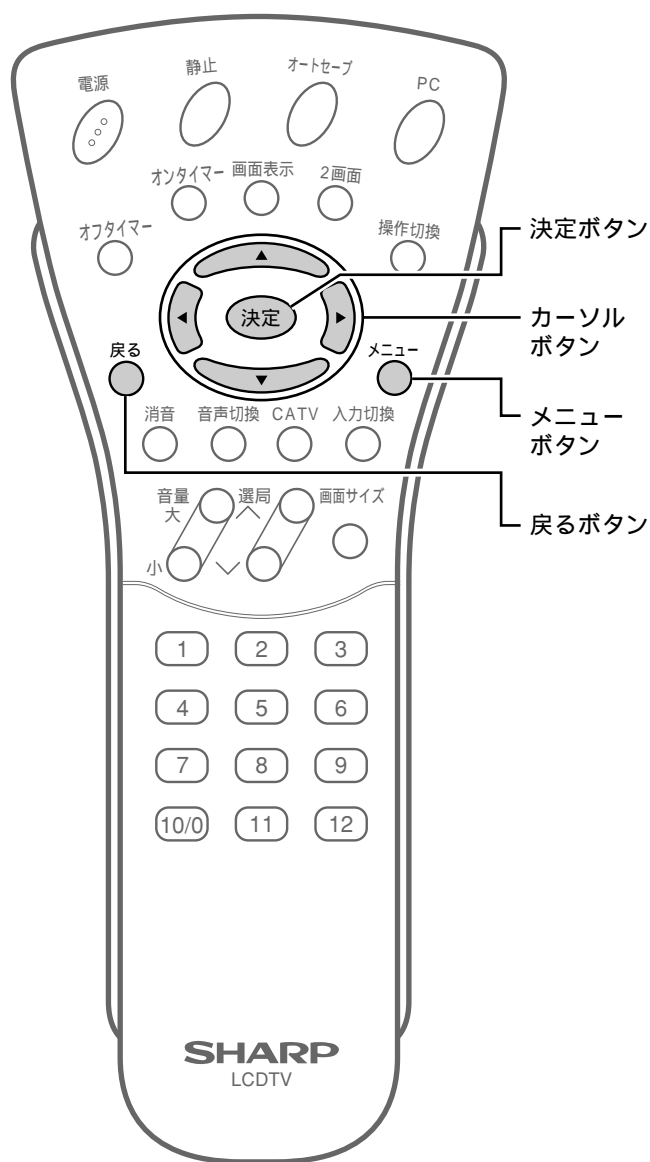
ケーブルテレビ(CATV)について

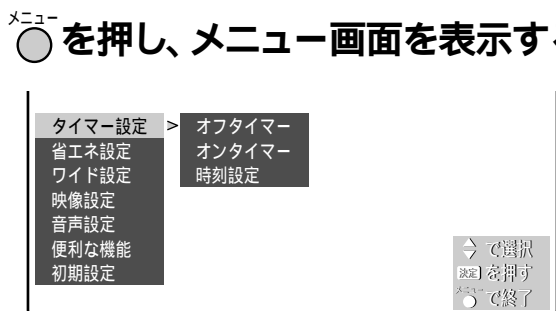
- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13～C38チャンネルの範囲で選局できます。

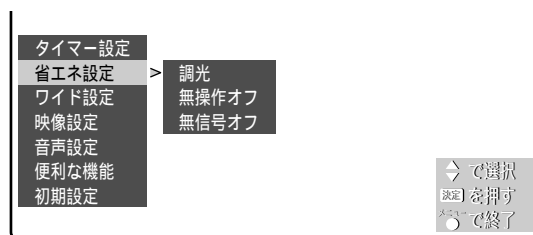
メニュー画面について

■ 画面を見ながら、リモコンで映像や音声などの調整や設定ができます。
ここでは各メニューの項目を選択する方法について説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

設定画面の表示

白で表示されている項目 .... 設定可能な項目です。
黄色で表示されている項目 ... 現在カーソルがある項目です。

メニュー操作の基本手順

1 メニュー ◯を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で項目を選び、決定を押す

- **カーソルが移動して選んだ項目に、つぎの調整／設定項目が表示されます。**

- **項目選択をつづけて、調整／設定画面を表示します。**

3 ◀ ▶で調整／設定し、決定を押す

- **選んだ調整／設定項目が実行、決定されます。**

操作をやりなおす、誤ったときは戻る◯を押す。

- **一つ前の状態に戻ります。**

4 操作を終了するときはメニュー◯を押す

ご注意

- メニュー画面を表示、設定中に約30秒間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。そのときは、操作をしなおしてください。

■ テレビメニューとPCメニューでは設定できる項目が異なります。

テレビメニューで設定できる項目

（メニュー項目の詳細については、**120**ページの「メニュー画面階層図」をご覧ください。）

おしらせ

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のため一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

メニュー画面について(つづき)

PC(コンピューター)メニューで設定できる項目

- タイマー設定
- 省エネ設定
- ワイド設定
- 映像設定
- 音声設定
- 便利な機能

（メニュー項目の詳細については、121ページの「メニュー画面階層図」をご覧ください。）

タイマー設定

オフタイマー…………… 42ページ
オンタイマー…………… 40ページ
時刻設定…………… 38ページ

省エネ設定

調光…………… 82ページ
無操作オフ…………… 83ページ
無信号オフ…………… 84ページ

ワイド設定

画面サイズ…………… 56ページ
位置調整…………… 57ページ
入力信号表示…………… 60ページ

映像設定

映像調整…………… 74ページ

音声設定

音声ポジション…………… 67ページ
音声調整…………… 68ページ

便利な機能

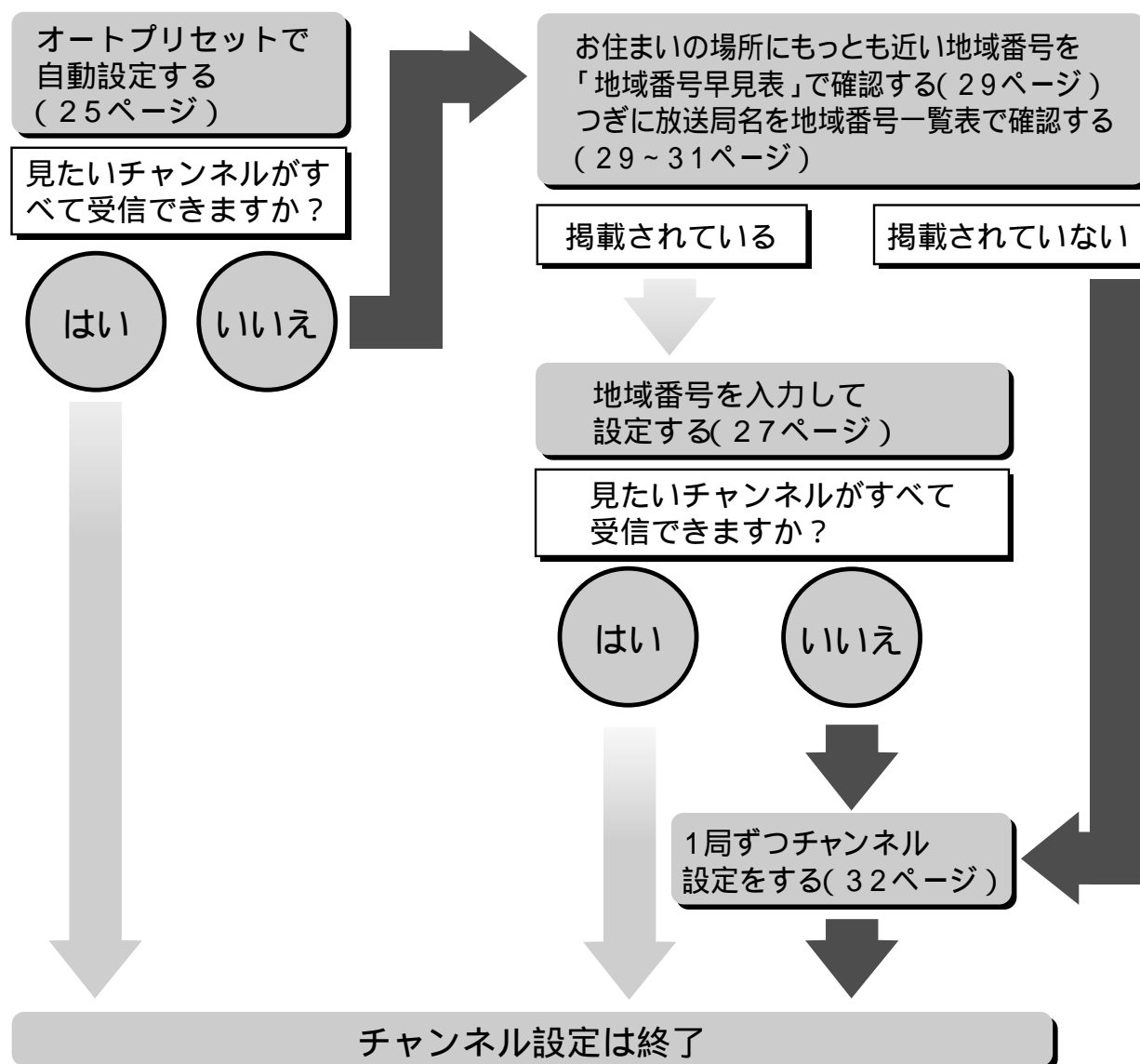
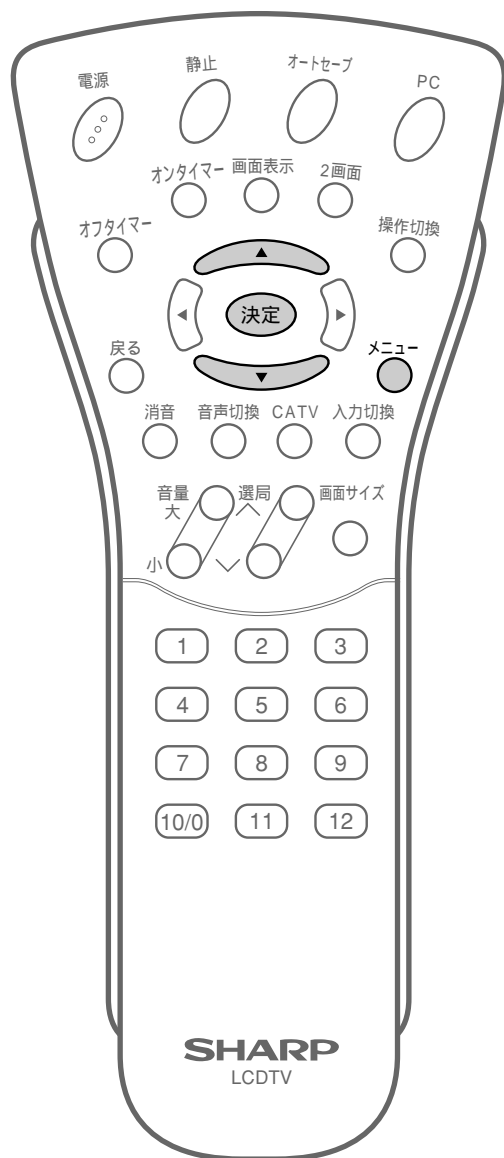
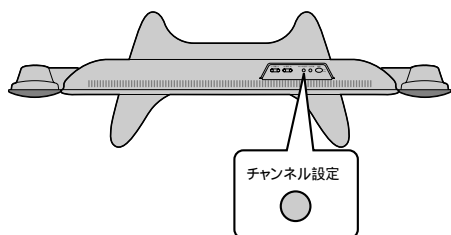
ヘッドホン音量…………… 79ページ
映像反転…………… 80ページ

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。
- 本書に掲載している画面表示は、説明用のため一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

テレビを楽しむ

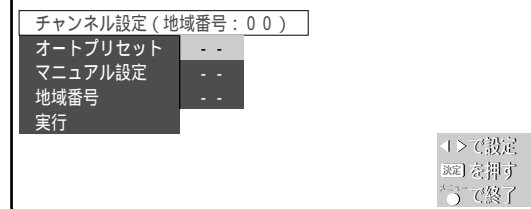
テレビのチャンネルを設定する

■ VHF/UHFの地上放送の受信設定です。チャンネル設定には、「オートプリセット」・「マニュアル設定」・「地域番号設定」の3つの方法があります。
■ 本機は工場出荷時、VHF1～12チャンネルが映るようにセットされています。

オートプリセット（自動設定）	**：ご使用になる地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波を、自動的にキャッチして記憶させる方法です。→（25ページ）**
地域番号設定	**：ご使用になる場所にもっとも近い都市を「地域番号早見表」（29ページ）から選び、その「地域番号」を入力する方法です。→（27ページ）** ● 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、マニュアル設定をしてください。 ● その地域に合わせ、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。 ● 地域番号一覧表（**29～31**ページ）には放送局を記載しています。
マニュアル設定	**：地域番号一覧表に当てはまらない地域や、チャンネル設定後に他のチャンネルを追加するときにチャンネルを1局ずつ設定する方法です。→（32ページ）**

▼本体天面

■「チャンネル設定」内の「オートプリセット」を実行するだけで、使用する地域の、現在の電波状態で受信できるVHFとUHFの放送電波(チャンネル)を自動的にキャッチして、記憶させることができます。

■ 記憶できるチャンネルは、最大12局です。記憶された局の1〜12チャンネルは、リモコンのテレビチャンネルボタン(数字キー)で選局できます。選局(∧順／∨逆)ボタンでは、テレビチャンネル(地上放送)、CATVチャンネル(ケーブルテレビ放送)が順／逆で選局できます。

オートプリセットで自動設定する

1 本体のチャンネル設定ボタンを、約2秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

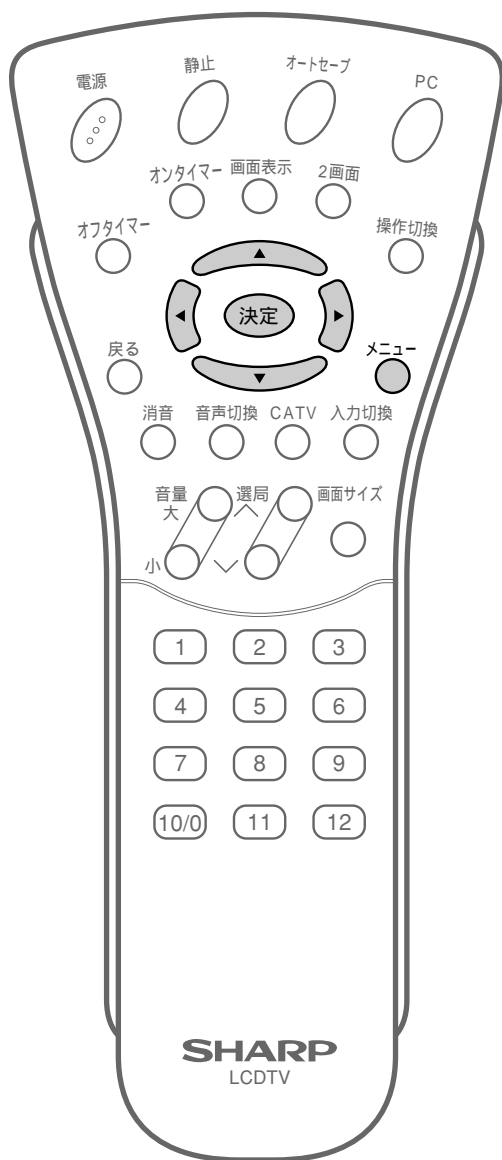
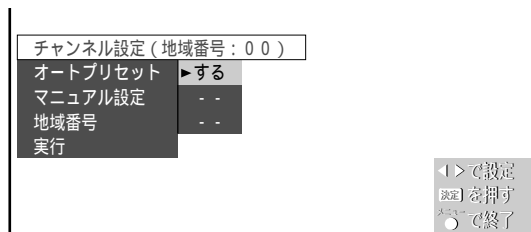
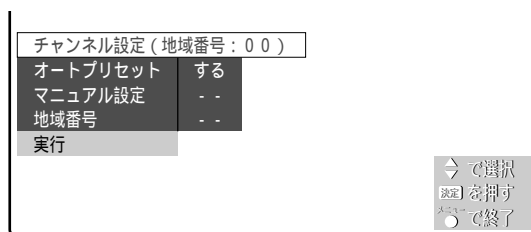
① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する

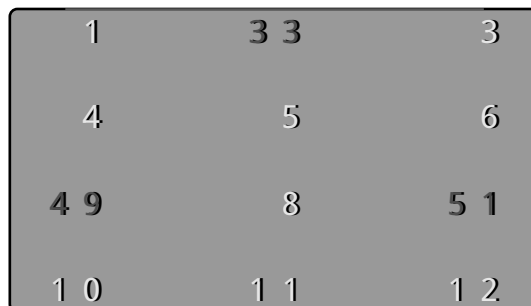
② 上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

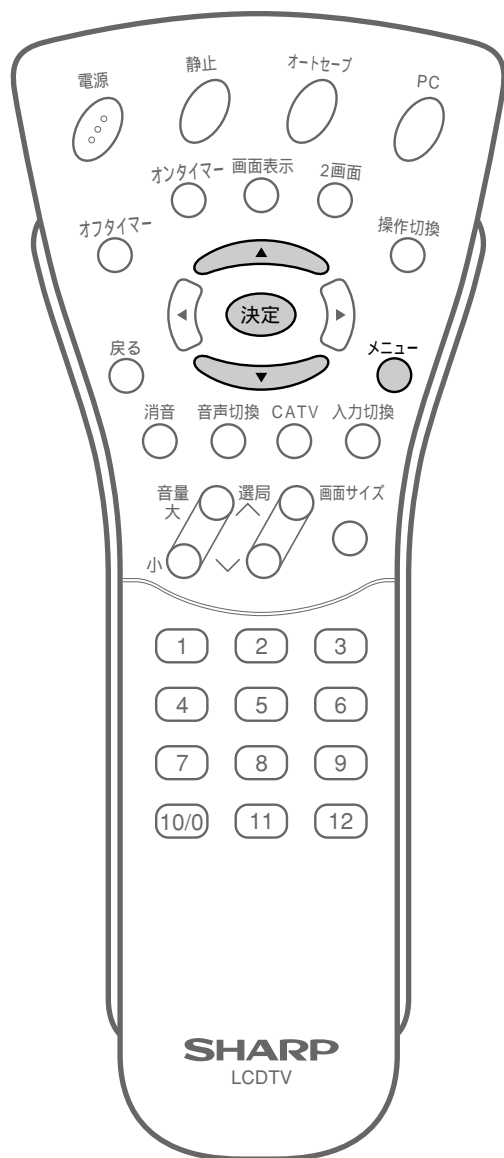
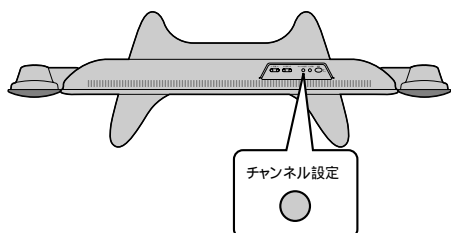
③ 上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

④ 上下カーソルボタンで「オートプリセット」を選び、決定ボタンを押す

つぎへ ▶

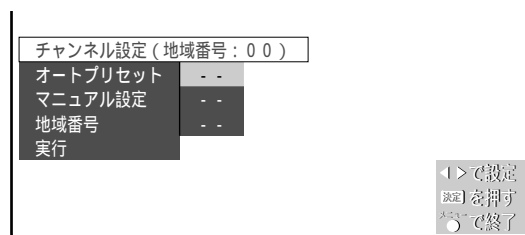
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「実行」を選び、決定を押す

4 オートプリセットが実行される

- 選局が終了すると、自動設定されたチャンネルが表示されます。

5 メニューを２回押し、通常画面に戻す

▼本体天面

■ 地域番号によるチャンネル設定ができます。**29**ページの「地域番号早見表」および**29～31**ページの「地域番号一覧表」から、都市名とチャンネル番号と放送局名を確認したうえで、お住まいにもっとも近い都市の地域番号を入力してください。

地域番号で設定する

＜例＞東京都八王子市にお住まいのかたの地域番号「31」を設定する

1 本体のチャンネル設定ボタンを、約2秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

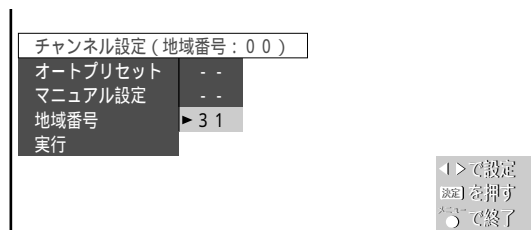
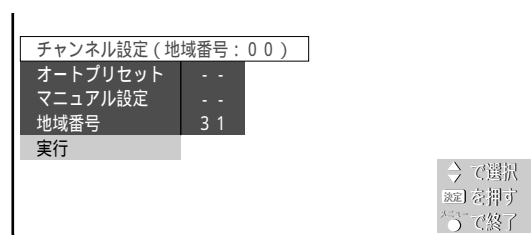
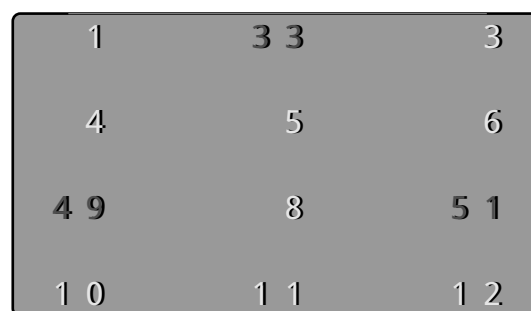
1. **メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す**
4. **上下カーソルボタンで「地域番号」を選び、決定ボタンを押す（手順2の画面表示になります）**

2 で「地域番号」の設定欄を選ぶ

つぎへ ▶

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

3 テレビチャンネル(3)、(1)を押し、(決定)を押す

• 左右カーソルボタンを押しても地域番号を選択、入力できます。

4 (▲)(▼)で「実行」を選び、(決定)を押す

5 チャンネル設定が実行される

6 (メニュー)を2回押し、通常画面に戻す

• 地域番号一覧表に記載のある都市の近郊にお住まいのかたは、記載されているチャンネルと放送局名が、現在受信しているチャンネルと一致している場合は、その都市の地域番号で設定してください。
• 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。このときは、マニュアル設定をしてください。

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	21	え	江別市	01	き	岐阜市	47	せ	仙台市	13	な	習志野市	29	ふ	府中市	30
	青森市	10	お	青梅市	30		京都市1	60	そ	草加市	27	に	新潟市	37		船橋市	29
	明石市	63		大分市	91		京都市2	98	た	大東市	61		新座市	27	へ	別府市	91
	昭島市	30		大垣市	47		桐生市	26		高岡市	40		新居浜市	80	ほ	防府市	74
	秋田市	15		大阪市	61	く	釧路市	04		高崎市	25		西宮市	61	ま	前橋市	25
	阿久根市	95		大館市	16		熊谷市	28		高槻市	61	ぬ	沼津市	52		町田市	33
	上尾市	27		大津市	58		熊本市	90		高松市	78	ね	寝屋川市	61		松江市	68
	朝霞市	27		大牟田市	86		倉敷市	70		宝塚市	61	の	野田市	29		松阪市	57
	旭川市	02		岡崎市	54		久留米市	85		立川市	30		延岡市	93		松戸市	29
	足利市	27		岡山市	70		呉市	73		多摩市	32	は	函館市	03		松原市	61
	厚木市	33		沖縄市	96	こ	高知市	82	ち	茅ヶ崎市	34		秦野市	36		松本市	46
	網走市	01		小樽市	07		甲府市	43		千葉市	29		八王子市	31		松山市	79
	我孫子市	29		小田原市	35		神戸市	61		調布市	30		八戸市	11	み	三郷市	27
	尼崎市	61		帯広市	05		郡山市	19	つ	津市	57		羽曳野市	61		三島市	52
	安城市	54		小山市	27		小金井市	30		つくば市	29		浜田市	69		三鷹市	30
い	飯田市	45	か	各務原市	48		越谷市	27		土浦市	29		浜松市	50		水戸市	22
	池田市	61		加古川市	63		小平市	30		鶴岡市	18		半田市	54		都城市	92
	生駒市	61		鹿児島市	94		小牧市	54	と	東京23区	30	ひ	東大阪市	61		宮崎市	92
	石巻市	14		橿原市	65		小松市	41		徳島市	97		東久留米市	30	む	武蔵野市	30
	和泉市	61		柏市	29	さ	さいたま市	27		徳山市	74		東村山市	30		室蘭市	08
	伊勢崎市	25		春日井市	54		堺市	61		所沢市	27		彦根市	59	も	盛岡市	12
	伊丹市	61		春日部市	27		佐賀市	87		鳥取市	67		日立市	23		守口市	61
	市川市	29		勝田市	22		酒田市	18		苫小牧市	06		日野市	30	や	矢板市	31
	一宮市	54		門真市	61		相模原市	33		富山市	39		姫路市	62		焼津市	49
	市原市	29		金沢市	41		佐倉市	29		豊川市	55		枚方市	61		八尾市	61
	茨木市	61		鎌倉市	33		佐世保市	89		豊田市	56		平塚市	34		八千代市	29
	今治市	81		刈谷市	54		札幌市	01		豊中市	61		弘前市	10		八代市	90
	入間市	27		川口市	27		座間市	33		豊橋市	55		広島市	71		山形市	17
	いわき市	20		川越市	27		狭山市	27		富田林市	61	ふ	福井市	42		山口市	74
	岩国市	77		川崎市	33	し	静岡市	49	な	長岡市	37		福岡市	83		大和市	33
	岩槻市	27		河内長野市	61		清水市	49		長崎市	88		福島市	19	よ	横須賀市	33
う	宇治市	60		川西市	64		下関市	75		長野市	44		福山市	72		横浜市	33
	宇都宮市	24	き	木更津市	29		上越市	38		流山市	29		富士市	51		四日市市	57
	宇部市	76		岸和田市	61	す	吹田市	61		名古屋市	54		藤枝市	53		米子市	68
	浦安市	29		北九州市	84		鈴鹿市	57		那覇市	96		藤沢市	33	わ	和歌山市1	66
え	海老名市	33		北見市	09	せ	瀬戸市	54		奈良市	65		富士宮市	51		和歌山市2	99

■地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は当社の調査によるものです。
（2001年10月現在）

地域番号一覧表

	リモコンポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	01	1 北海道放送	2	3 ＮＨＫ総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ	6	27 北海道文化放送	8	35 北海道テレビ	10	11	12 ＮＨＫ教育
	旭川	02	1	2 ＮＨＫ教育	33 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	函館	03	21 テレビ北海道	27 北海道文化放送	35 北海道テレビ	4 ＮＨＫ総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 ＮＨＫ教育	11	12 札幌テレビ
	釧路	04	1	2 ＮＨＫ教育	39 北海道テレビ	41 北海道文化放送	5	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	帯広	05	32 北海道文化放送	2	34 北海道テレビ	4 ＮＨＫ総合	5	6 北海道放送	7	8	9	10 札幌テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	苫小牧	06	47 テレビ北海道	49 ＮＨＫ教育	51 ＮＨＫ総合	53 北海道文化放送	55 北海道放送	57 札幌テレビ	61 北海道テレビ	8	9	10	11	12
	小樽	07	24 テレビ北海道	2 ＮＨＫ教育	26 北海道文化放送	4 北海道テレビ	5	6	7 札幌テレビ	8	9 北海道放送	10	11 ＮＨＫ総合	12
	室蘭	08	1	2 ＮＨＫ教育	29 テレビ北海道	37 北海道文化放送	39 北海道テレビ	6	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 北海道放送	12
	北見	09	1	2 ＮＨＫ教育	3	4	59 北海道文化放送	61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	8	9 ＮＨＫ総合	10	53 北海道放送	12
青森	青森	10	1 青森放送テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＮＨＫ教育	6	38 青森テレビ	8	34 青森朝日放送	10	11	12
	八戸	11	1	2	33 青森テレビ	4	31 青森朝日放送	6	7 ＮＨＫ教育	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 青森放送テレビ	12
岩手	盛岡	12	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＩＢＣテレビ	7	8 ＮＨＫ教育	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手	11	33 めんこいテレビ
宮城	仙台	13	1 東北放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＮＨＫ教育	6	32 東日本放送	8	34 宮城テレビ	10	11	12 仙台放送
	石巻	14	59 東北放送	2	51 ＮＨＫ総合	4	49 ＮＨＫ教育	6	61 東日本放送	8	55 宮城テレビ	10	11	57 仙台放送
秋田	秋田	15	1	2 ＮＨＫ教育	3	4	5	6	7	8	9 ＮＨＫ総合	31 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	37 秋田テレビ
	大館	16	1	2 ＮＨＫ教育	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 秋田放送テレビ	7	8 ＮＨＫ教育	9 ＮＨＫ総合	59 秋田朝日放送	11 秋田放送テレビ	57 秋田テレビ

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

地域番号一覧表（つづき）

	リモコンポジション		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
山形	山形	17	1	2	3	4 ＮＨＫ教育	5	36 テレビユー山形	30 さくらんぼテレビ	8 ＮＨＫ総合	9	10 山形放送	11	38 山形テレビ
	鶴岡	18	1 山形放送	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6 ＮＨＫ教育	7	39 山形テレビ	9	22 テレビユー山形	11	24 さくらんぼテレビ
福島	福島	19	1	2 ＮＨＫ教育	31 テレビユー福島	4	33 福島中央テレビ	6	35 福島放送	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 福島テレビ	12
	いわき	20	1	62 テレビユー福島	3	4 ＮＨＫ総合	5	58 福島中央テレビ	7	8 福島テレビ	9	10 ＮＨＫ教育	11	60 福島放送
	会津若松	21	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 福島テレビ	7	47 テレビユー福島	9	37 福島中央テレビ	11	41 福島放送
茨城	水戸	22	44 ＮＨＫ総合	2	46 ＮＨＫ教育	42 日本テレビ	5	40 ＴＢＳテレビ	7	38 フジテレビ	9	36 テレビ朝日	11	32 テレビ東京
	日立	23	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
栃木	宇都宮	24	29 ＮＨＫ総合	2	27 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	7	21 フジテレビ	31 とちぎテレビ	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
群馬	前橋	25	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	40 放送大学	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	9	60 テレビ朝日	48 群馬テレビ	62 テレビ東京
	桐生	26	43 ＮＨＫ総合	2	45 ＮＨＫ教育	39 日本テレビ	40 放送大学	37 ＴＢＳテレビ	7	35 フジテレビ	9	33 テレビ朝日	41 群馬テレビ	31 テレビ東京
埼玉	さいたま	27	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	38 テレビ埼玉	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	熊谷	28	33 ＮＨＫ総合	2	35 ＮＨＫ教育	25 日本テレビ	5	23 ＴＢＳテレビ	16 放送大学	21 フジテレビ	28 テレビ埼玉	19 テレビ朝日	11	17 テレビ東京
千葉	千葉	29	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	２３区	30	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 ＴＢＳテレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	31	51 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	53 日本テレビ	47 東京メトロポリタン	55 ＴＢＳテレビ	7	57 フジテレビ	9	59 テレビ朝日	11	61 テレビ東京
	多摩	32	30 ＮＨＫ総合	2	32 ＮＨＫ教育	26 日本テレビ	28 東京メトロポリタン	24 ＴＢＳテレビ	7	22 フジテレビ	9	20 テレビ朝日	11	18 テレビ東京
神奈川	横浜	33	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 ＴＢＳテレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ケ崎	34	33 ＮＨＫ総合	2	29 ＮＨＫ教育	35 日本テレビ	5	37 ＴＢＳテレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	35	52 ＮＨＫ総合	2	50 ＮＨＫ教育	54 日本テレビ	5	56 ＴＢＳテレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	36	47 ＮＨＫ総合	2	49 ＮＨＫ教育	51 日本テレビ	5	53 ＴＢＳテレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	37	21 新潟テレビ21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 ＮＨＫ総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 ＮＨＫ教育
	上越	38	1 ＮＨＫ教育	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	37 新潟テレビ21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	39	1 北日本テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	10 ＮＨＫ教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	40	50 北日本テレビ	2	48 ＮＨＫ総合	4	5	6	7	8	9	46 ＮＨＫ教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	41	1	2	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 ＭＲＯテレビ	25 北陸朝日放送	8 ＮＨＫ教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	42	39 福井テレビ	2	3 ＮＨＫ教育	4	5	6 ＭＲＯテレビ	7	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 ＦＢＣテレビ	12
山梨	甲府	43	1 ＮＨＫ総合	2	3 ＮＨＫ教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	44	1	44 ＮＨＫ総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 ＮＨＫ教育	10	48 信越放送	12
	飯田	45	44 長野朝日放送	2	3 ＮＨＫ教育	4 ＮＨＫ総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	46	1	44 ＮＨＫ総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 ＮＨＫ教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	47	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	37 岐阜放送
	各務原	48	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	28 岐阜放送
静岡	静岡	49	1	2 ＮＨＫ教育	31 静岡第1テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 ＮＨＫ総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	50	1	30 静岡第1テレビ	3	4 ＮＨＫ総合	5	6 静岡放送	7	8 ＮＨＫ教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	51	1	54 ＮＨＫ教育	27 静岡第1テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 ＮＨＫ総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	52	1	51 ＮＨＫ教育	61 静岡第1テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 ＮＨＫ総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	53	1	44 ＮＨＫ教育	24 静岡第1テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 ＮＨＫ総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	54	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	10	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
	豊橋	55	56 東海テレビ	2	54 ＮＨＫ総合	4	62 ＣＢＣテレビ	6	58 中京テレビ	8	50 ＮＨＫ教育	10	60 名古屋テレビ	52 テレビ愛知
	豊田	56	57 東海テレビ	2	53 ＮＨＫ総合	4	55 ＣＢＣテレビ	6	59 中京テレビ	8	51 ＮＨＫ教育	10	61 名古屋テレビ	49 テレビ愛知
三重	津	57	1 東海テレビ	2	3 ＮＨＫ総合	4	5 ＣＢＣテレビ	6	35 中京テレビ	8	9 ＮＨＫ教育	33 三重テレビ	11 名古屋テレビ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	58	1	28 ＮＨＫ総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ＡＢＣテレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 ＮＨＫ教育
	彦根	59	1	52 ＮＨＫ総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ＡＢＣテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 ＮＨＫ教育

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	リモコンポジション		受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
京都	京都1	60	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
	京都2	98	32 NHK京都	2 NHK総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
大阪	大阪	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
兵庫	神戸	61	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK教育
	姫路	62	1	50 NHK総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK教育
	明石	63	1	51 NHK総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABCテレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK教育
	川西	64	1	29 NHK総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABCテレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK教育
奈良	奈良	65	1	2 NHK総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
和歌山	和歌山1	66	1	32 NHK総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABCテレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	26 NHK教育
	和歌山2	99	1	50 NHK総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABCテレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK教育
鳥取	鳥取	67	1 日本海テレビ	2	3 NHK総合	4 NHK教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSSテレビ	11	12
島根	松江	68	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK総合	7	8	9	10 BSSテレビ	11	12 NHK教育
	浜田	69	1	2 NHK総合	54 日本海テレビ	4	5 BSSテレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育	10	11	12
岡山	岡山	70	23 テレビせとうち	2	3 NHK教育	4	5 NHK総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHKテレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	71	31 テレビ新広島	2	3 NHK総合	4 RCCテレビ	5	6	7 NHK教育	8	9	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	11	12 広島テレビ
	福山	72	1 NHK総合	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	26 テレビ新広島	6	7 NHK教育	8	9	10 RCCテレビ	11	12 広島テレビ
	呉	73	1 NHK教育	2	24 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCCテレビ	10	11 NHK総合	12
山口	山口	74	1 NHK教育	2	3	4	52 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK総合	10	11 山口テレビ	12
	下関	75	41 NHK教育	2 九州朝日放送	23 TXN九州	4 山口テレビ	21 山口朝日放送	6 NHK総合	33 テレビ山口	8 RKB毎日放送	39 NHK総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 NHK教育
	宇部	76	14 NHK教育	2 九州朝日放送	3	4	31 山口朝日放送	6 NHK総合	20 テレビ山口	8 RKB毎日放送	16 NHK総合	10 テレビ西日本	18 山口テレビ	12
	岩国	77	1 NHK教育	2	3	4 RCCテレビ	22 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK総合	10 南海テレビ	11 山口テレビ	12 広島テレビ
徳島	徳島	97	1 四国テレビ	2	3 NHK総合	4 毎日テレビ	5	6 ABCテレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK教育
香川	高松	78	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK教育	4	37 NHK総合	6	31 OHKテレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	79	1	2 NHK教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
	新居浜	80	1	2 NHK総合	3	4 NHK教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	81	1	30 NHK教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ﾎｰﾑﾃﾚﾋﾞ
高知	高知	82	1	2	3	4 NHK総合	5	6 NHK教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	83	1 九州朝日放送	2	3 NHK総合	4 RKB毎日放送	5	6 NHK教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TXN九州	37 福岡放送
	北九州	84	1	2 九州朝日放送	23 TXN九州	35 福岡放送	5	6 NHK総合	7	8 RKB毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK教育
	久留米	85	57 九州朝日放送	2	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	5	54 NHK教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TXN九州	52 福岡放送
	大牟田	86	58 九州朝日放送	19 TXN九州	53 NHK総合	61 RKB毎日放送	5	50 NHK教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	87	19 TXN九州	36 サガテレビ	40 NHK教育	38 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	88	1 NHK教育	2	3 NHK総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	89	1	2 NHK教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	90	1	2 NHK教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	91	1 NHK教育	2	3 NHK総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 NHK総合	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK教育
宮崎	宮崎	92	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK教育
	延岡	93	1	2 NHK教育	3	4 NHK総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	94	1 南日本放送	2	3 NHK総合	4	5 NHK教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	12
	阿久根	95	1	30 鹿児島読売ﾃﾚﾋﾞ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK教育
沖縄	那覇	96	1	2 NHK総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK教育
工場出荷設定		00	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

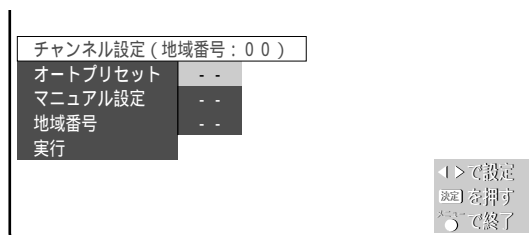
テレビのチャンネルを設定する(つづき)

■ 地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、1局ずつチャンネルを設定してください。

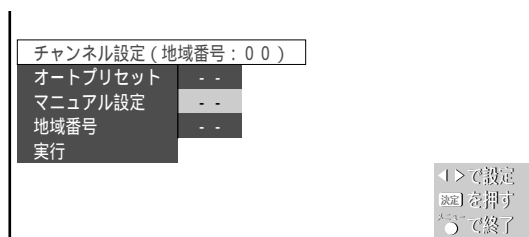
■ 普段ご使用されている受信エリアで、新聞の番組表などにチャンネルの順番を合わせておくと便利です。

マニュアルで1局ずつ設定する

<例>テレビチャンネル⑤に、ＵＨＦ放送「42」チャンネルが映るようにしたいとき

1 本体のチャンネル設定ボタンを、約2秒押し続ける

- **チャンネル設定画面が表示されます。**

- **リモコンを操作して表示するときは、つぎの手順を行ってください。**

1. **メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す**
4. **上下カーソルボタンで「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す(手順2の画面表示になります)**

2 ▲ ▼ で「マニュアル設定」の設定欄を選ぶ

3

① ◀▶で「する」を選び、決定を押す

② ▲▼で「実行」を選び、決定を押す

4

▲▼で「リモコン番号」を選び、決定を押す

5

テレビチャンネル5で、リモコン番号「5」を選び決定を押す

6

▲▼で「受信チャンネル」を選び、決定を押す

7

◀▶で「４２」を選び、決定を押す

◀を押す　1 → 0 → C38…C13 → 62 ← 61…3 ← 2 → 1

▶を押す　1 → 2 → 3…61 → 62 → C13…C38 → 0 → 1

- **リモコンのチャンネルボタン「5」に42チャンネルの放送が設定されました。**
- **続けて他のチャンネルを設定するときは、手順5〜8をくり返します。**

8

メニューを押し、通常画面に戻す

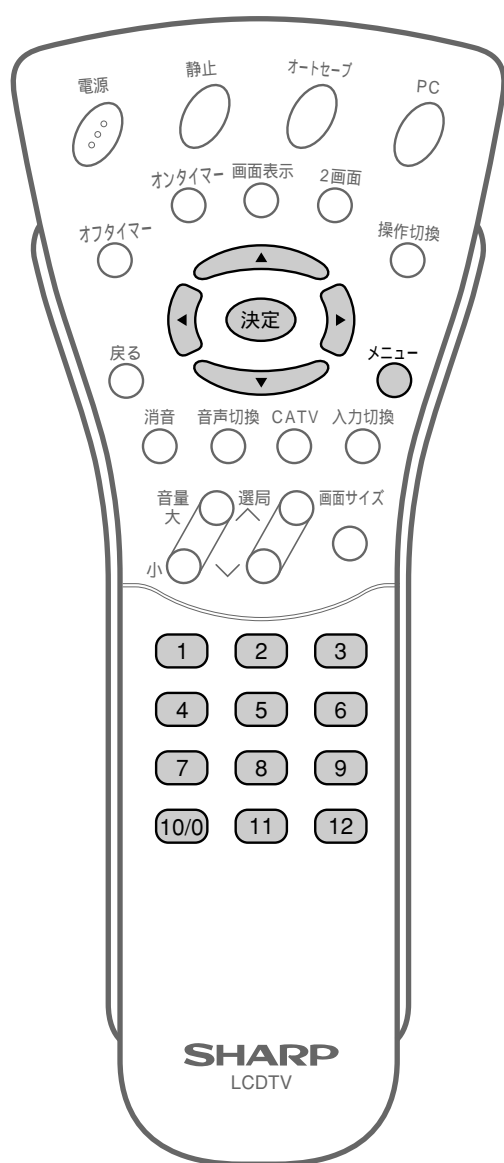
おしらせ

ケーブルテレビ（CATV）放送について

- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C38チャンネルの範囲で選局できます。

テレビのチャンネルを設定する（つづき）

■ あらかじめチャンネルスキップを設定しておくと、選局ボタンで選局するときに、空きチャンネル（放送のないチャンネル）を飛びこして選局することができます。

■ CATVチャンネルは、工場出荷時にチャンネルスキップ「入」の状態となっています。チャンネルスキップ「切」（解除）にすると、本体とリモコンの選局ボタンで選局ができます。

チャンネルをとばして選局する（チャンネルスキップ）

<例>テレビチャンネル⑪をスキップしたいとき

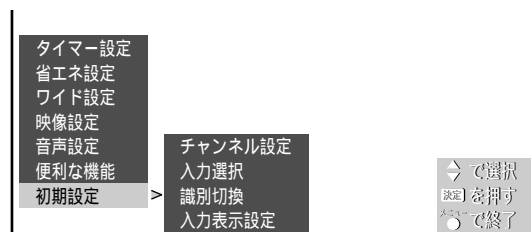
1 **テレビチャンネル⑪を押し、「11」チャンネルを選ぶ**

2 **メニューを押し、メニュー画面を表示する**

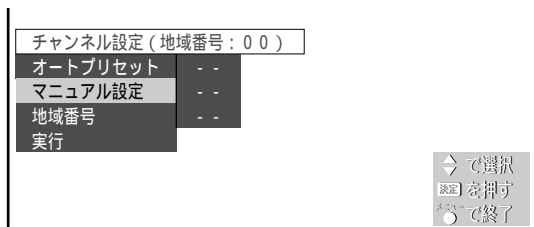
3 **▲ ▼で「初期設定」を選び、決定を押す**

4 **▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す**

5 ▲ ▼で「マニュアル設定」を選び、決定を押す

6

① ◀ ▶で「する」を選び、決定を押す

② で「実行」を選び、決定を押す

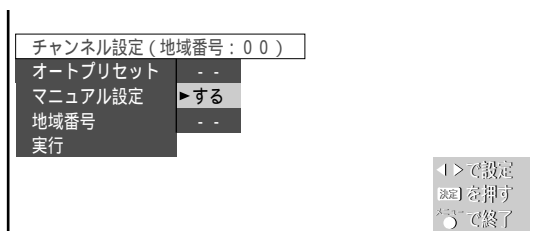
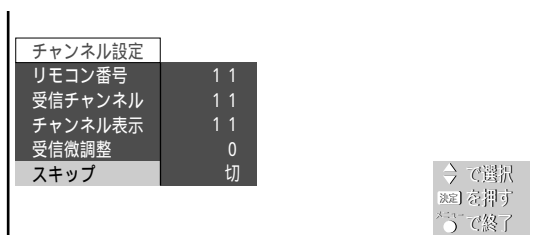
7 ▲ ▼で「スキップ」を選び、決定を押す

8 ◀ ▶で「入」を選び、決定を押す

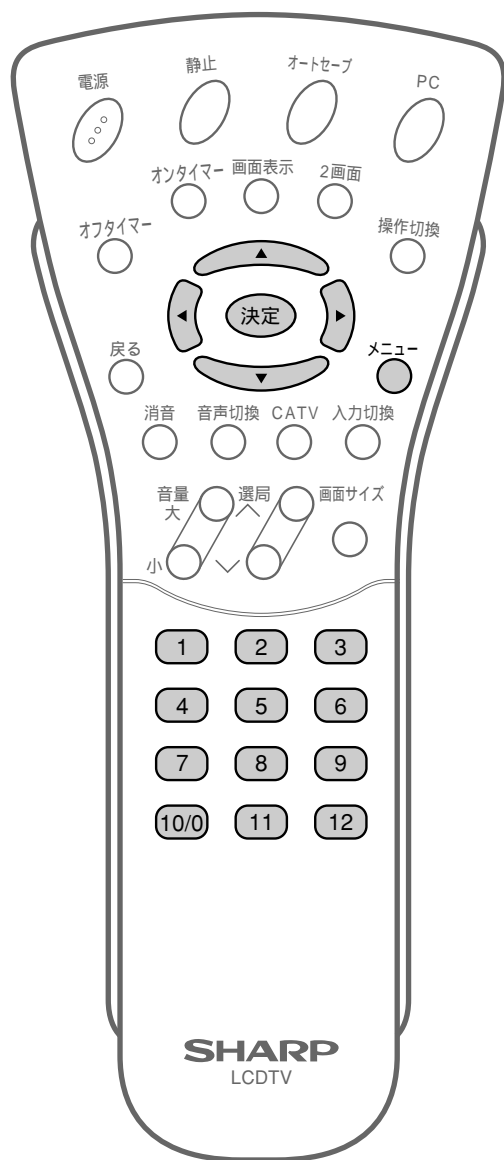
9 を押し、通常画面に戻す

- **選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をすると、チャンネル「11」がスキップされます。**

おしらせ

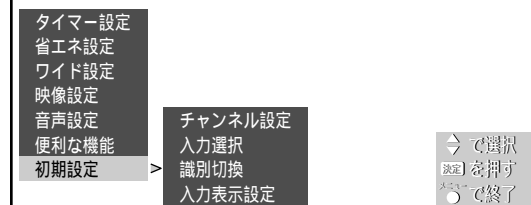
チャンネルスキップを解除するには

- 手順**8**で「切」を選ぶと、スキップは解除されます。（CATVチャンネルのスキップ解除も同様に行ってください。）

テレビのチャンネルを設定する(つづき)

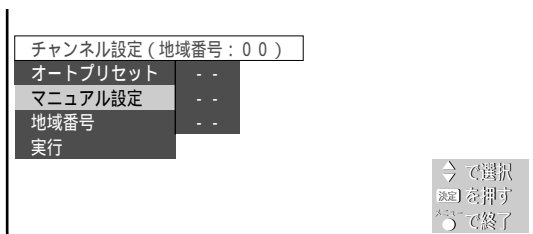
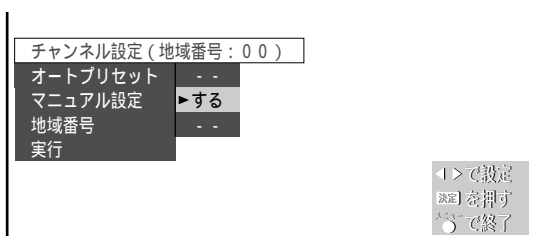
■ 実際の使用状況に合わせて、チャンネル表示を変えることができます。

画面のチャンネル表示を変える（チャンネル表示変更）

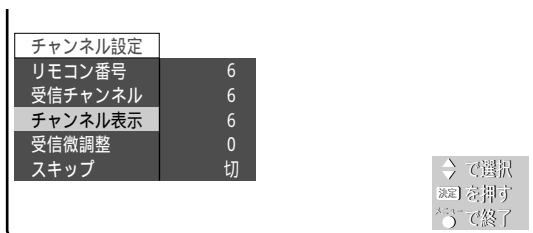
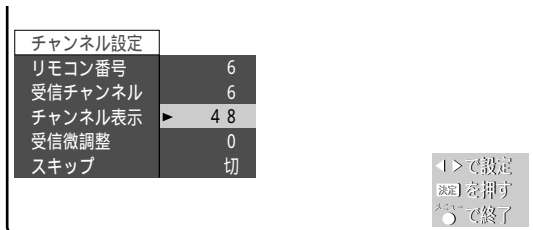
<例>テレビチャンネル⑥の表示を「48」にしたいとき

1 テレビチャンネル⑥を押し、「6」チャンネルを選ぶ

2 メニューを押し、メニュー画面を表示する

3 ▲ ▼で「初期設定」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

5 で「マニュアル設定」を選び、決定を押す

6 ① で「する」を選び、決定を押す

② で「実行」を選び、決定を押す

7 で「チャンネル表示」を選び、決定を押す

8 で「48」を選び、決定を押す

9 メニューを押し、通常画面に戻す

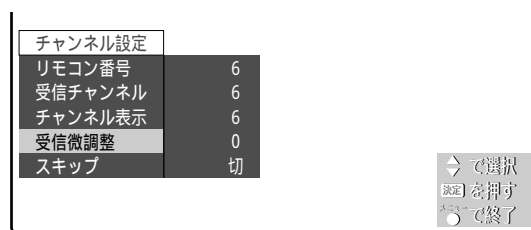
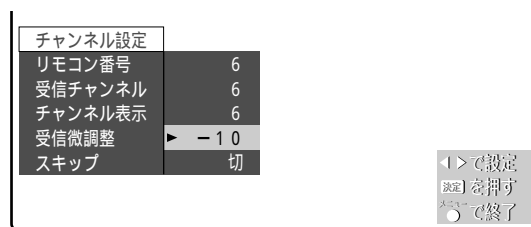
- 画面のチャンネル表示が「48」になります。

■ 受信調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合があります。

受信状態を微調整する（受信微調整）

<例>テレビチャンネル⑥を微調整する

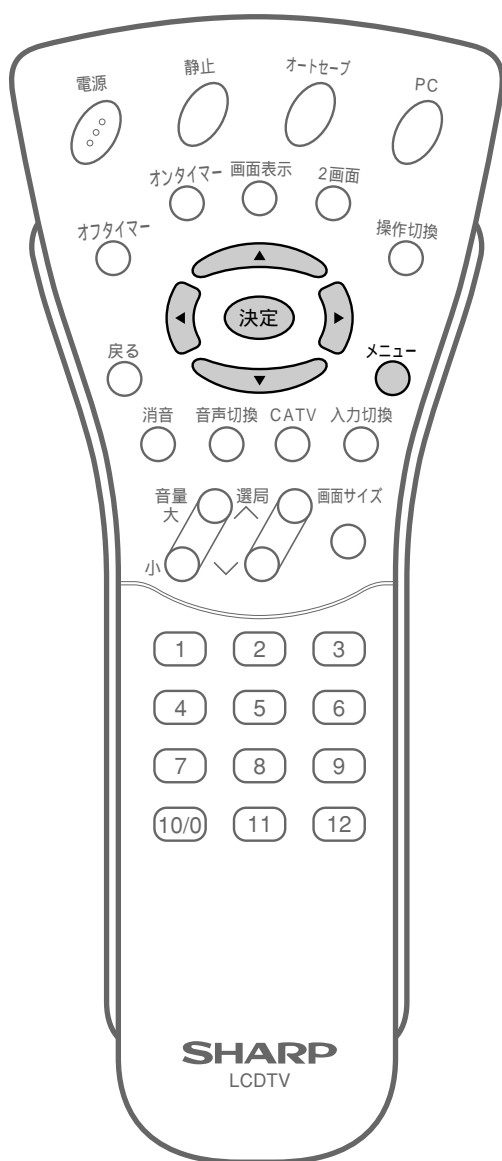
1～6 チャンネル表示変更と同じ、手順1～6を行う

7 で「受信微調整」を選び、決定を押す

8 で見やすい映像に調整し、決定を押す

9 メニューを押し、通常画面に戻す

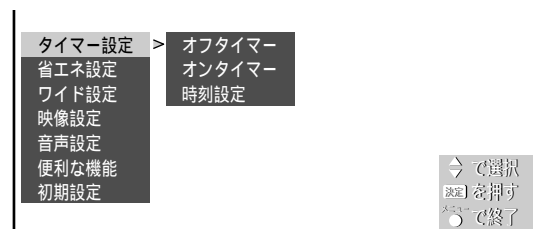
- これで受信状態の微調整が完了しました。

タイマー機能を設定する

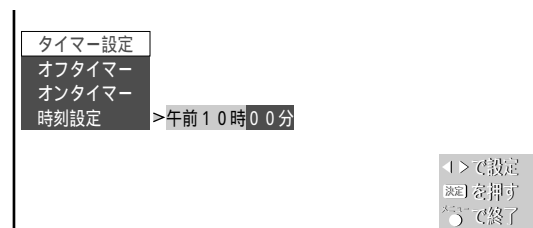
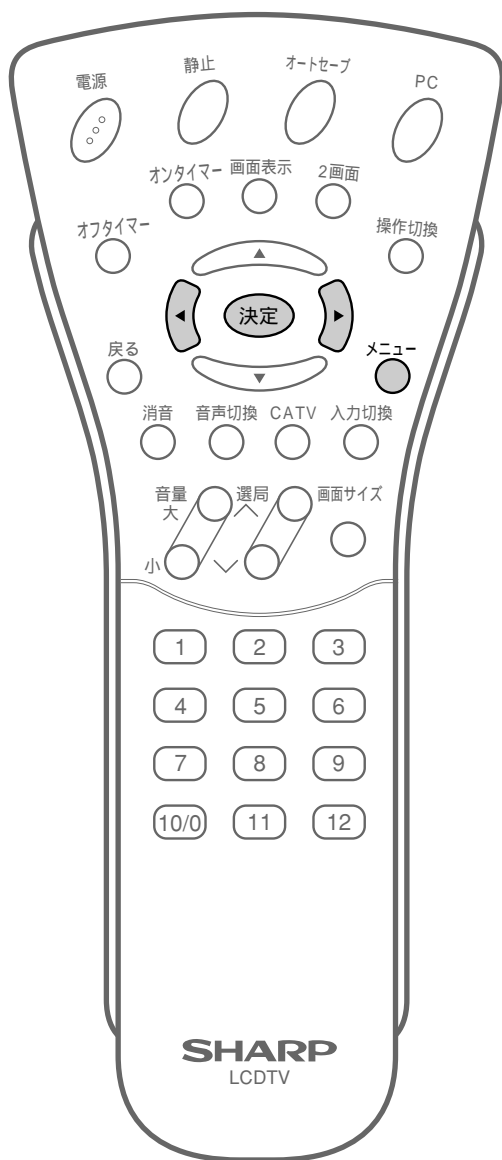
■ タイマー機能には、時刻設定をして現在時刻を表示する時計機能とオンタイマー機能、オフタイマー機能があります。

- **時 刻 設 定：** 時計を合わせます。現在時刻を画面に表示できます。
- **オンタイマー：** 指定した時刻に、本機の電源を「入」にします。
- **オフタイマー：** 指定した時間後に、本機の電源を「切」にします。

時計を合わせる（時刻設定）

＜例＞午前10時00分に合わせる

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「タイマー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「時刻設定」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「時」を午前10時に設定し、決定 を押す

5 ◀ ▶で「分」を00分に設定し、決定を押す

- **テレビなどの時報に合わせて、決定ボタンを押してください。**

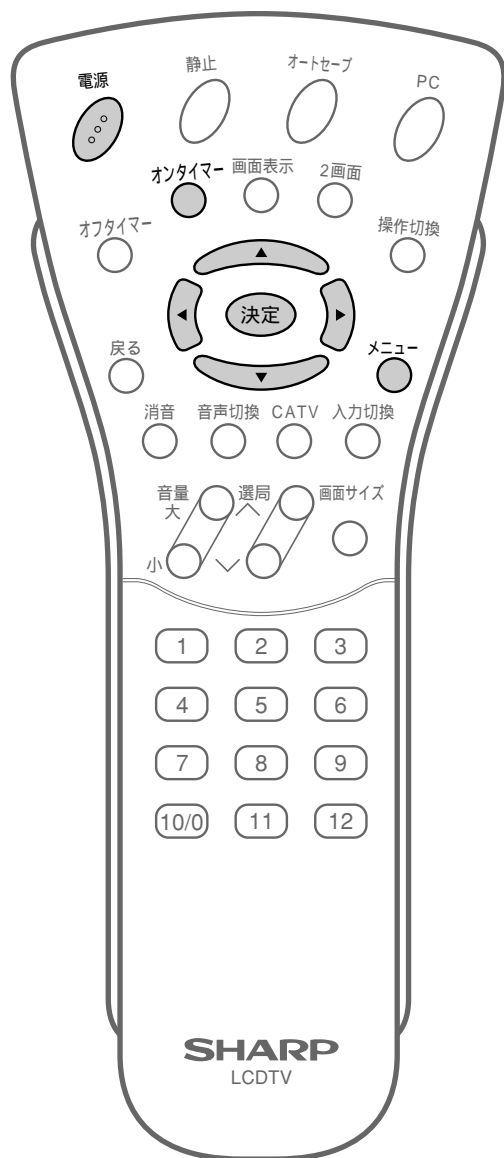
6 メニューを押し、通常画面に戻す

- **これで時計合わせが完了しました。**

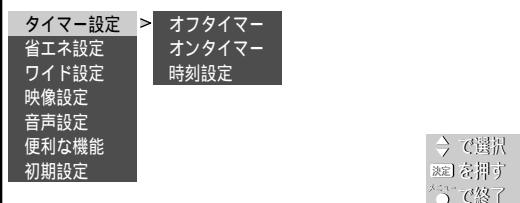
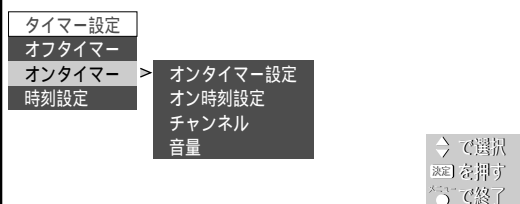
- 現在時刻の確認をするときは、画面のチャンネル表示が大きいときに画面表示ボタンを押します。

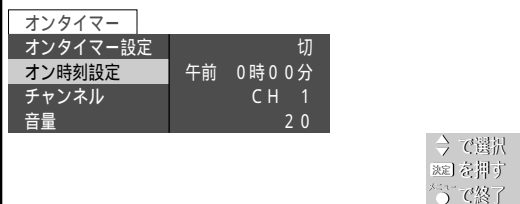
10秒間表示されます。

タイマー機能を設定する（つづき）

■ 毎日指定した時刻に、指定のチャンネルと音量で本機の電源を「入」にする機能です。機能を解除（設定「切」）にするまで毎日、繰り返しオンタイマーが働きます。
■ 先に時刻設定を行ってください。（**38**ページ参照）

指定した時刻に電源を入れる（オンタイマー）

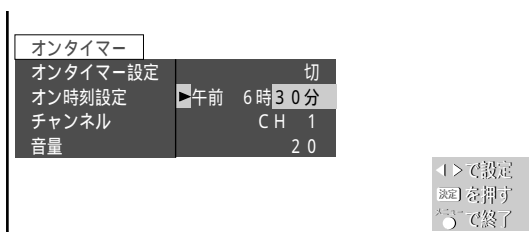
<例>朝6時30分に8チャンネル、音量30で電源を「入」にする

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「オン時刻設定」を選び、決定を押す

- 時刻設定がされていない状態で、「オンタイマー」を設定、選択すると、**「時刻が設定されていません」**と注意文が表示され「時刻設定」モードに入ります。
- ビデオ4を「モニター出力」に設定しているとき（**98**～**99**ページ参照）は、オンタイマーの「チャンネル」設定でビデオ4は選べません。

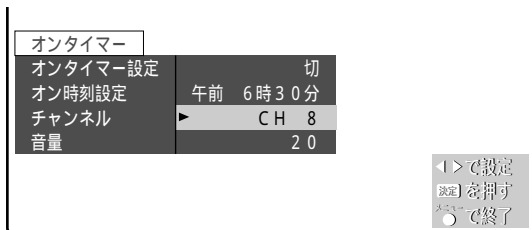
5

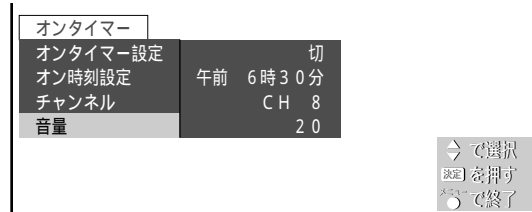
① ◀▶で「時」を午前6時に設定し、決定を押す

② ◀▶で「分」を30分に設定し、決定を押す

6

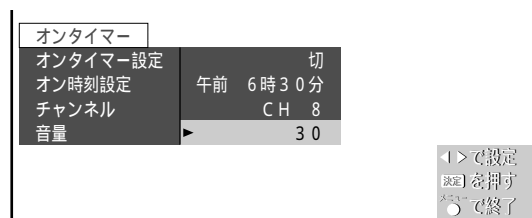
▲▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

7

◀▶でチャンネルを「CH 8」に設定し、決定を押す

8

▲▼で「音量」を選び、決定を押す

9

◀▶で音量を「30」に設定し、決定を押す

10

① メニューを押し、通常画面に戻す

② オンタイマーを押して、「入」に設定する

- **メニューの「オンタイマー設定」でも入／切できます。**

11

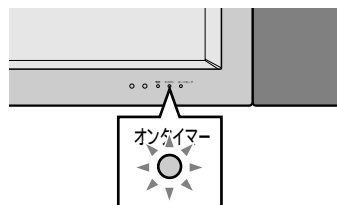
リモコンの電源を押し、電源を切る

- **本体の電源ボタンで電源を切ると、オンタイマーは働きません。**

おしらせ

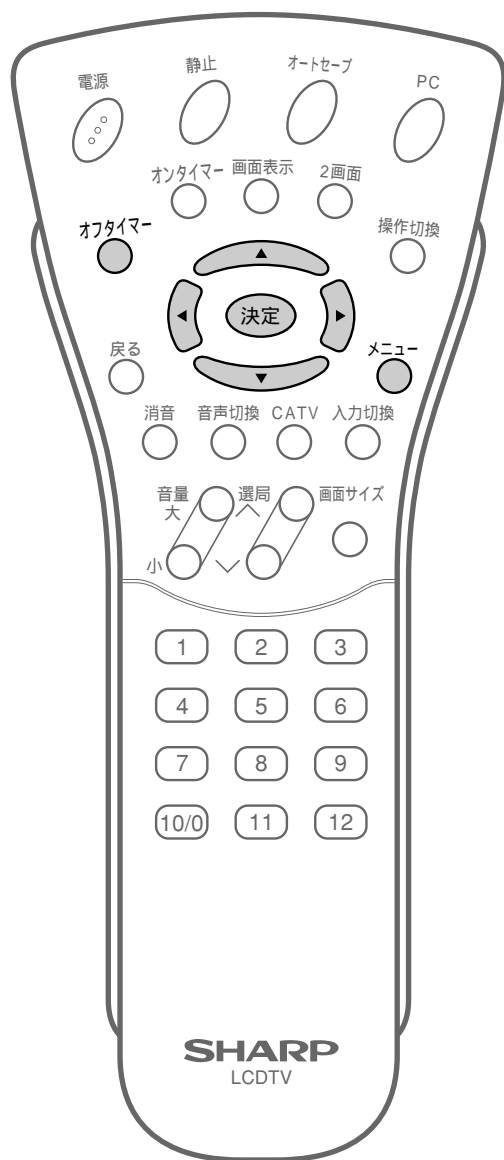
オンタイマーランプについて

- オンタイマー設定を「入」に設定すると、本体前面のオンタイマーランプが赤色に点灯します。

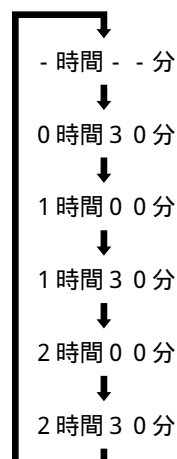
ご注意

- 停電になったときや、電源コードを抜いた後、電源を入れなおすとオンタイマーランプは点灯しますが、再度、時刻設定をしないとオンタイマーは動作しません。
- お出かけになるときは、本体の電源ボタンで電源を切るか、オンタイマーを「切」に設定し、オンタイマーランプの消灯を確認してください。
- オンタイマーで電源が入ると、自動的に2時間のオフタイマーが設定されます。2時間以上視聴するときは、オフタイマーを解除「ー時間ーー分」にしてください。（**42**ページ参照）

タイマー機能を設定する(つづき)

■ 指定した時間後に、テレビの電源が自動的に切れる機能です。おやすみ前などに使用すると便利です。

指定した時間後に電源を切る(オフタイマー)

1 **オフタイマーを押して、電源を切る時間を設定する**

- **<例>「1時間30分」後に電源を切るとき。**

- **ボタンを押すごとに、つぎのように設定時間が変わります。**

- 設定後、画面表示ボタンを押すと現在のオフタイマー状態(経過時間)が表示されます。

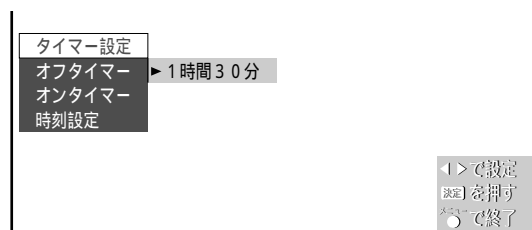
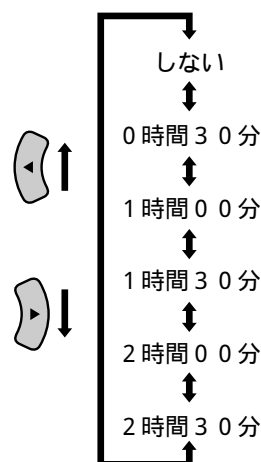
メニュー画面の「オフタイマー」で設定する

<例>「1時間30分」後に電源を切る

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「タイマー設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「オフタイマー」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶ で電源を切る時間、「1時間30分」を選び、決定を押す

- ◀ ▶ で設定時間が、つぎのように変わります。

5 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

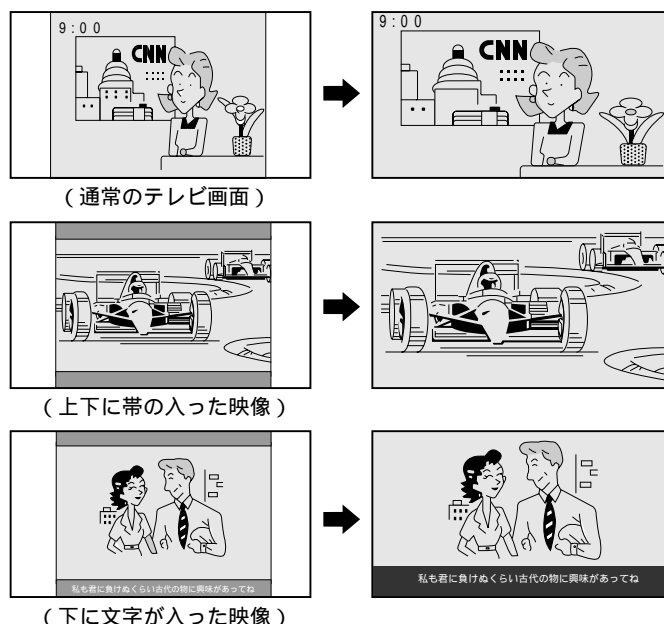
- オフタイマー設定後に、本体やリモコンで電源を切るとオフタイマーは解除されます。

テレビモードのワイド画面設定

■ 放送内容によって、画面サイズを自動的に切り換えたり、手動でサイズを切り換えることができます。

■ ワイド機能の画面サイズには、つぎの5つのサイズがあります。

- **ノーマルモード**
  通常のテレビ画面(横縦比4：3)の映像です。
- **ワイドモード**
  通常の放送(4：3)を、画面いっぱい(16：9)に映します。
- **シネマモード**
  横長サイズの映画ソフトなどを画面いっぱい(16：9)に映します。
- **フルモード**
  16：9から4：3に圧縮された映像(フル映像ソフト)を、もとの16：9に戻して画面いっぱいに映します。フルモードはメニューでフル1、フル2の設定ができます。(48ページ参照)
- **オートモード**
  映像の内容により自動的に最適な画面サイズに切り換えます。
  オートモードで、通常の放送(4：3)を受信した場合の映像をメニューでノーマル、ワイドの設定ができます。(49ページ参照)

▼ オートモードのときの画面表示例

(通常のテレビ画面)

(上下に帯の入った映像)

(下に文字が入った映像)

ワイドクリアビジョン放送やフルモード信号の表示について

画面サイズ制御信号の入った映像の表示について

- 本機は、ワイドクリアビジョン放送やビデオ入力端子から入力された映像信号に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動設定する機能を備えています。
  メニュー操作で機能の入／切を選択できます。(**50〜53**ページ)

「ED識別」機能……………ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適なサイズで表示します。

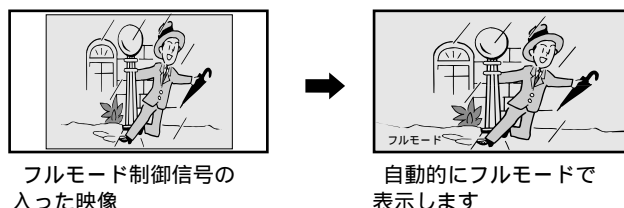
「S2識別」機能……………DVDプレーヤーなどをS端子ケーブルで接続したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号の含まれた映像が入力されると、自動的に最適なサイズで表示します。

フルモード制御信号・レターボックス制御信号について

- 横縦比16：9の映像であることを示す信号です。

• フルモード： オリジナルの映像が16：9のもの。

〈フルモード制御信号の入った映像〉

〈自動的にフルモードで表示します〉

• レターボックス：4：3の画面の中に16：9の映像が含まれているもの。

〈レターボックス制御信号の入った映像〉

〈自動的に画面いっぱいに表示します〉

テレビモードの画面サイズを設定する

1 画面サイズ を押して、お好みの画面サイズを選ぶ

- **画面サイズモードが表示されます。**

オートモード（ワイド）

- **画面サイズモード表示中にボタンを押します。押すごとに、つぎのように切り換わります。**

ノーマルモード ➜ ワイドモード ➜ シネマモード ➜ フルモード（フル1）／フルモード（フル2） ➜ オートモード（ノーマル）／オートモード（ワイド） ➜ ノーマルモード

メニュー画面で設定するとき

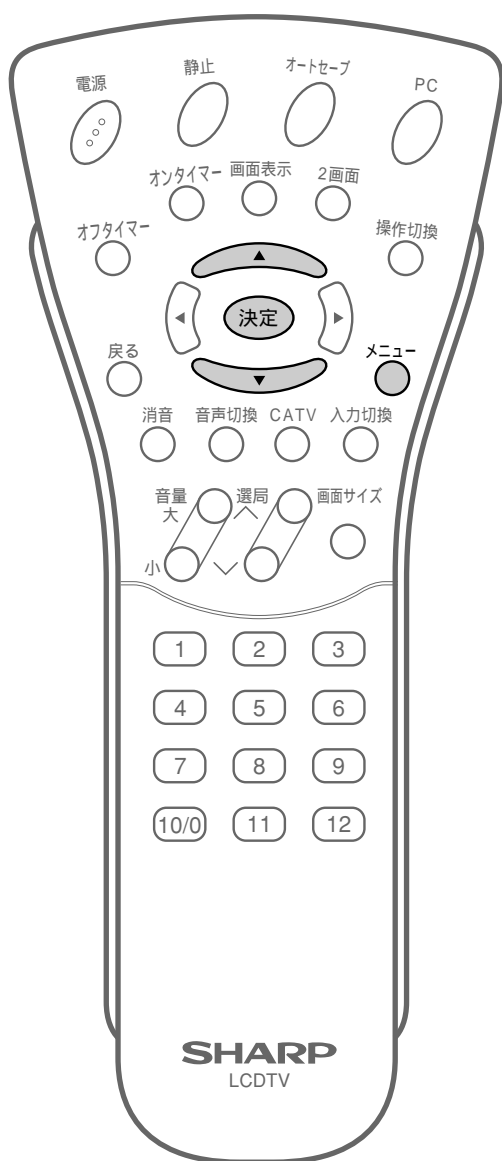
1. **メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「ワイド設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す**
4. **左右カーソルボタンで最適なサイズを選び、決定ボタンを押す**
5. **メニューボタンを押し、通常画面に戻す**

- オートモードでご使用中、画面が大きくなったり小さくなったりすることがありますが、これはオートモード機能が受信した映像に応じて最適な画面サイズへ自動切換えをしているために起こる現象で、故障ではありません。気になる場合は、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。
  ご覧になる映像によっては、切り換わる時間に差があります。
- 映像のサイズ（シネスコサイズなど）によっては、上下に黒い帯が残る場合があります。
- ビデオ機器で特殊再生（ビデオサーチやスロー再生など）をしている間は、オートモード機能が働かなくなることがあります。
- 市販ソフトによっては、字幕など一部欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換えて、位置調整で垂直位置を調整してください。
- 本機は各種の画面サイズ切換え機能を備えています。テレビ番組等、ソフトの映像比率の異なるサイズを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差がでます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切換え機能等を利用して、画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、ワイド機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- オートモードでご使用中、受信内容や映画ソフトによっては正しく動作しないことがあります。この場合は、画面サイズボタンで最適な画面サイズに切り換えてください。

テレビモードのワイド画面設定（つづき）

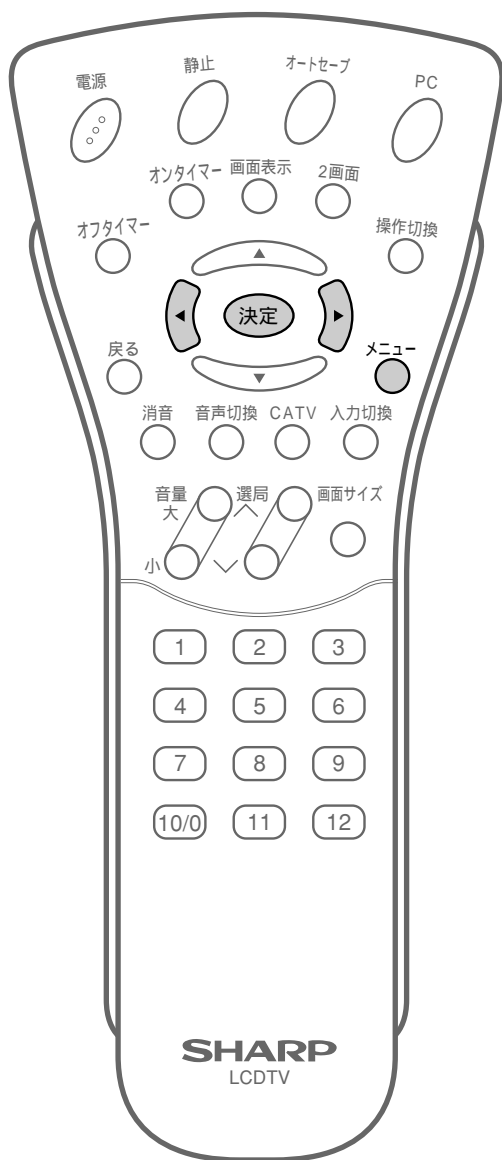
位置調整

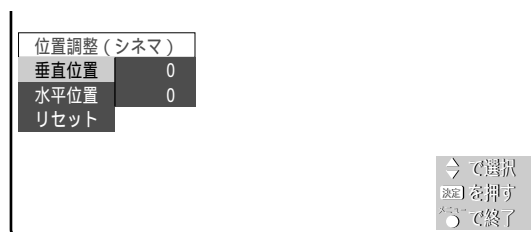
■ 画面サイズがワイドモードとシネマモードのとき、画面位置を調整することができます。

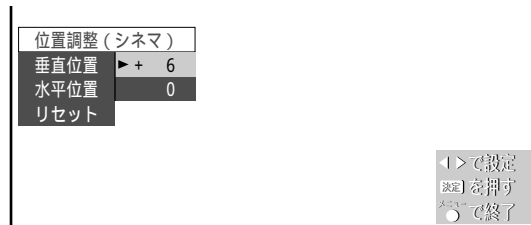
- **垂直位置：** 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
- **水平位置：** 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

画面の位置を調整する

<例>シネマモードの垂直位置を調整する

1 **（メニュー）を押し、メニュー画面を表示する**

2 **（▲）（▼）で「ワイド設定」を選び、（決定）を押す**

3 **（▲）（▼）で「位置調整」を選び、（決定）を押す**

4 **（▲）（▼）で「垂直位置」を選び、（決定）を押す**

- **画面を標準の状態に戻すときは、「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。**

5 ◀ ▶ で垂直位置を調整し、決定を押す

6 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

水平位置を調整するには

- 手順4のときに「水平位置」を選んで決定ボタンを押し、お好みの位置に調整してください。

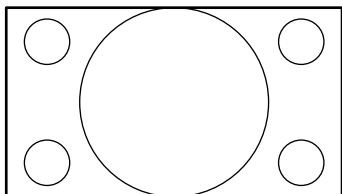
つぎの場合、位置調整はできません

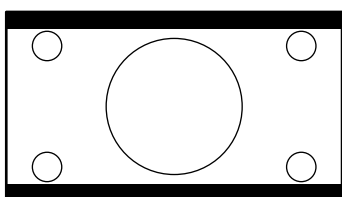
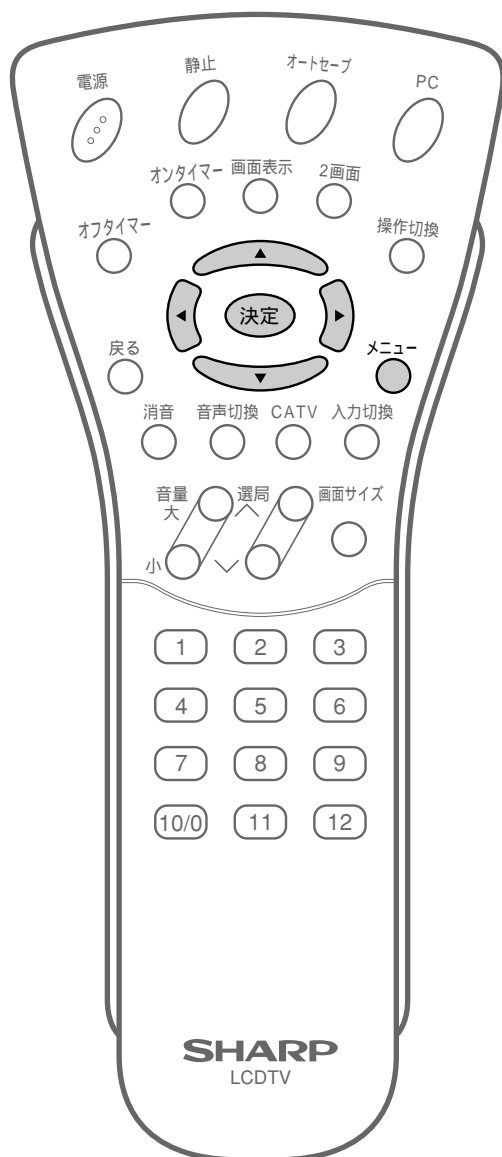
- ノーマルモード、フルモード、オートモードのとき。
- コンポーネント入力にハイビジョン信号が入力されているとき。

テレビモードのワイド画面設定(つづき)

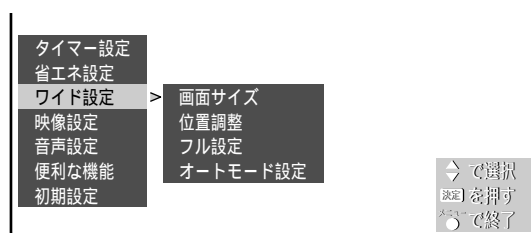
フル設定

■ 画面サイズをフルモードに設定したときは、「フル1」か「フル2」を選択することができます。

• **フル1：**

画面いっぱいに映しだします。

• **フル2：**

映像全体を映しだします。
画面の上下に黒帯が入ります。

フルモードの画面サイズを調整する

<例>フルモード画面を「フル2」に設定する

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定 を押す

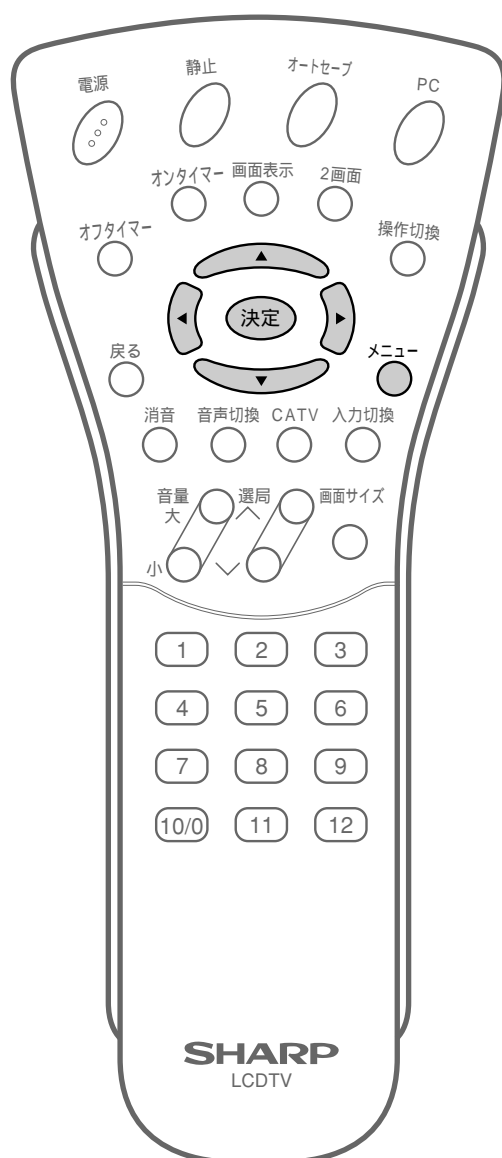
3 ▲ ▼ で「フル設定」を選び、決定 を押す

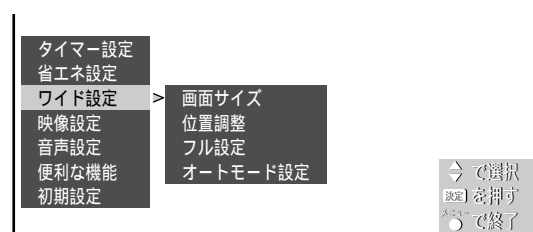
4 ◀ ▶ で「フル2」を選び、決定 を押す

5 メニュー を押し、通常画面に戻す

オートモード設定

■ 画面サイズをオートモードに設定したとき、通常の4：3映像をノーマルかワイドにできます。

- **ノーマル：** 4：3映像を、そのまま映します。
- **ワ イ ド：** 4：3映像を画面いっぱいに拡大して映します。

オートモードで4：3映像をそのまま見る

1 (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「ワイド設定」を選び、(決定)を押す

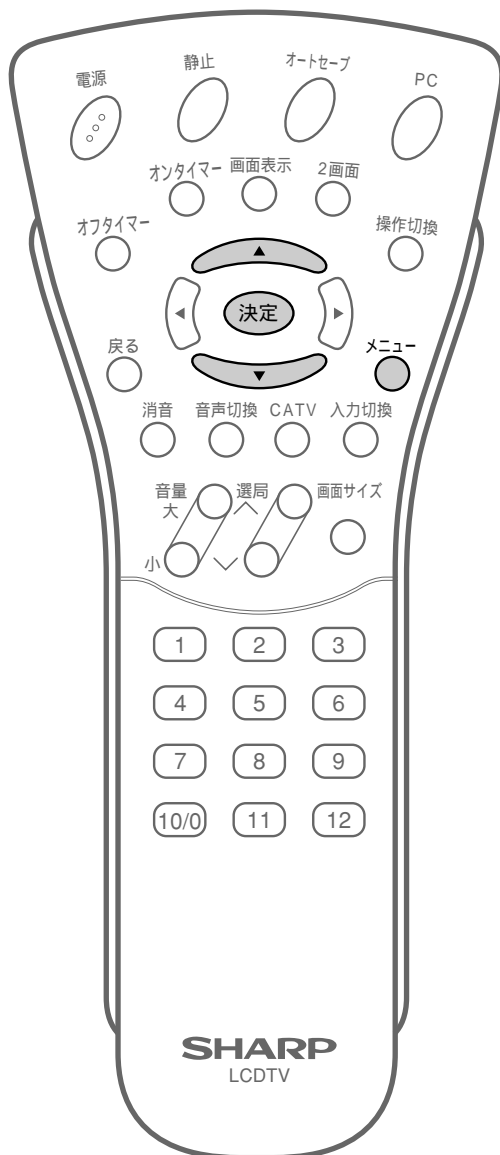
3 ▲▼で「オートモード設定」を選び、(決定)を押す

4 ◀▶で「ノーマル」を選び、(決定)を押す

5 (メニュー)を押し、通常画面に戻す

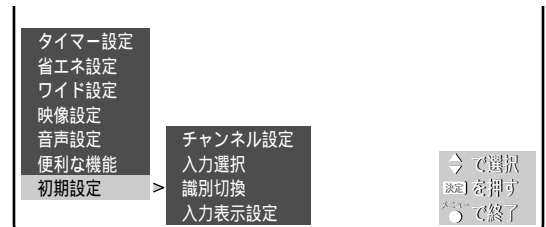
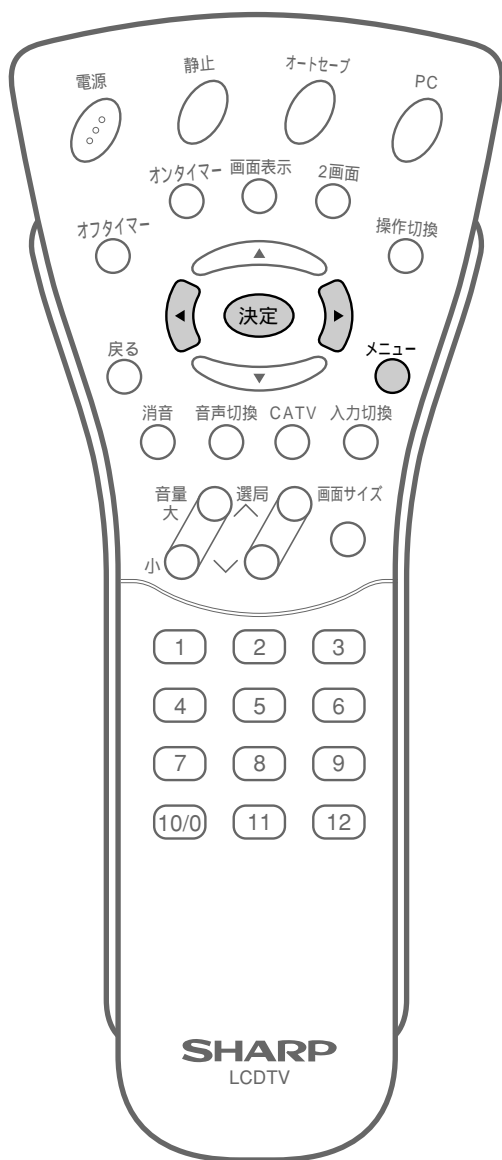
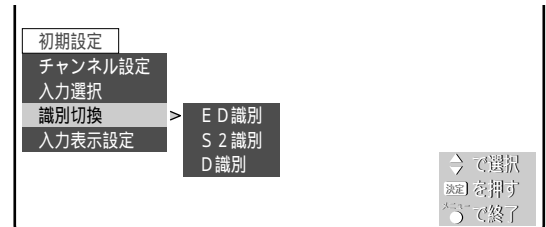
画面サイズの最適化(識別切換機能)

■ ワイドクリアビジョン放送、S２映像入力信号、D４映像入力信号に含まれる画面サイズ制御信号をそれぞれ識別して、最適なサイズにする機能です。

- **ED識別：** ＥＤ識別を「入」に設定すると、オートモードでワイドクリアビジョン放送を受信したときに、自動的に画面いっぱいに表示します。

ＥＤ識別の設定

＜例＞ＥＤ識別を「入」に設定する

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「識別切換」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「ＥＤ識別」を選び、決定 を押す

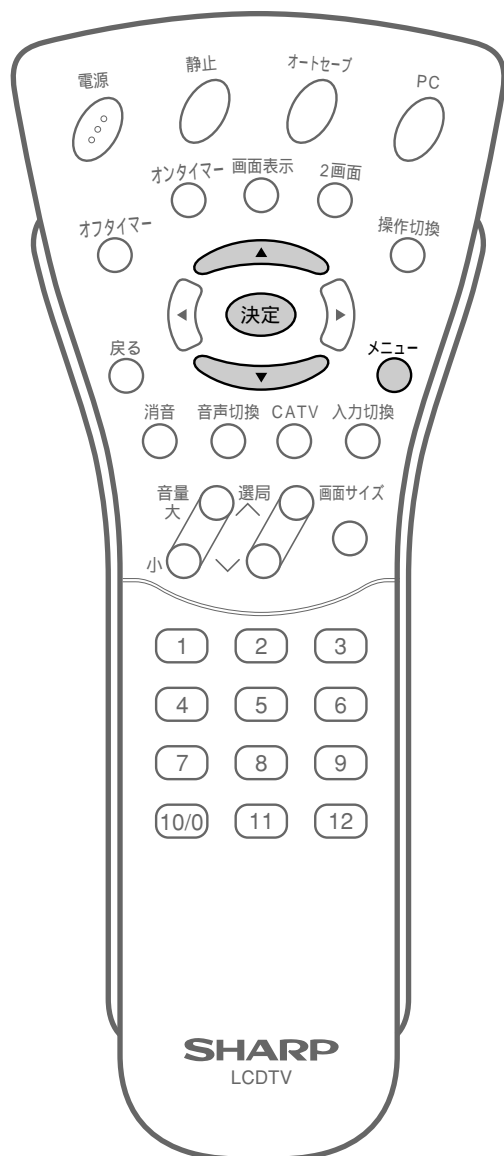
5 で「入」を選び、決定を押す

6 メニューを押し、通常画面に戻す

テレビを楽しむ

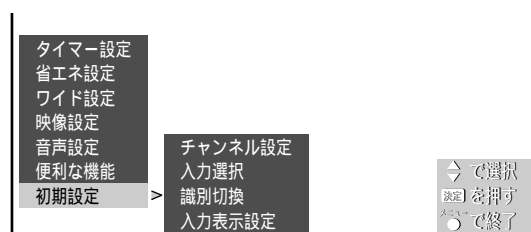
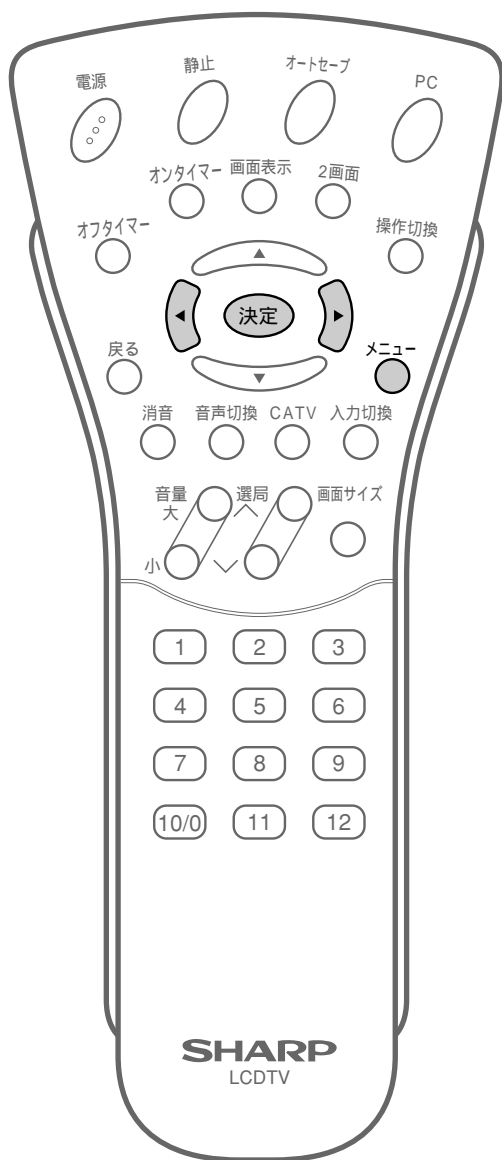
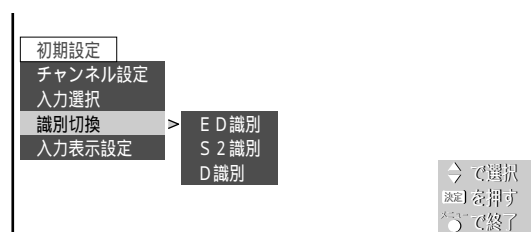
画面サイズの最適化（識別切換機能）

画面サイズの最適化（識別切換機能）（つづき）

- **S2識別：** S２映像入力端子からの入力に含まれる画面サイズ制御信号を識別して、最適な画面サイズにする機能です。
  S２識別を「入」に設定して、オートモードで使用しているときに動作します。

S２識別の設定

＜例＞S２識別を「入」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「識別切換」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「S２識別」を選び、決定を押す

5 ◀▶で「入」を選び、決定を押す

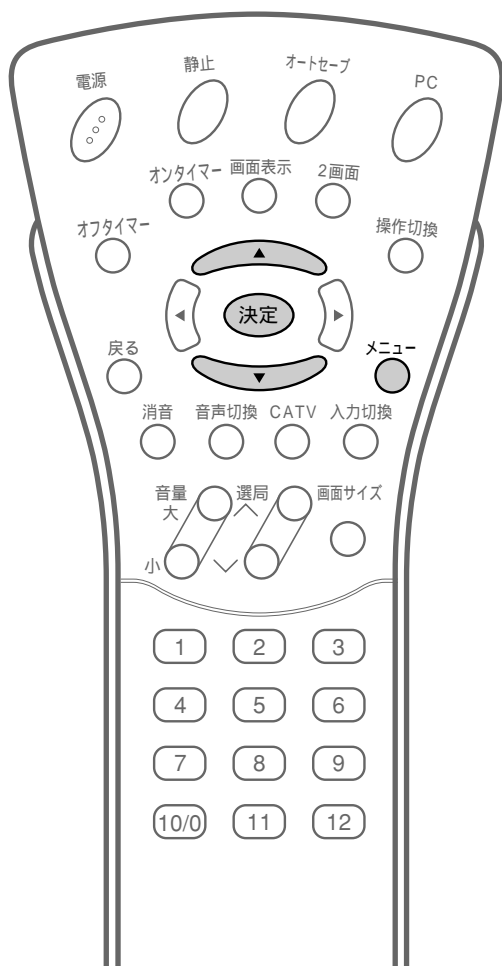
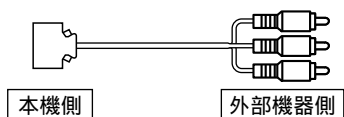
6 メニューを押し、通常画面に戻す

画面サイズの最適化(識別切換機能)(つづき)

- **D識別**　：D4映像端子に接続されるケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変える機能です。

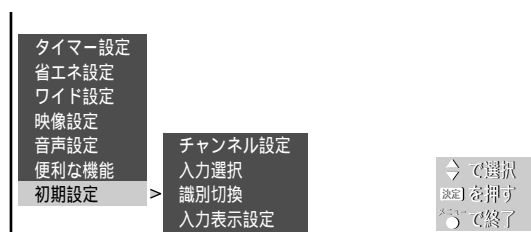
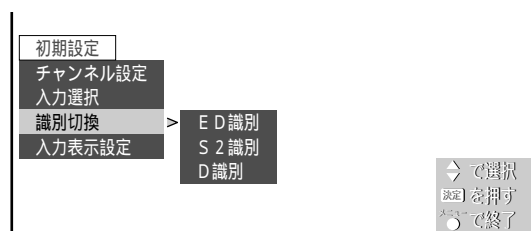
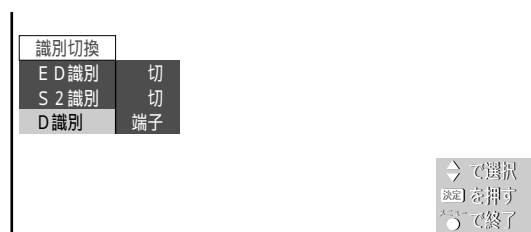
「端子」：外部機器に接続するケーブルが、D端子接続ケーブルのときは「端子」に設定します。

「信号」：外部機器に接続するケーブルが、D端子映像コンポーネント変換ケーブルのときは「信号」に設定します。

本機側　外部機器側

D識別の設定

＜例＞D識別を「信号」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

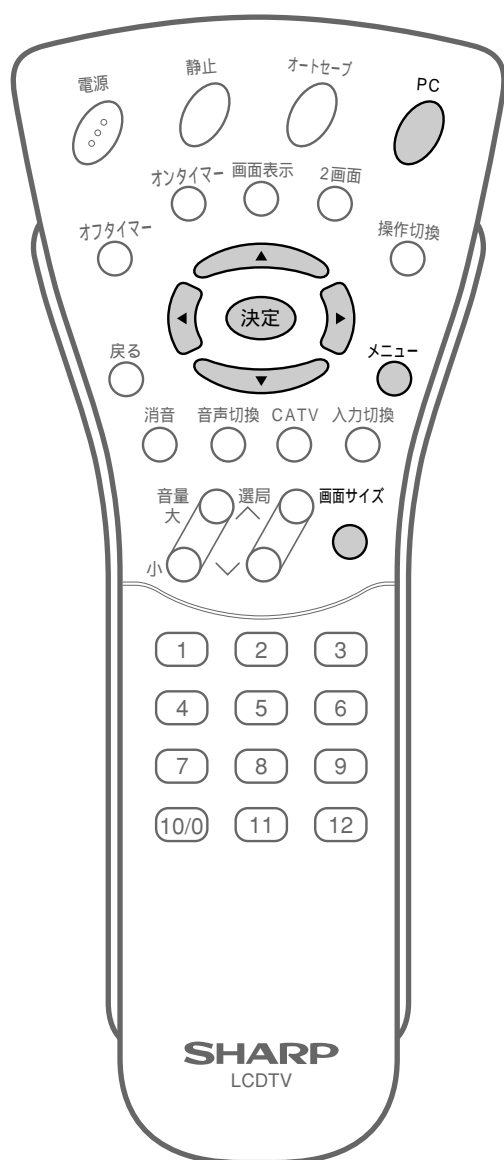
2 ▲▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「識別切換」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「D識別」を選び、決定を押す

- D端子接続ケーブルやD端子映像コンポーネント変換ケーブルは市販のものをご使用ください。

5 ◀▶で「信号」を選び、決定を押す

6 メニューを押し、通常画面に戻す

PCモードのワイド画面設定

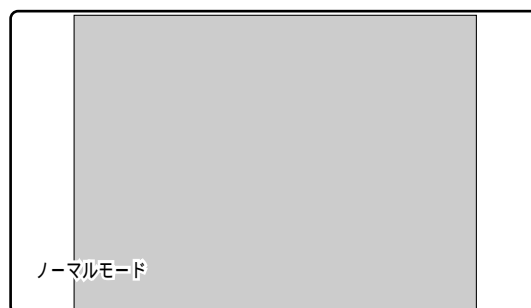
■ コンピューターの画面状態により、おもに画面の表示位置や映り具合を最適な状態にするための調整です。
PC（コンピューター）モードの画面切り換え（ワイド機能）は、「ノーマル、フル、リアル」モードの3つのサイズがあります。

■ PCモードのワイド設定には、つぎの3つの項目があります。
「画面サイズの設定」「位置調整」「入力信号表示設定」

PCモードの画面サイズを設定する

1

① PC を押し、PC画面を表示する

② 画面サイズ を押して、画面サイズを設定する

- **画面サイズモードが表示されます。**

- **画面サイズモード表示中にボタンを押します。押すごとに、つぎのように切り換わります。**

→ノーマルモード → フルモード → リアルモード

リアルモードとは

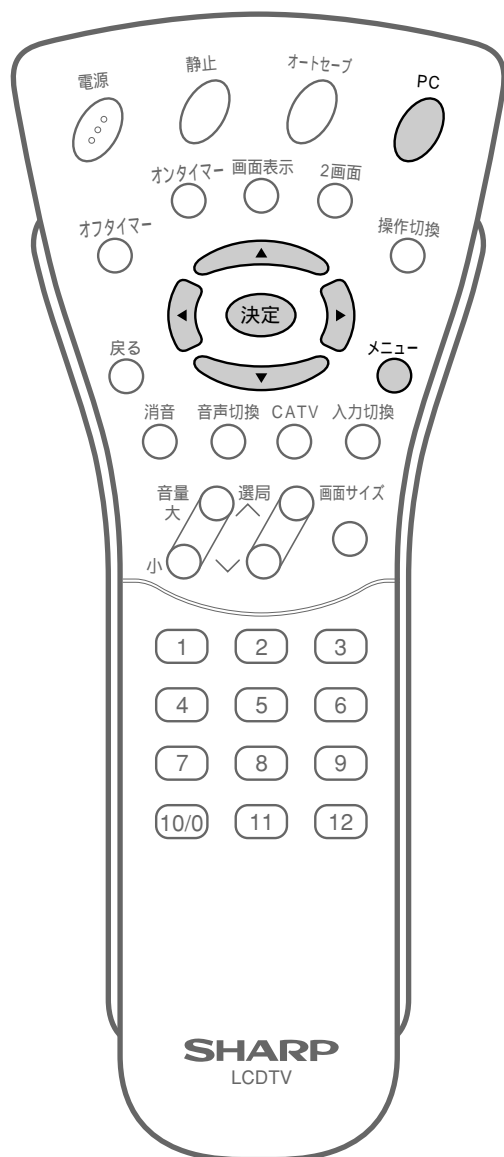
- **接続したPC（コンピューター）の入力信号の解像度を判別して、これに一致した画素数で表示する機能です。**

メニュー画面で設定するとき

1. **メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する**
2. **上下カーソルボタンで「ワイド設定」を選び、決定ボタンを押す**
3. **上下カーソルボタンで「画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す**
4. **左右カーソルボタンで最適なサイズ（ノーマルモード・フルモード・リアルモード）を選び、決定ボタンを押す**
5. **メニューボタンを押し、通常画面に戻す**

位置調整

■ PCモードの位置調整には、つぎの5つの調整項目があります。

- **オート調整**：画面の表示位置や映り具合を自動的に最適な状態に調整します。
- **クロック**：縦縞状のチラツキがあるときに調整します。
- **水平位相**：文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
- **垂直位置**：映像が上がり過ぎ、または下がり過ぎ状態のときに調整します
- **水平位置**：画像が右寄り、または左寄り状態のときに調整します。

画面位置を自動調整する（オート調整）

1

① PC を押し、PC画面を表示する

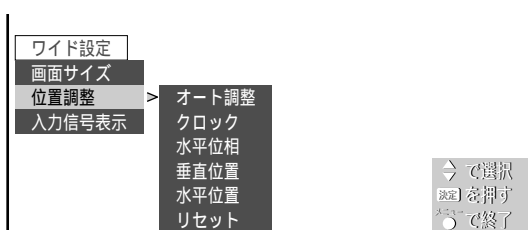
② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2

▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定を押す

3

▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定を押す

4

① ▲ ▼ で「オート調整」を選び、決定を押す

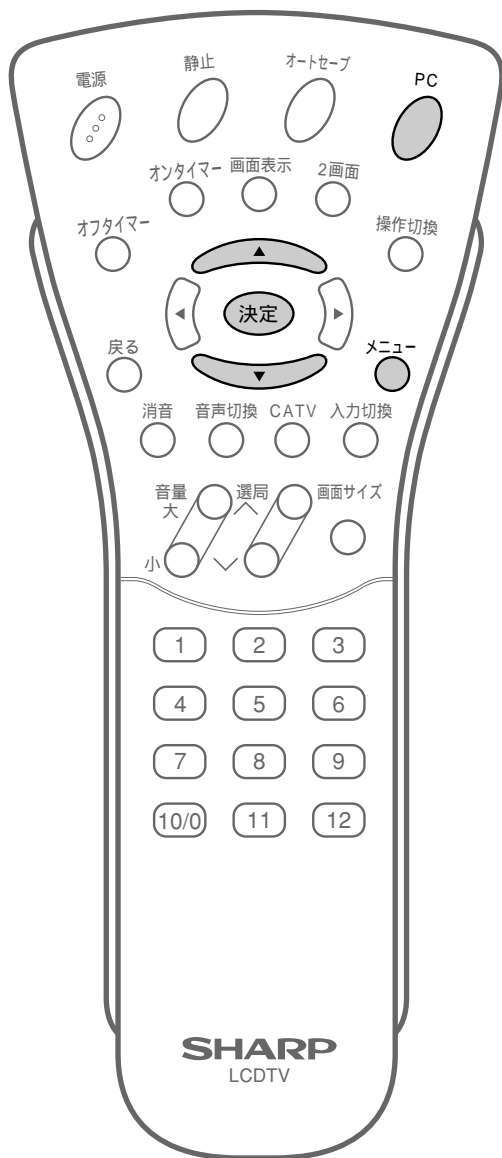
② ◀ ▶ で「実行」を選び、決定を押す

- 「調整中」と表示されます。完了するとカーソルがオート調整に戻ります。

5

メニュー を押し、通常画面に戻す

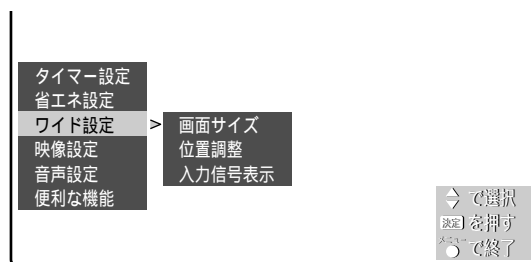
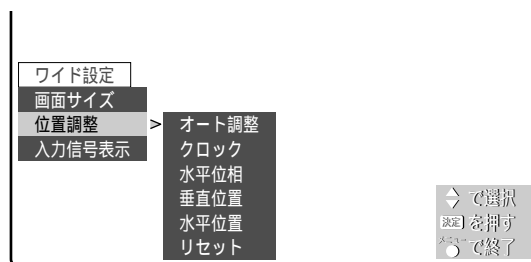
PCモードのワイド画面設定(つづき)

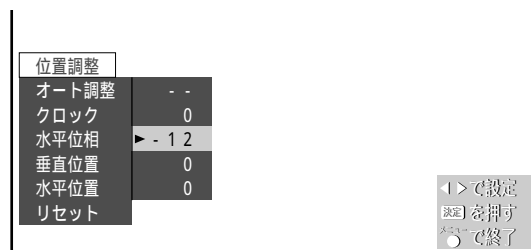
■ PC画面の状態に合わせて、個別に調整することができます。

映り具合や画面位置を個別に調整する

<例>水平位相を調整する

1 ① PC を押し、PC画面を表示する

② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「位置調整」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「水平位相」を選び、決定 を押す

5 ◀▶で水平位相を最適な状態に調整し、決定を押す

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。**

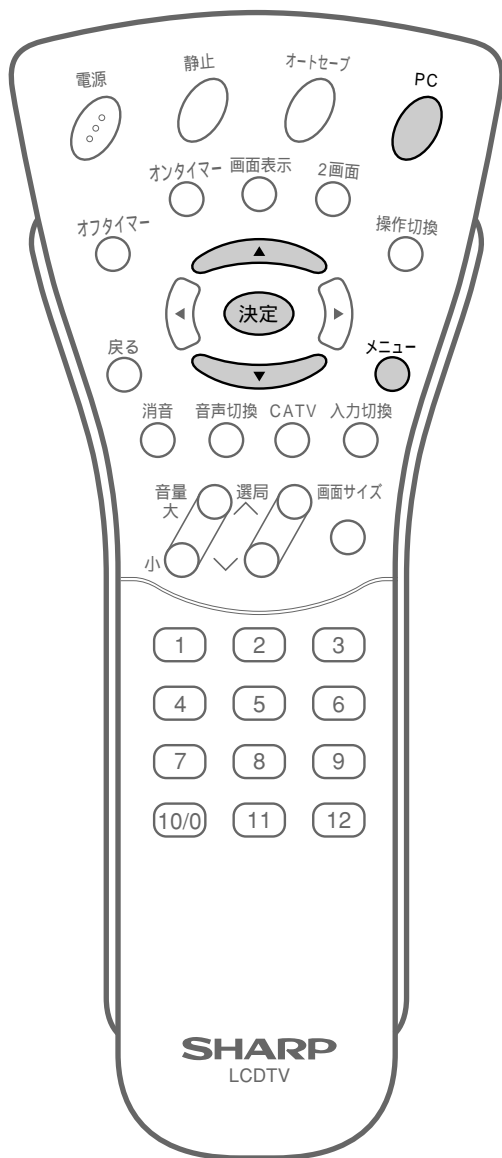
6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

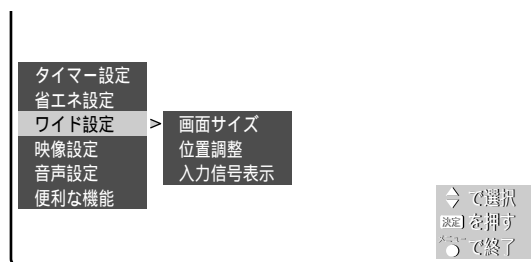
- 画面を標準の状態に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

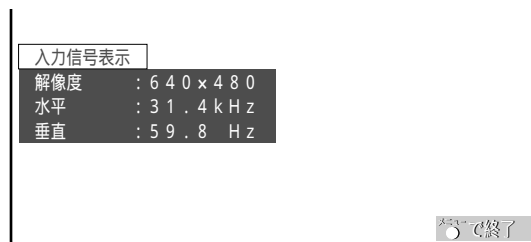
PCモードのワイド画面設定(つづき)

入力信号表示設定

■ 本機に接続したコンピューターの入力信号を表示して、確認することができます。

PC入力信号を表示する

1 ① PC を押し、PC画面を表示する
② メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「ワイド設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「入力信号表示」を選び、決定 を押す

4 入力信号表示内容を確認し、メニュー を押す

テレビモードの映像・音声を調整する

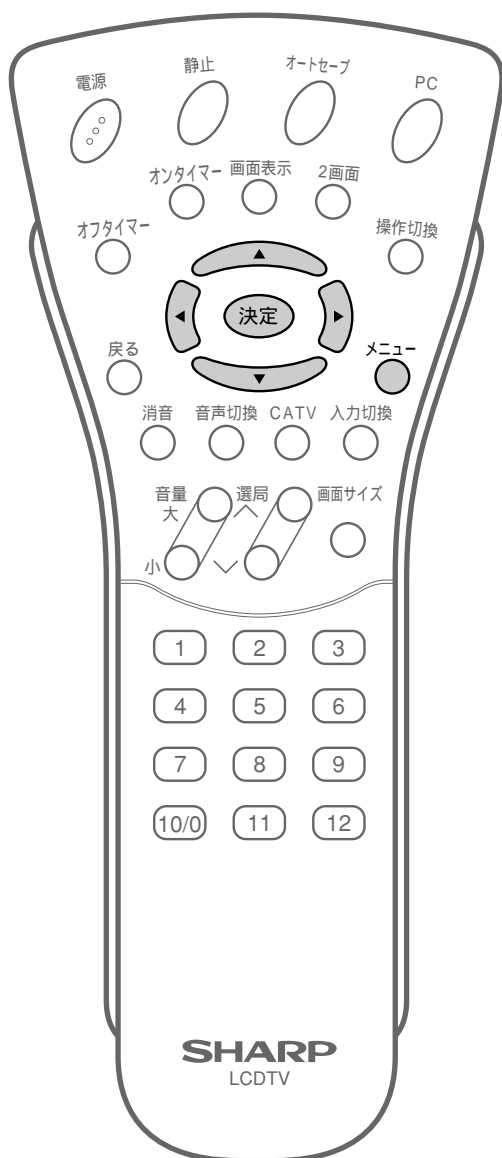
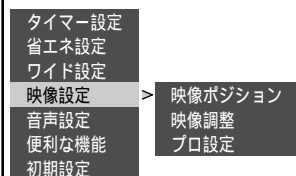
映像ポジション

■ テレビ／ビデオモードの映像を、放送の種類に合わせて、最適な映像ポジションを選ぶことができます。

- **標準：**通常の番組を見るとき。
- **映画：**映画などの放送やソフトを見るとき。
- **ハイビジョン：**ハイビジョン放送の番組を見るとき。

最適な映像ポジションを選ぶ

1 （メニュー）を押し、メニュー画面を表示する

2 （▲）（▼）で「映像設定」を選び、（決定）を押す

3 （▲）（▼）で「映像ポジション」を選び、（決定）を押す

4 （◀）（▶）で最適なポジションを選び、（決定）を押す

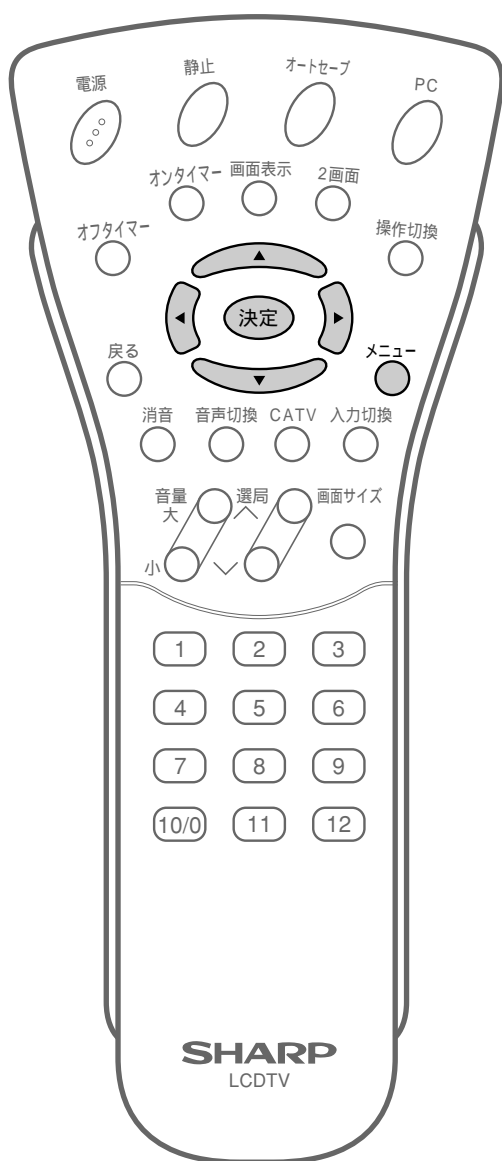
映像設定
映像ポジション ▸ハイビジョン
映像調整
プロ設定
で設定
を押す
で終了

5 （メニュー）を押し、通常画面に戻す

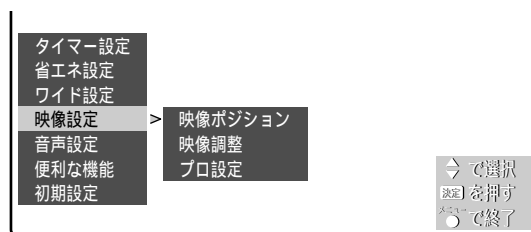
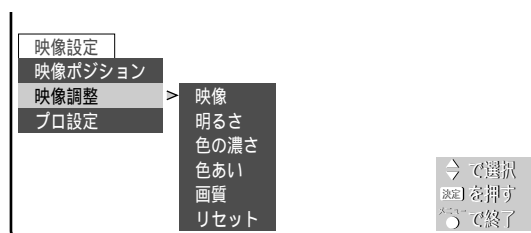
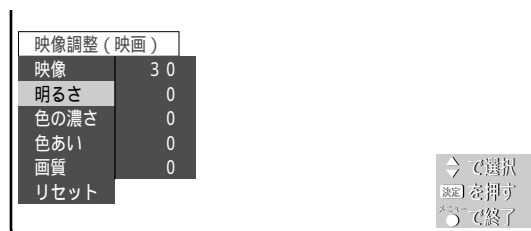
テレビモードの映像・音声を調整する（つづき）

映像調整

■ 映像ポジションの「標準」、「映画」、「ハイビジョン」の各ポジションは、お好みの映像に調整することができます。

■ つぎの5つの項目を調整できます。
調整した映像は、各映像ポジションに記憶されます。
「映像」「明るさ」「色の濃さ」
「色あい」「画質」

テレビモードの映像を調整する

＜例＞映像ポジションの「映画」で「明るさ」を調整する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「映像調整」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「明るさ」を選び、決定を押す

5 ◀▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す

- 「▯」マークが左右に移動し、数字が増減します。

- 続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。

6 メニューを押し、通常画面に戻す

- 表示が消え、調整した内容が映像ポジションに記憶されます。

おしらせ

- 「映像」「明るさ」「色の濃さ」「色あい」「画質」の5つの項目を調整できます。

「映　像」

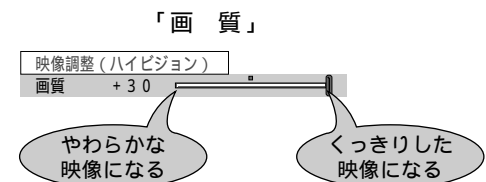
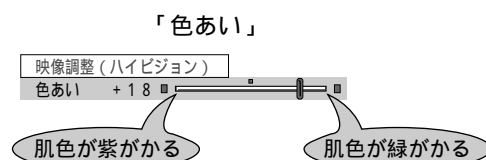
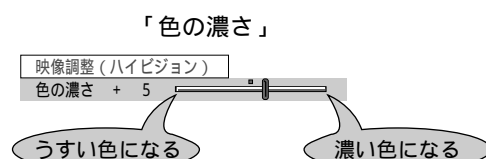
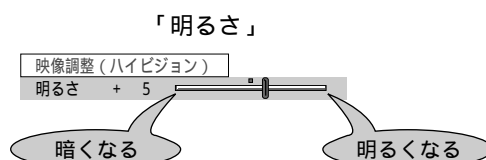
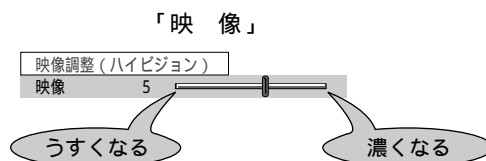
映像調整（ハイビジョン）
映像　5
うすくなる　濃くなる

「明るさ」

映像調整（ハイビジョン）
明るさ　＋　5
暗くなる　明るくなる

「色の濃さ」

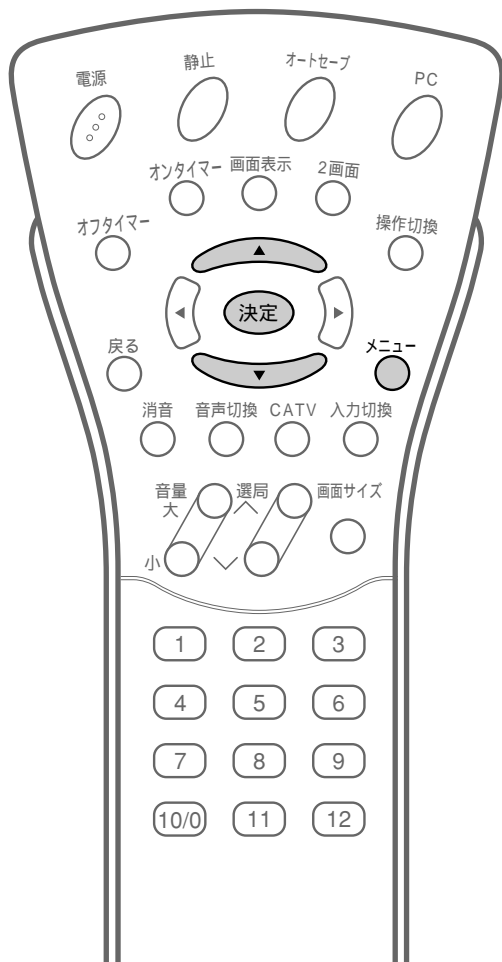
「色あい」

「画　質」

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

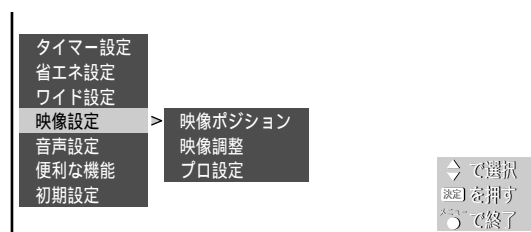
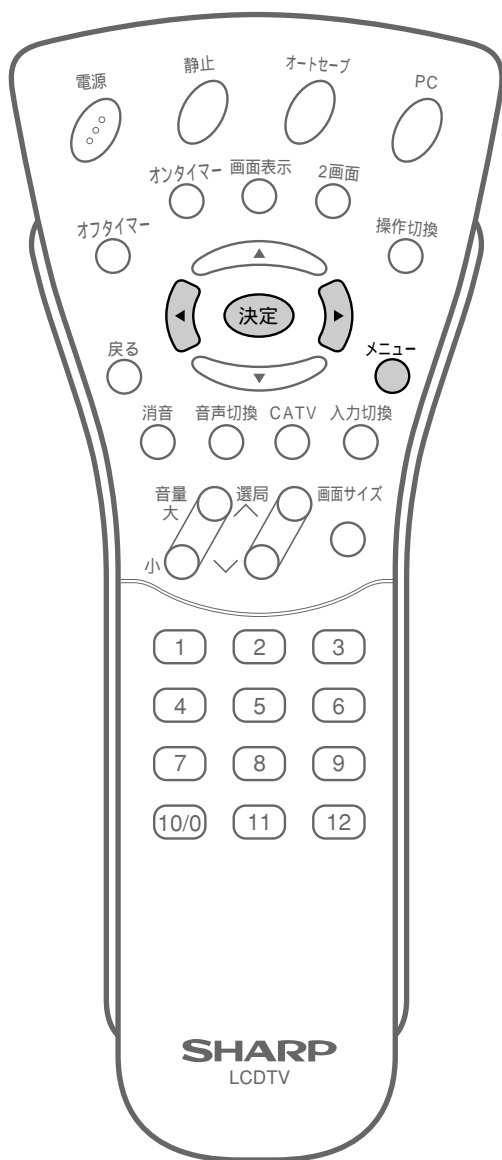
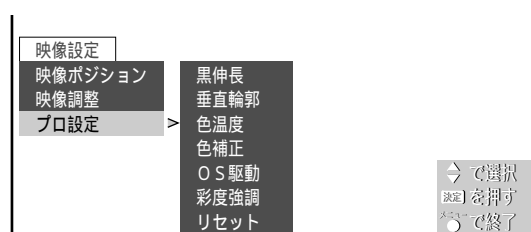
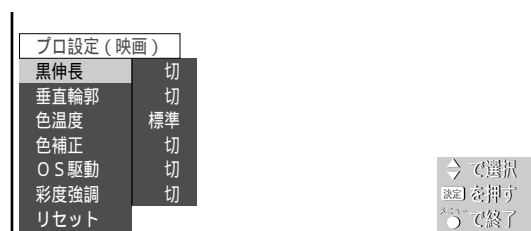
プロ設定

■ 62ページの映像調整より、さらに細かく映像を、お好みに合わせて調整することができます。

- **黒　伸　長：** 映像の黒い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。
  設定(切、弱、強)
- **垂 直 輪 郭：** 明るい映像での黒い部分のキメ細かさを調整し、映像のメリハリを変更させます。
  設定(切、入)
- **色　温　度：** 画面全体の色調を調整します。
  設定(高、標準、中、低)
- **色　補　正：** 肌色の強調度合いを変化させます。
  設定(切、入)
- **O S 駆 動：** 動きの早い映像などの応答性が改善されます。
  設定(切、入)
- **彩 度 強 調：** 画面のあざやかさが強調されます。
  設定(切、入)
- **リ セ ッ ト：** 工場出荷状態に戻ります。

映像プロ設定をする

＜例＞映像ポジションの「映画」で「黒伸長」を「強」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「プロ設定」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「黒伸長」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶ で「強」を選び、決定 を押す

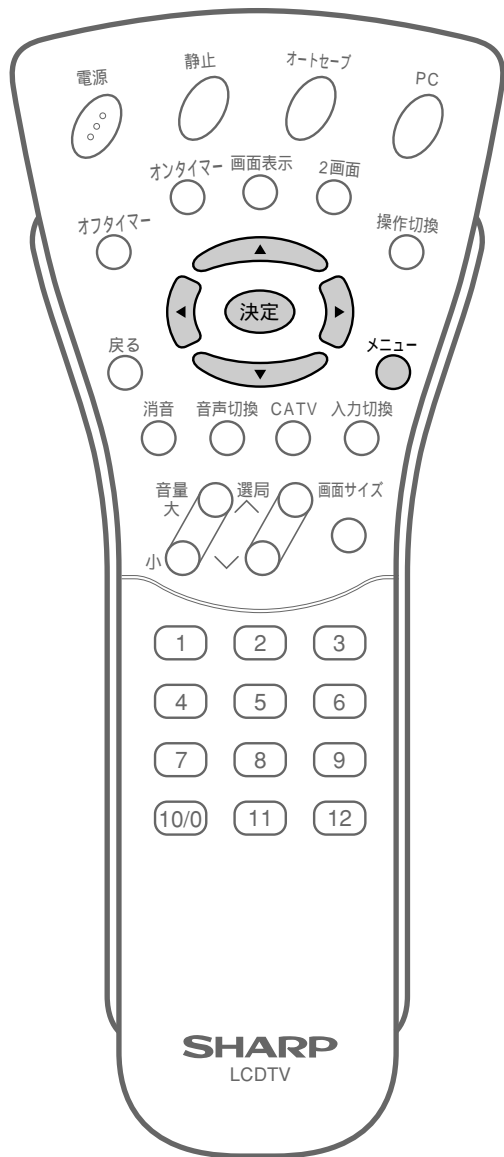
- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順4〜5の操作を繰り返してください。**

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は(切、強、弱)があります。
■ 地上放送、CATV、ビデオ入力ごとに設定ができます。なおビデオ入力は各入力別(個別)に設定できます。

- ノイズクリーンを「弱」または「強」に設定すると、入力切換えをしたとき、画面右上にNCマークが表示されます。

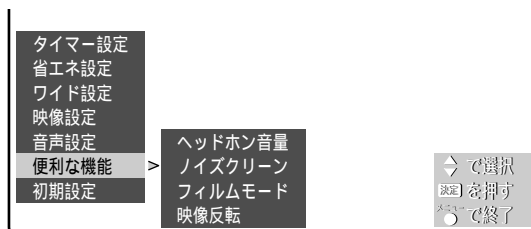
NC 8

- 再生ソフトに合わせて、お好みで設定してください。
- S-VHSソフトの再生時は働きません。

映像をすっきりさせる(ノイズクリーン)

<例>ノイズクリーンを「強」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

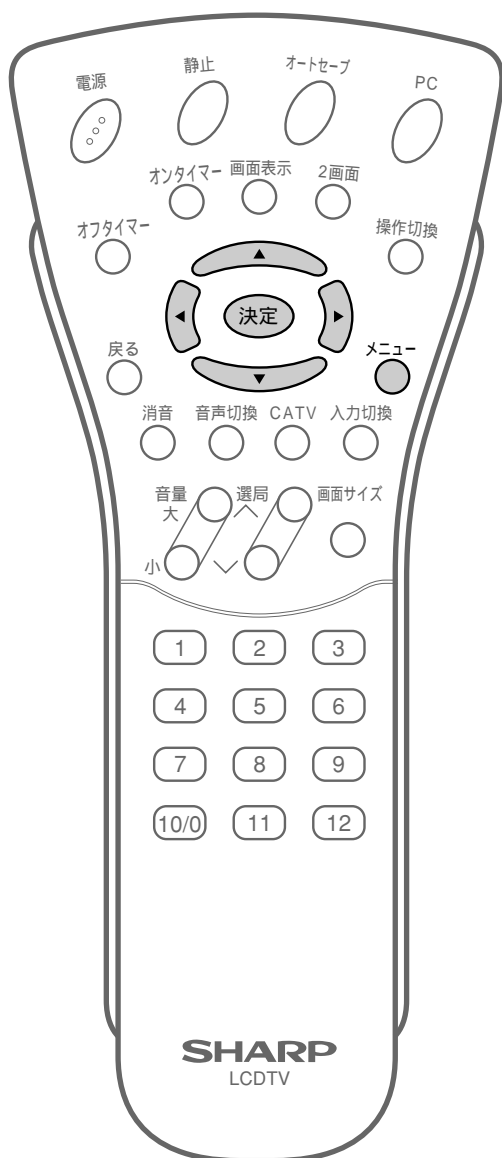
2 ▲ ▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「強」を選び、決定を押す

5 メニューを押し、通常画面に戻す

音声ポジション

■ テレビ／ビデオモードの音声を、放送の種類に合わせ、最適な音声ポジションを選ぶことができます。

- **標準：**通常の番組を視聴するとき。
- **映画：**映画などの放送やソフトを視聴するとき。
- **音楽：**音楽番組放送を視聴するとき。

最適な音声ポジションを選ぶ

<例>音声ポジションで「映画」を選ぶ

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「音声ポジション」を選び、決定を押す

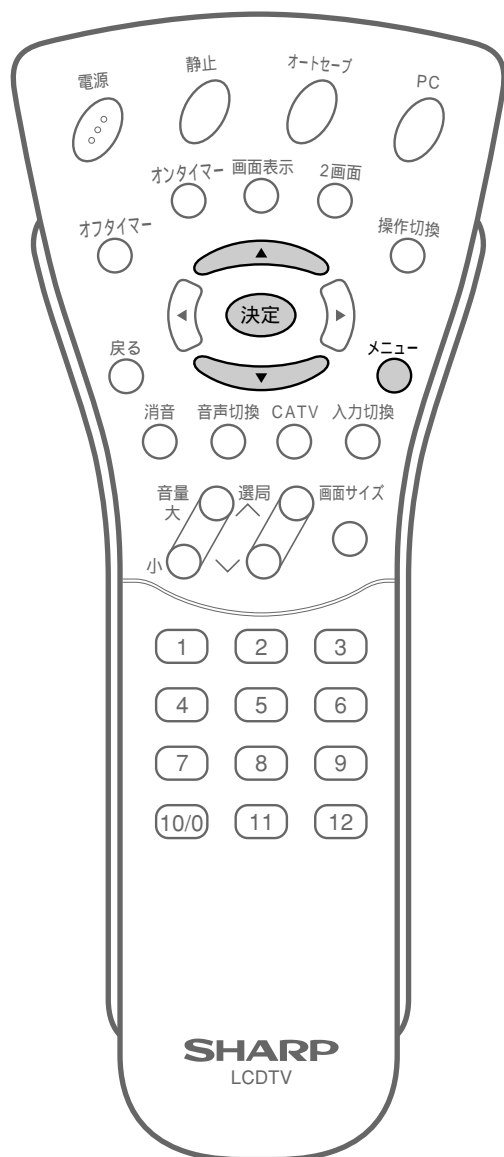
4 ◀▶で「映画」を選び、決定を押す

5 メニューを押し、通常画面に戻す

テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

音声調整

■ ご覧になっているビデオソフトや、各種放送の内容に合わせ、お好みの音声に設定することができます。

- **BBE** ：音声の明瞭感を補正して、こもり感のない、原音に忠実で聞きやすい音に調整できます。
- **EQ調整** ：高音部から低音部までの音域を、お好みの音質(周波数)で、きめ細かな調整ができます。
- **バランス**：左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
- **リセット**：工場出荷状態に戻ります。

原音に忠実な音で聞く(BBE)

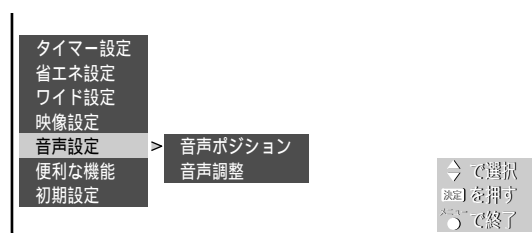
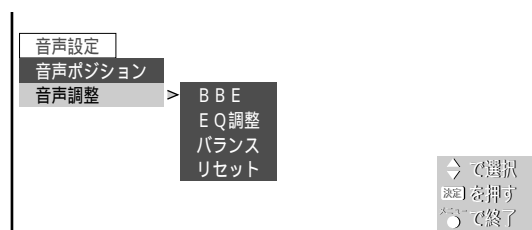
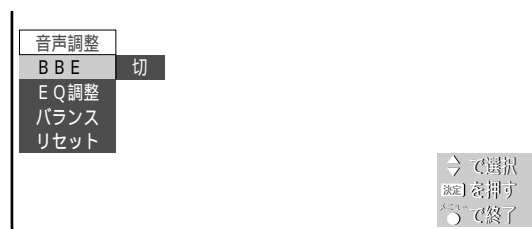
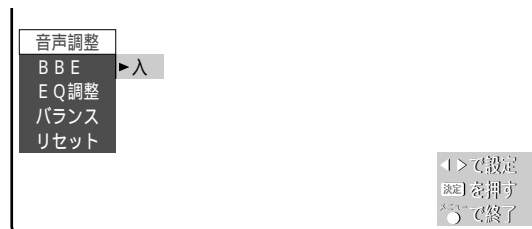
1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「音声設定」を選び、決定を押す

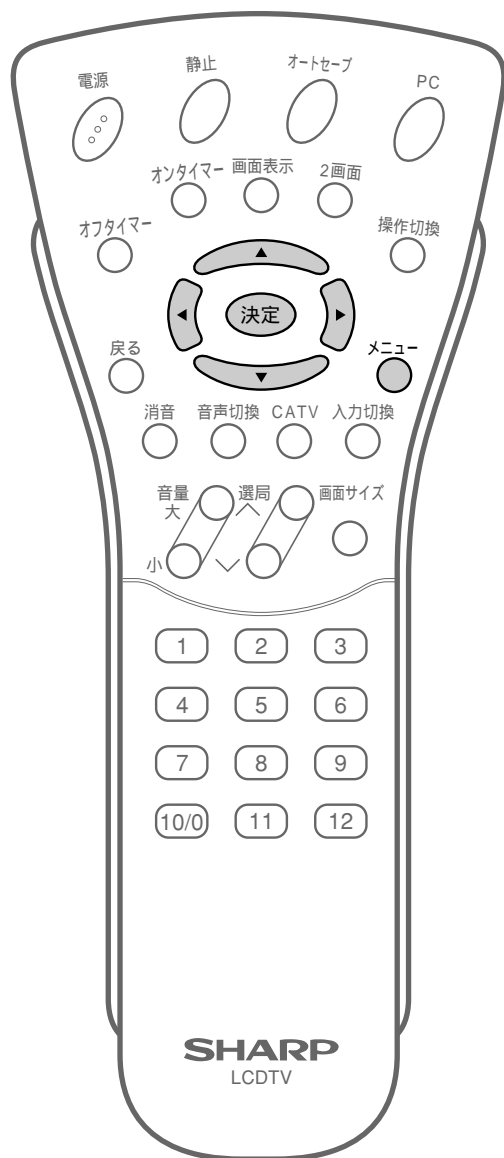
3 ▲▼で「音声調整」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「BBE」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶ で「入」を選び、決定を押す

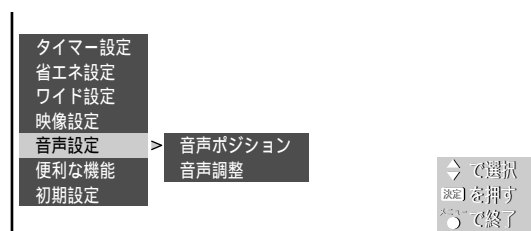
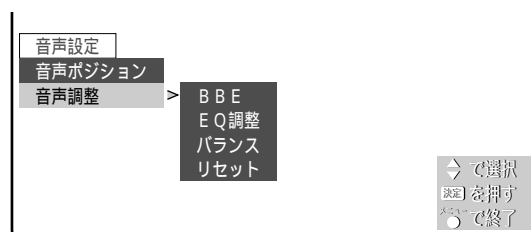
6 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

- BBEおよびMach3BassはBBEサウンド・インコーポレイテッドからの実施権に基づき製造されています。BBE®、BBE®Mach3Bass はBBEサウンド・インコーポレイテッドの登録商標です。
- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

■「１２０(Hz)」「５００(Hz)」「1.５k(Hz)」「５k(Hz)」「１０k(Hz)」の５つの周波数で、音声をお好みの音質に調整することができます。周波数ごとの調整操作は、画面に表示されるグラフィックイコライザー（EQ）で行います。

お好みの音質に調整する（EQ調整）

＜例＞１０k(Hz)「高音部」を調整する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「音声調整」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「EQ調整」を選び、決定を押す

5 ◀▶で「10k」を選び、決定を押す

6 ▲▼でお好みの音質に調整し、決定を押す

- **「▭」マークが上下に移動します。**

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順5〜6の操作を繰り返してください。**

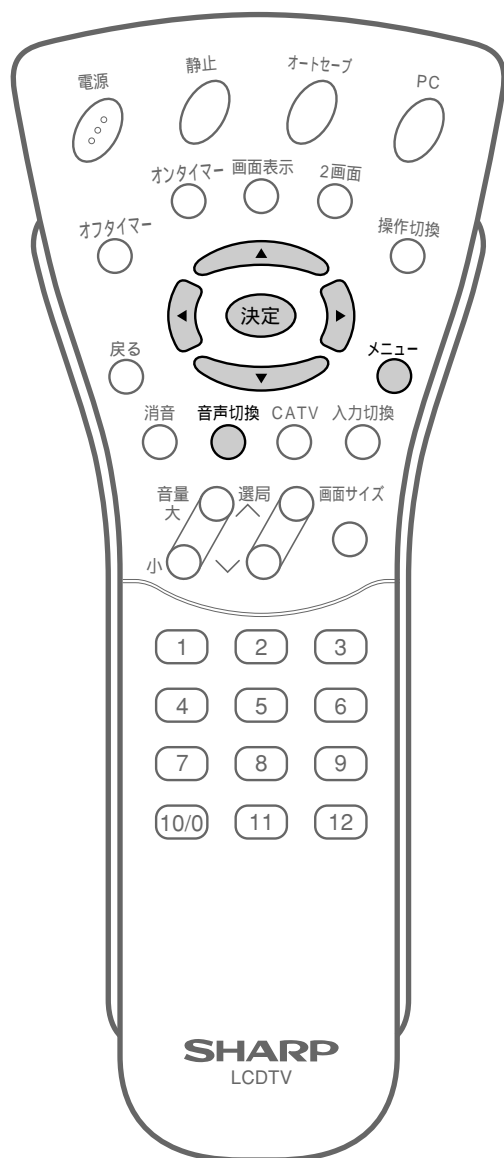
7 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

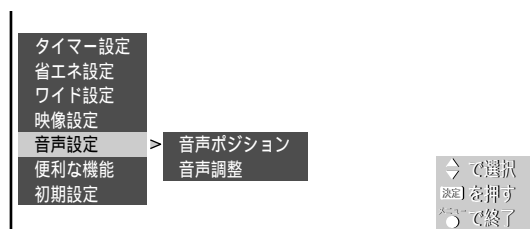
- 「120(Hz)」「500(Hz)」「1.5k(Hz)」「5k(Hz)」「10k(Hz)」の5つの項目を調整できます。

- 調整内容を工場出荷時の内容に戻すには、手順**5**の操作のとき上下カーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。
- ヘッドホンでは、音声調整の効果は得られません。
- BSデジタルチューナーを接続してBSデジタル放送を受信・視聴しているとき、デジタル放送では、放送局側の番組によって、音声レベルが異なる場合があり、周波数を調整しても音声効果が得られないときがあります。そのときは、本体またはリモコンの音量ボタンで音量の調整をしてください。

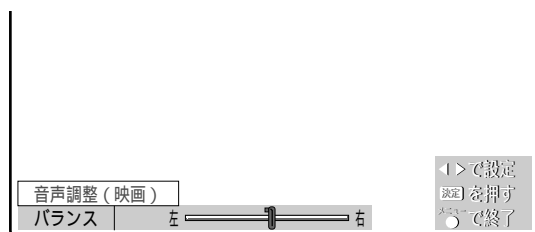
テレビモードの映像・音声を調整する(つづき)

■ お好みに合わせて、左右のスピーカー音声を調整することができます。

スピーカー音声のバランスを調整する

1 (メニュー)を押し、メニュー画面を表示する

2 (▲)(▼)で「音声設定」を選び、(決定)を押す

3 (▲)(▼)で「音声調整」を選び、(決定)を押す

4 (▲)(▼)で「バランス」を選び、(決定)を押す

5 ◀▶でバランスを調整し、決定を押す

- 「▯」マークが左右に移動します。

6 メニューを押し、通常画面に戻す

- 調整内容を工場出荷時の設定に戻すには、手順**4**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

音声モードを切り換える

■ 音声多重放送やステレオ放送を受信しているとき、音声切換ボタンで音声を切り換えることができます。

1 音声切換を押す

- **ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。**

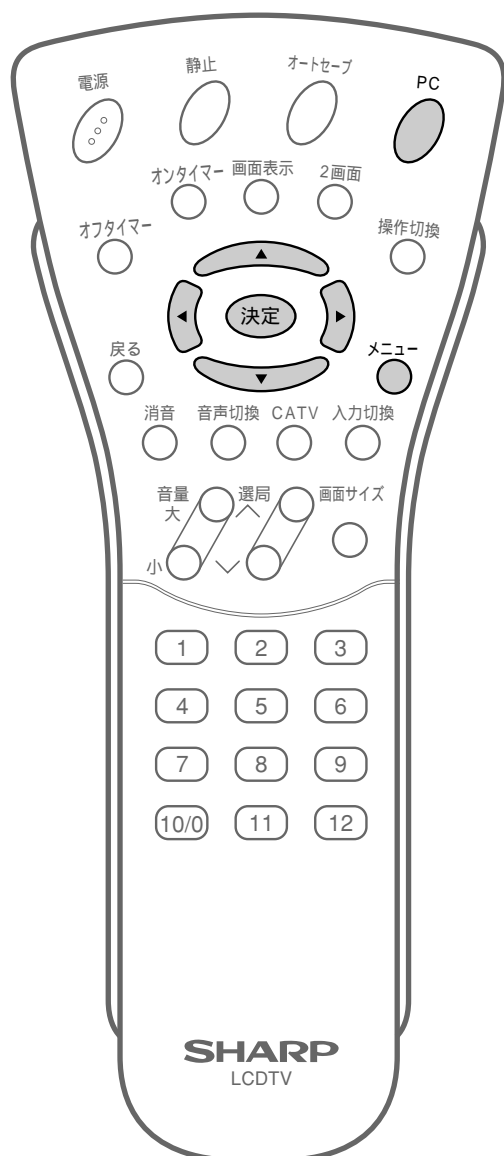
モノラル放送のとき	モノラル ↔（表示なし）
ステレオ放送のとき	→ モノラル → ステレオ →
音声多重放送のとき	→ メイン → サブ → メイン／サブ →

テレビを楽しむ

テレビモードの映像・音声を調整する（つづき）

ＰＣモードの映像を調整する

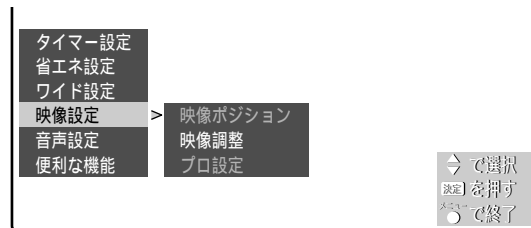
映像調整

■ ＰＣ(コンピューター)モードでは、「映像」「明るさ」「色温度」「赤」「青」「緑」の６項目の調整ができます。なお、ＰＣモードでは映像ポジションとプロ設定の選択はできません。
■ 「赤」「青」「緑」の調整は、「色温度」を手動に設定したときのみ調整ができます。

ＰＣモードの映像を調整する

<例>映像調整の「明るさ」で画面を調整する

1 PCを押し、ＰＣ画面を表示する

2 メニューを押し、メニュー画面を表示する

3 ▲▼で「映像設定」を選び、決定を押す

4 「映像調整」で、決定を押す

5 ▲▼で「明るさ」を選び、決定を押す

6 ◀▶で画面を、お好みの明るさに調整し、決定を押す

- **「▯」マークが左右に移動し、数字が増減します。**

- **続けて他の項目を調整するときは、つぎに調整する項目を選び、手順5〜6の操作を繰り返してください。**

7 メニューを押し、通常画面に戻す

おしらせ

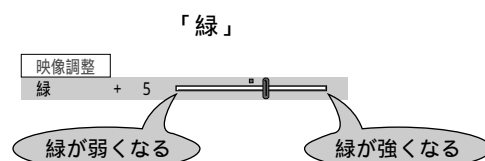
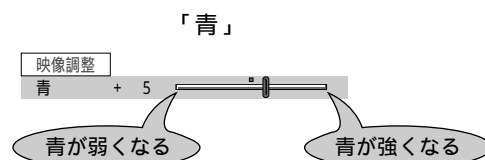
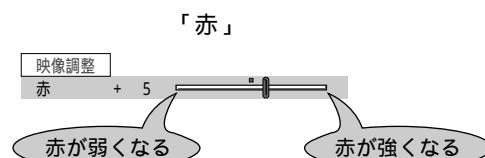
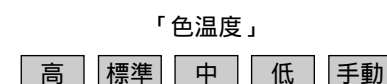
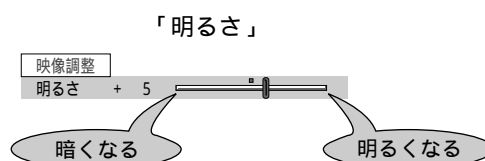
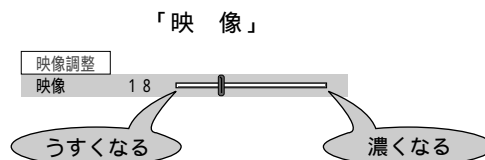
- 「映像」「明るさ」「色温度」「赤」「青」「緑」の6つの項目を調整できます。
  ただし、「赤」「青」「緑」は、「色温度」を手動に設定したときのみ調整できます。

「色温度」

高　標準　中　低　手動

「赤」

「青」

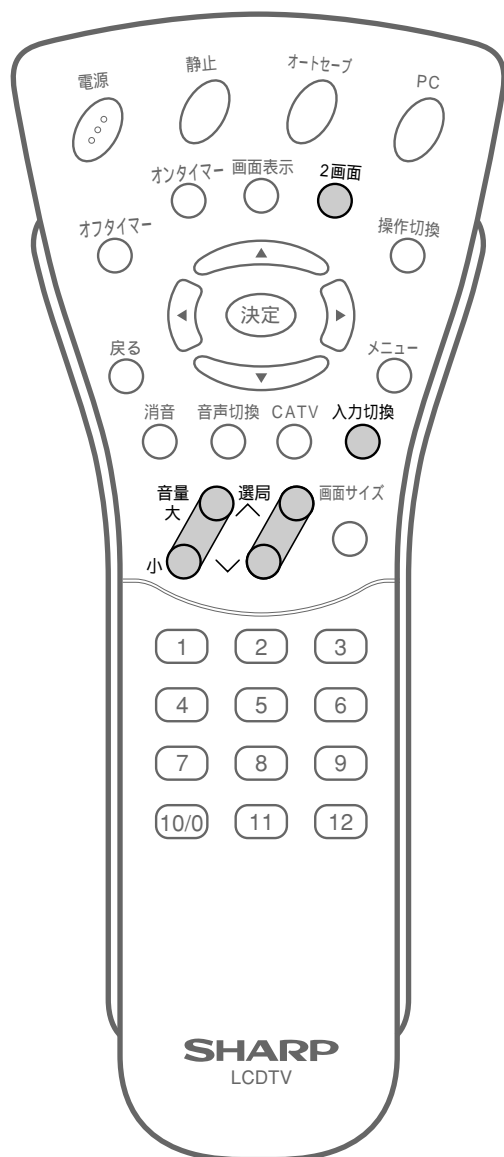
「緑」

- 調整内容を工場出荷時の内容に戻すには、手順**5**の操作のときカーソルボタンで「リセット」を選び、決定ボタンを押してください。

いろいろな画面で楽しむ

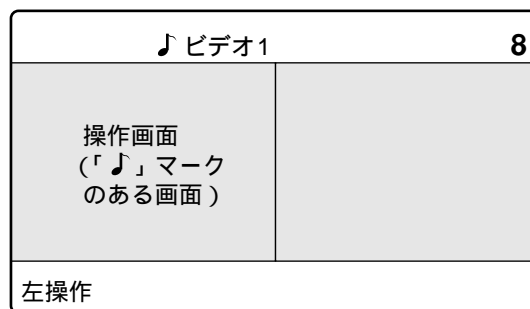
■ 本機は2つの異なる映像を、同時に表示して見ることができます。
また「♪」マークのある画面は、チャンネルや入力の切換えができます。

2画面で見られる映像の組合せ

	地上放送	外部入力
地上放送	×	○
外部入力	○	○※

※同じ外部入力どうしは見られません。

2画面で見る

＜例＞地上放送の番組と外部入力の映像を2画面で見る

1 2画面ボタンを押す

- **左右2画面になります。**

2画面のときの音量調整

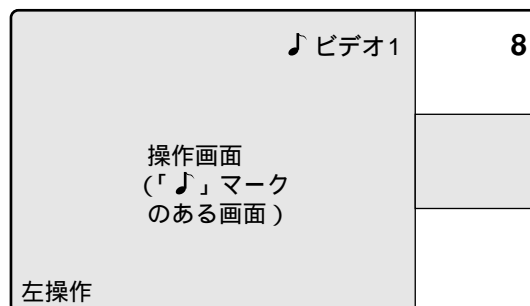
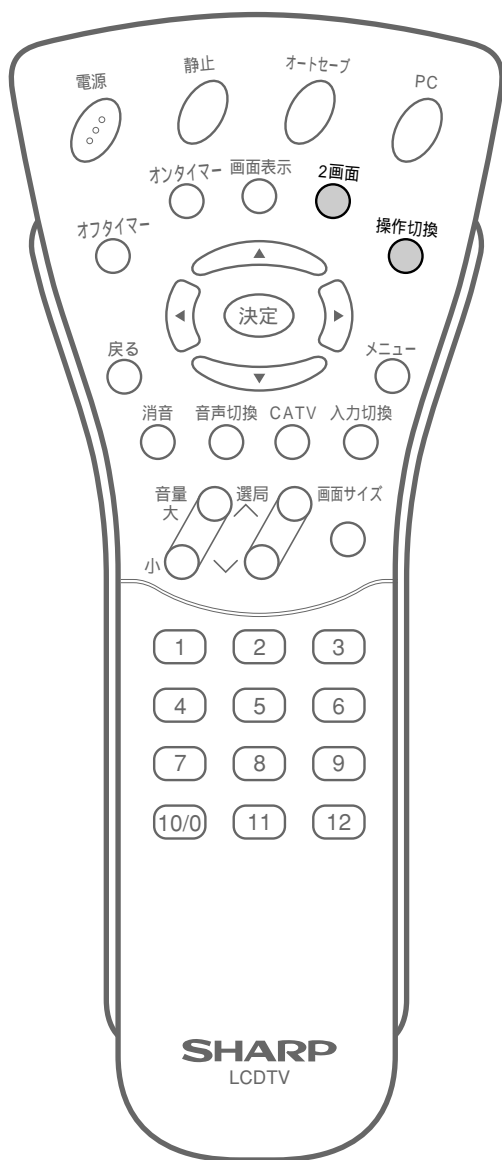
- **音量ボタンで操作画面の音量を調整できます。**

2画面のときの音声出力	
スピーカー	操作画面の音声
ヘッドホン	操作できない画面の音声
モニター出力音声	スピーカー音声と同じ

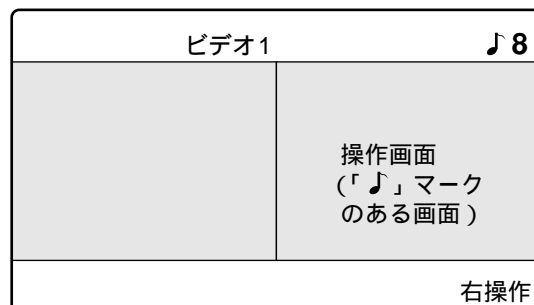
操作画面(「♪」マークのある画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

- **選局ボタンで、チャンネルの選局ができます。**
- **入力切換ボタンで、画面の入力切換えができます。外部入力の中でのみ切換えが可能です。**

画面を大きくしたいときは

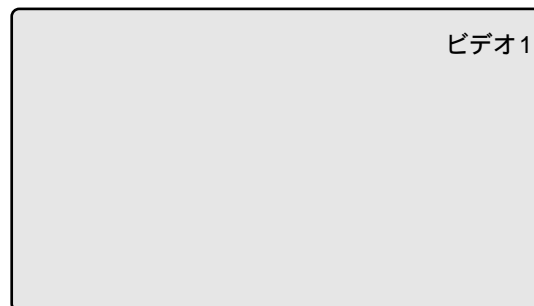
1 2画面ボタンを押す

(「♪」マークのある画面が操作できます)

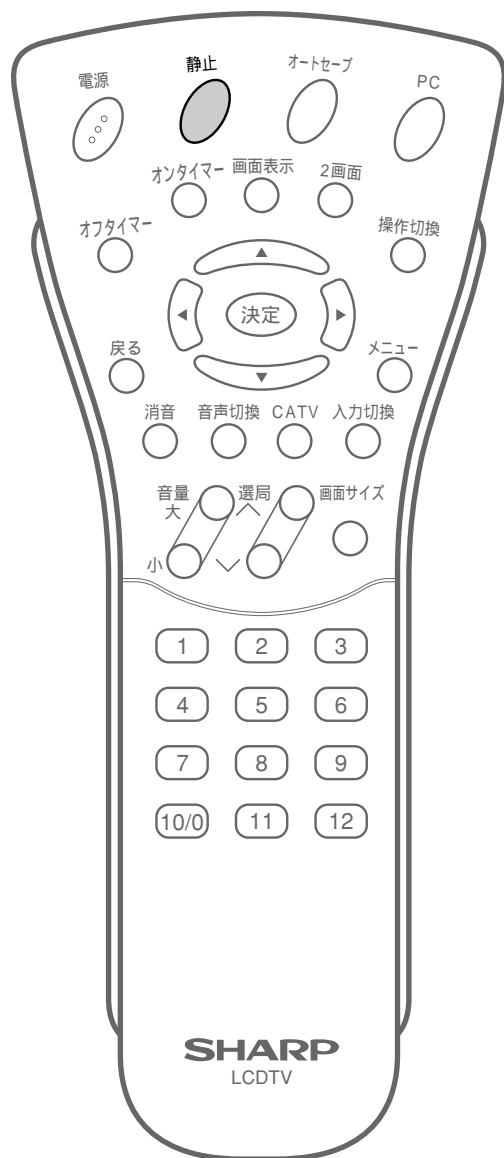
操作画面を切り換えるには

1 操作切換 を押す

（「♪」マークのある画面が操作できます）
- もう一度押すと、左操作に戻ります。

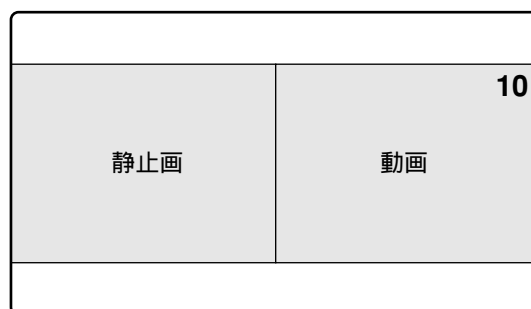
1画面に戻すには

1 2画面 を押す

- 「♪」マークのある画面が、1画面に戻ります。

いろいろな画面で楽しむ（つづき）

■（番組の内容をメモする）
ご覧になっている放送や映像を、静止させてメモ機能として利用することができます。

静止画面で見る

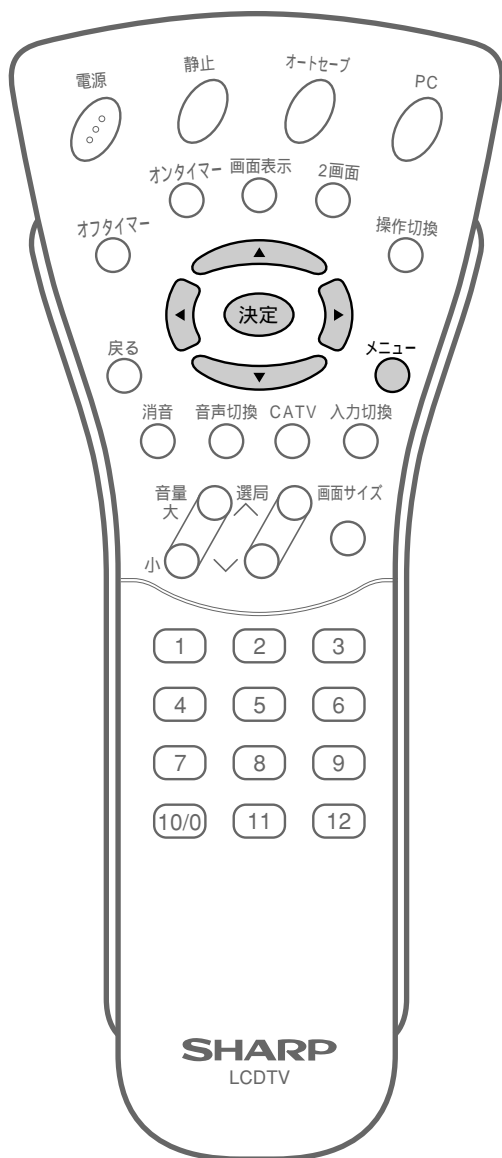
1 静止 を押す

- **ご覧になっている放送や映像を、静止させたいところで押してください。**
- **2画面表示となり、左側が静止画、右側が動画となります。**

2 静止 を押す

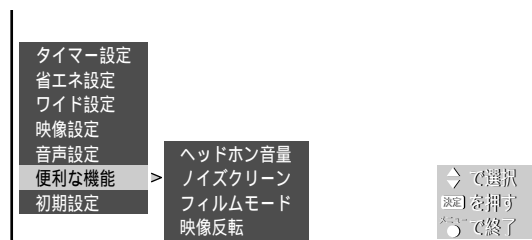
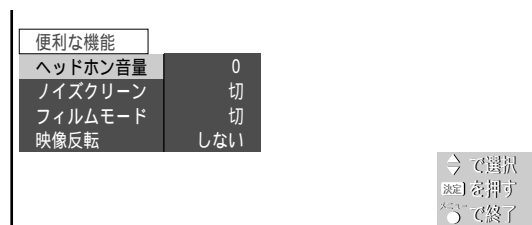
- **1画面の動画に戻ります。**

- 静止画面の表示中は、ワイド機能の画面サイズ切換えはできません。
- PC（コンピューター）画面は、静止画面にできません。

便利な機能を使う

■ ヘッドホン音量：
本機にヘッドホンを接続して音声を聞くときに、ヘッドホン音量を調整することができます。
2画面時のヘッドホン音声は、（操作できない画面）の音声が聞こえます。

ヘッドホンの音量を調整する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「ヘッドホン音量」を選び、決定を押す

4 ◀▶でお好みの音量に調整し、決定を押す

- ヘッドホン音量は0～60の調整ができます。

5 メニューを押し、通常画面に戻す

便利な機能を使う（つづき）

■ 映像反転：
設置のしかたに応じて、映像の左右を反転させることができます。
美容院などで、映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

おしらせ

- **映像反転の表示**

しない（出荷時）

ABC

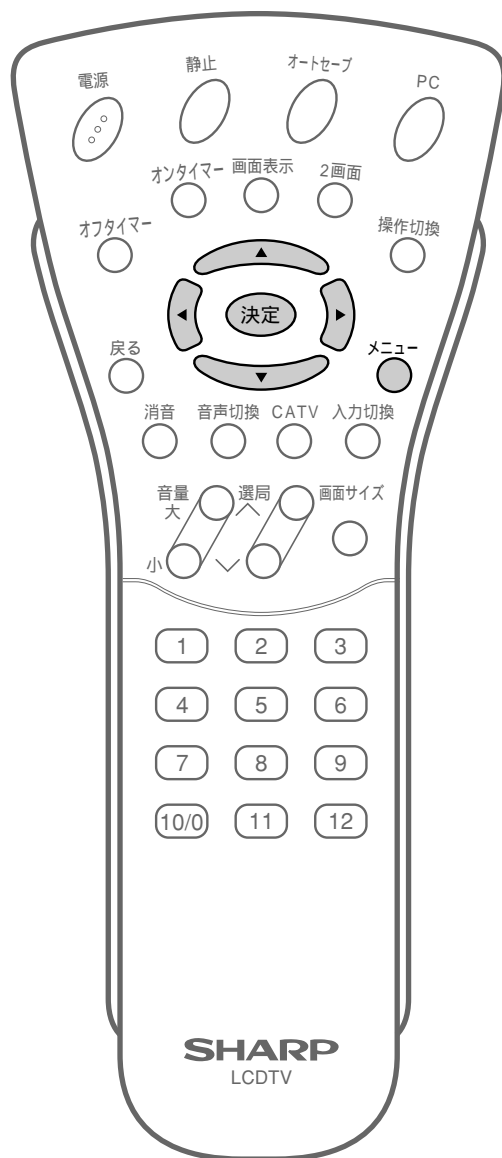
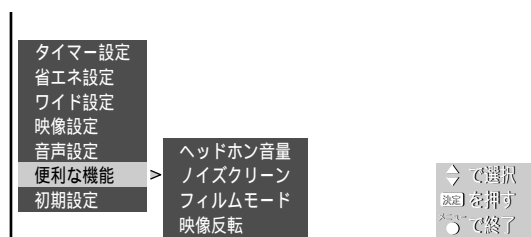
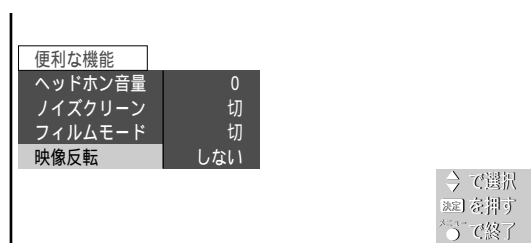
左右反転

ƆBA

映像の左右を反転させる

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

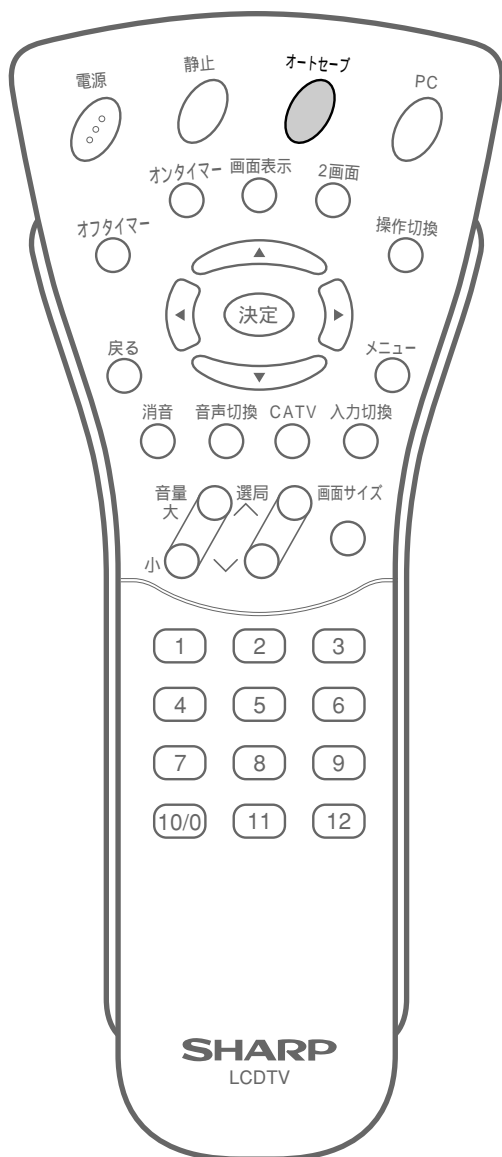
3 ▲ ▼で「映像反転」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶で「左右反転」を選び、決定を押す

- **映像が左右反転で表示されます。**
- **音声は左右反転しません。**

5 メニューを押し、通常画面に戻す

省エネ機能を使う

■ 本機は、省エネに役立つ4つの機能を備えています。

- **オートセーブ：**
  周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整する機能です。省電力に役立ちます。
- **調光（画面の明るさを設定する）：**
  放送内容や再生ソフトに合わせて、画面の明るさを設定することができる機能です。
- **無操作オフ：**
  操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れる機能です。
- **無信号オフ：**
  放送が終了するなど無信号状態になると、約5分後に電源が切れる機能です。
  消し忘れを防ぐことができます。

画面の明るさを自動調整する（オートセーブ）

1 オートセーブ **を押す**

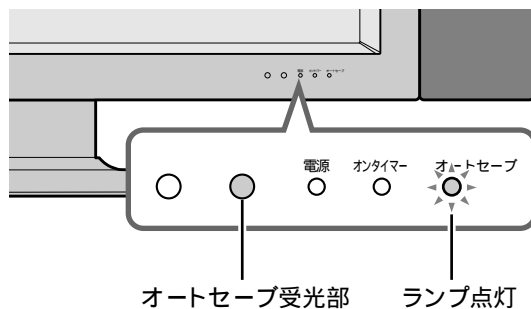
- **ボタンを1回押すと、画面に現在設定されているモードが表示されます。**

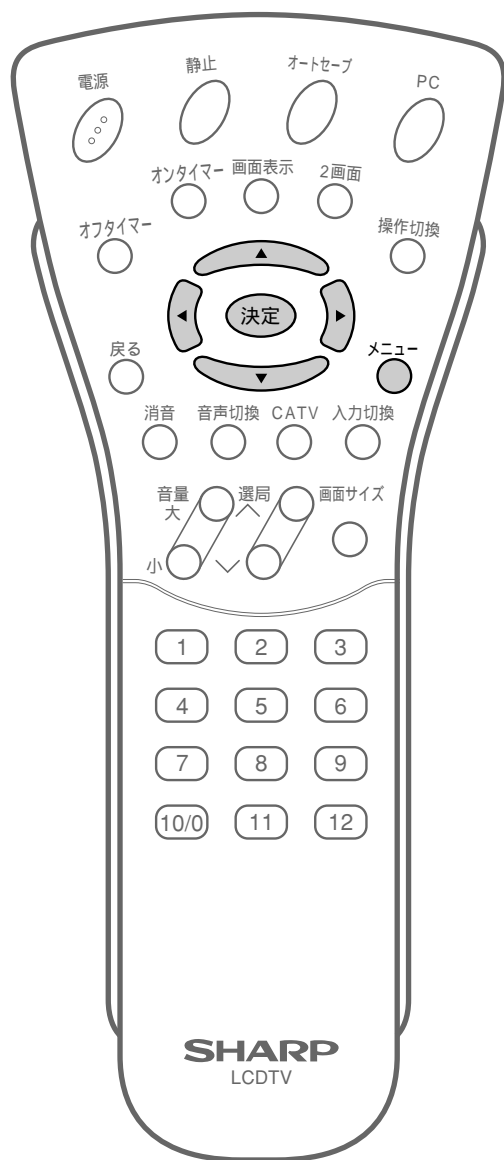
- **ボタンを押すごとに、つぎのように切り換わります。**

- **（オートセーブ「入 表示あり」）に設定すると、オートセーブ機能の効果が画面に表示されます。**

オートセーブ

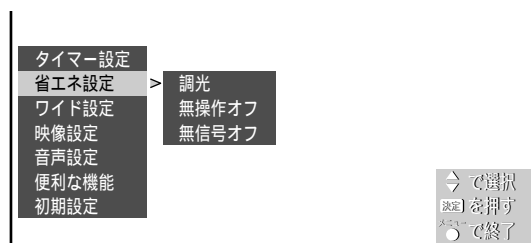
- **周囲の明るさが変化すると、オートセーブ機能が働いて、画面の明るさを調整します。**

おしらせ
- オートセーブを「入」に設定すると、本体前面のオートセーブランプが緑色に点灯します。
- オートセーブ受光部の前に物を置いたりすると、明るさを感知できなくなります。

省エネ機能を使う（つづき）

■ 放送内容や再生ソフトなど映像に合わせて、画面をお好みの明るさ（「明るい」「標準」「暗い」）に設定できます。

画面の明るさを設定する（調光）

＜例＞調光を「暗い」に設定する

1 メニュー を押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「省エネ設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「調光」を選び、決定 を押す

4 ◀ ▶ で「暗い」を選び、決定 を押す

5 メニュー を押し、通常画面に戻す

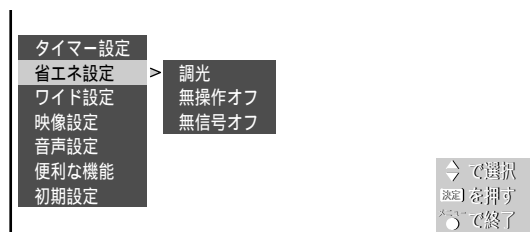
- オートセーブを「入」に設定しているときは、調光の設定はできません。

■ 3時間以上操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるよう設定できます。

無操作オフ機能を設定する

＜例＞無操作オフを「入」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲ ▼ で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲ ▼ で「無操作オフ」を選び、決定を押す

4 ◀ ▶ で「入」を選び、決定を押す

5 メニューを押し、通常画面に戻す

- 工場出荷時は、「切」に設定されています。
- PCモードでは、無操作オフ機能は働きません。

省エネ機能を使う（つづき）

■ 無信号になったとき、約5分後に電源を自動的に切り、消し忘れを防ぎます。

無信号オフ機能を設定する

<例>無信号オフを「切」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「切」を選び、決定を押す

5 メニューを押し、通常画面に戻す

- 工場出荷時は、「入」に設定されています。
- 地上波、ビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「切」にしてください。
- PCモードでは、無信号オフ機能は働きません。
- 2画面表示のときは、無信号オフ機能は働きません。

外部機器との接続

端子のなまえとはたらき

アンテナ入力（VHF・UHF）端子 18

コントロール端子（調整用端子）

UVアンテナ

PC音声入力端子 106

アナログRGB映像入力端子 106

コンピューター

ケーブル処理のしかた

各端子に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプを使用して処理してください。

ケーブルクランプ（大）

スタンドの穴に挿入して、取り付けます。

ケーブルクランプ（小）

裏面のシールシートをはがして、貼り付けます。

接続上のご注意

- **接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は雑音の原因になります。**
- **接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。**
- **接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜き取ってください。**
- **複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため使わない機器の電源は切っておいてください。**
- **接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。**

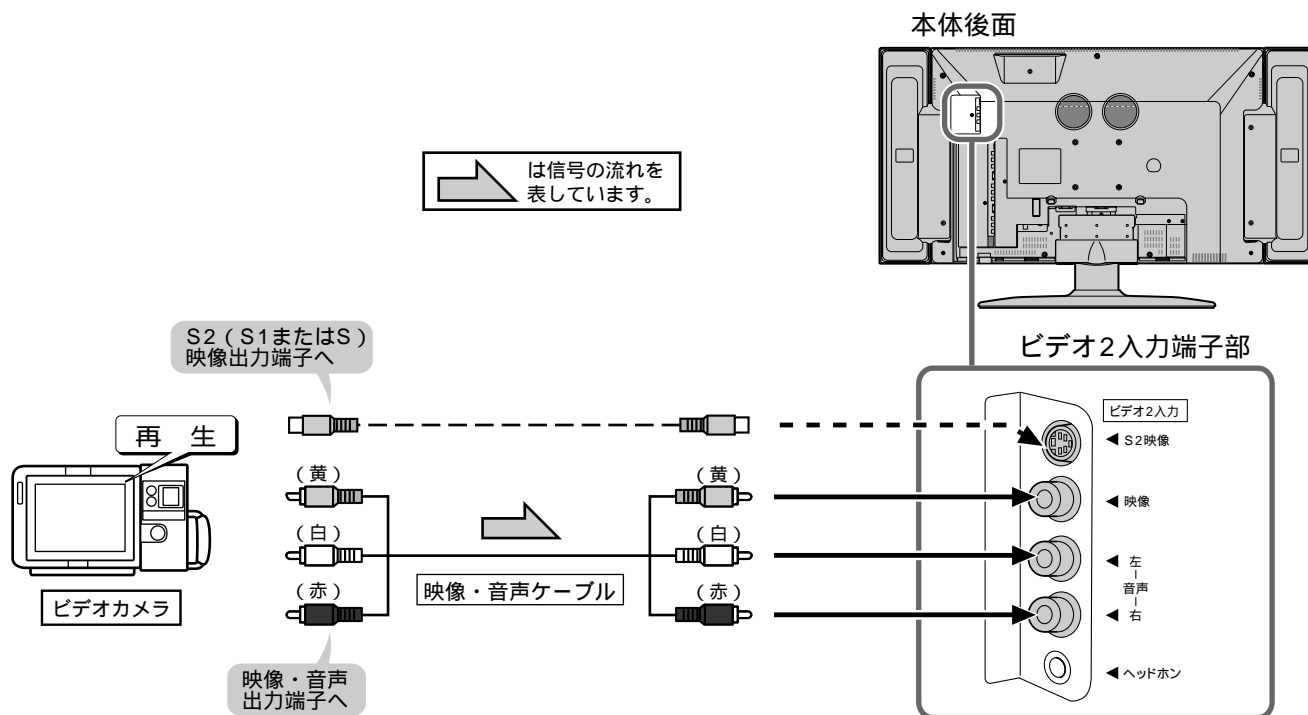
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ

■ 本機はビデオ入力端子4系統を搭載しています。
■ 映像・音声プラグと端子は、黄(映像)、白(音声左)、赤(音声右)の色分けがしてあります。ケーブルと接続機器側のそれぞれの色が合うように接続してください。
■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

ビデオ機器の接続について

映像・音声端子に接続する

- ビデオ1・3・4入力端子にも映像・音声ケーブルで接続ができます。

おしらせ

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、より高画質な映像で再生するために映像信号を色信号と輝度信号に分離して入力する端子です。
- ビデオ1・2入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)に接続します。
- 本機は、フルモード制御信号の入った映像や、レターボックス制御信号の入った映像がビデオ1・2入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**52**ページ)

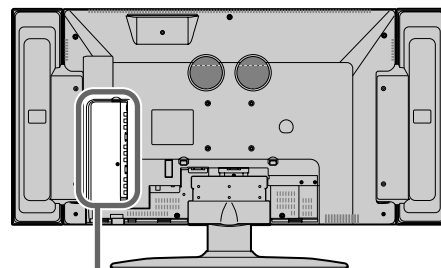
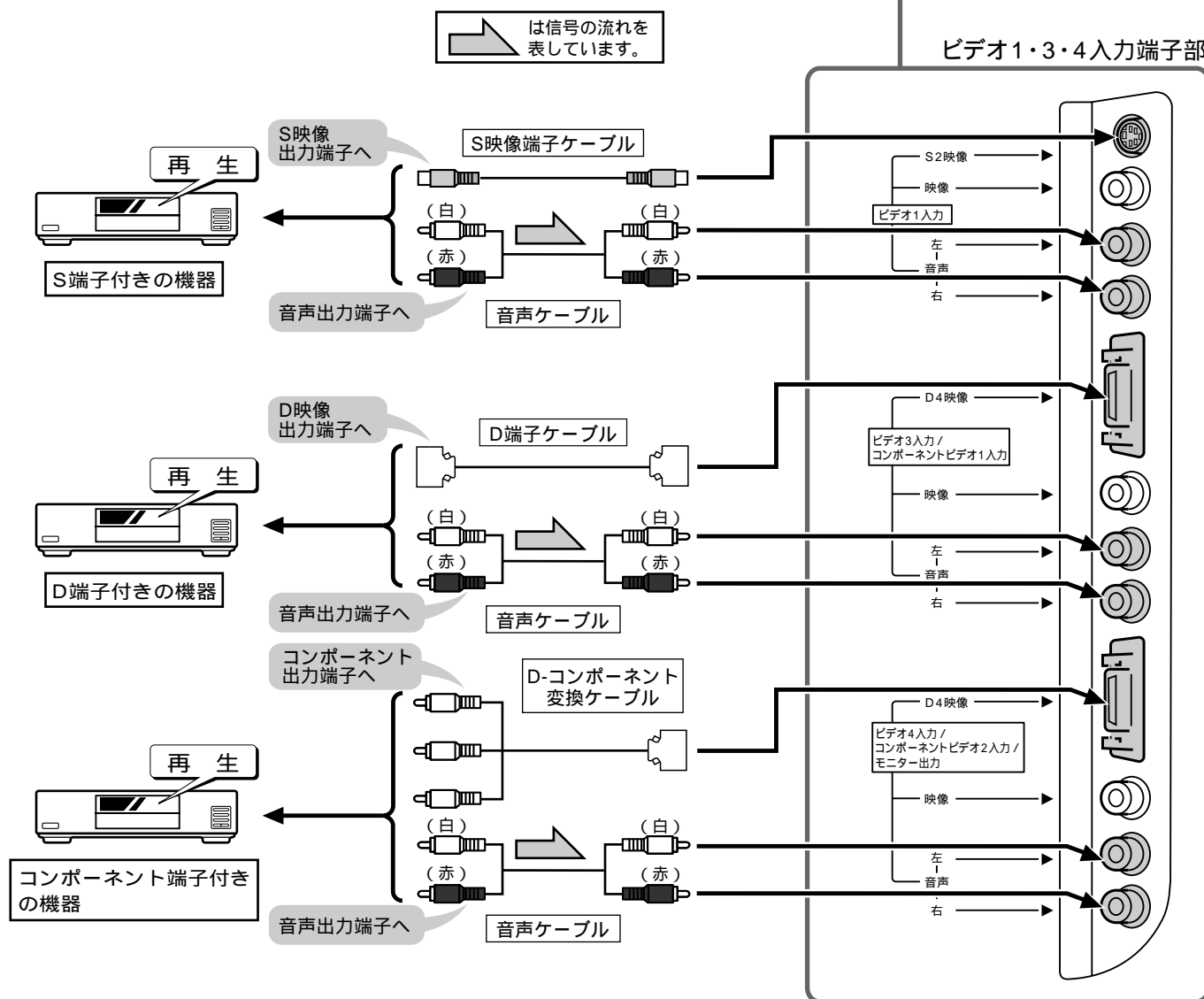
ビデオ入力のS2映像入力優先について

- ビデオ入力の映像端子とS2映像端子は、両端子とも接続しているとき、「ビデオ」の画面はS2映像端子からの入力映像になります。
- 映像入力端子に接続しているビデオ機器の映像を見るときは、S2映像入力端子のプラグを抜いてください。

■ DVDプレーヤーなどの出力端子に、高精細映像に対応した出力端子がついている場合は、出力端子に適合する接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

DVDプレーヤーなどの接続について

S2映像、D4映像端子に接続する

おしらせ
- 出力機器側の端子が、通常のAV端子の場合は、映像・音声ケーブルを使用して映像・音声端子に接続してください。

おしらせ
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。
- D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力(ビデオ4)端子から出力されません。
- 本機に機器を接続するときは、直接接続してください。ビデオ機器を通して本機で映像を見ると、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ(つづき)

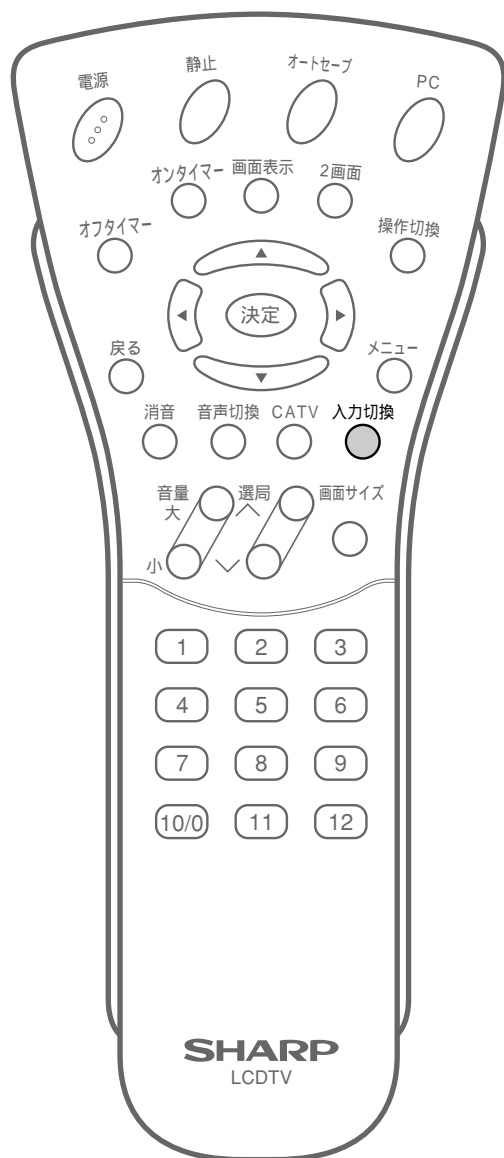
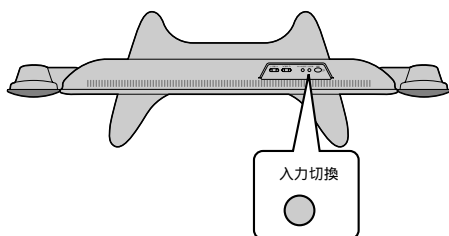
▼本体天面

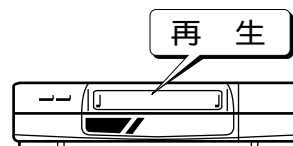
ビデオ機器の再生映像を見る

1 入力切換 を押して、ビデオ機器を接続しているビデオ入力番号の画面に切り換える

▼画面表示

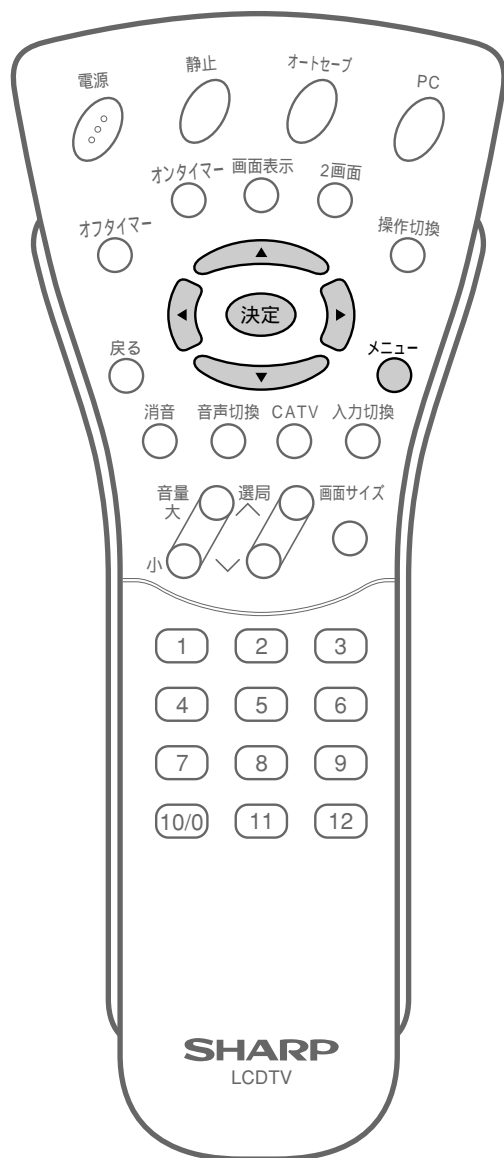
- ボタンを押すごとに、切り換わります。
- ビデオ3・4入力は工場出荷時に、ビデオ3は「コンポーネント1入力」、ビデオ4は「コンポーネント2入力」に設定されています。映像端子(黄色)に機器を接続するときは「入力選択」メニューで、ビデオ3は「ビデオ3入力」にビデオ4は「ビデオ4入力」にそれぞれ設定を切り換えてください。(96〜99ページをご覧ください。)

2 ビデオ機器を再生状態にする

おしらせ

- 本体天面操作部の**入力切換ボタン**を押しても、画面の入力を切り換えることができます。
- 詳しくは接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

再生映像をすっきりさせる

「ノイズクリーン」機能を使う

- (66ページをご覧ください)

■ フィルムモードで見る：
DVDなど、映画ソフトの映像がチラついて気になるときは、フィルムモードにすると動きのなめらかな映像で見ることができます。

おしらせ

• フィルムモードはDVD再生など、映画ソフトの映像の動きをなめらかにする機能です。通常は「切」にしてください。

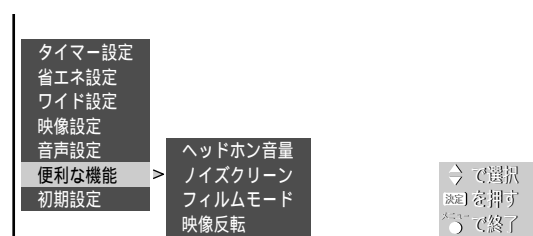
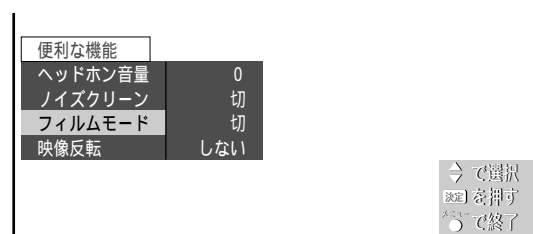
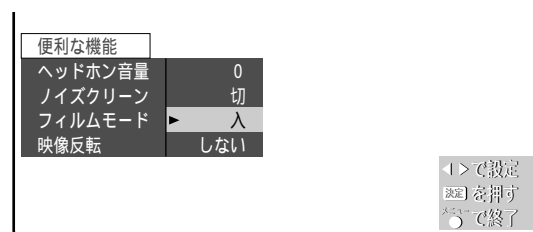
DVD映像のチラツキが気になるとき（フィルムモード）

＜例＞フィルムモードを「入」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

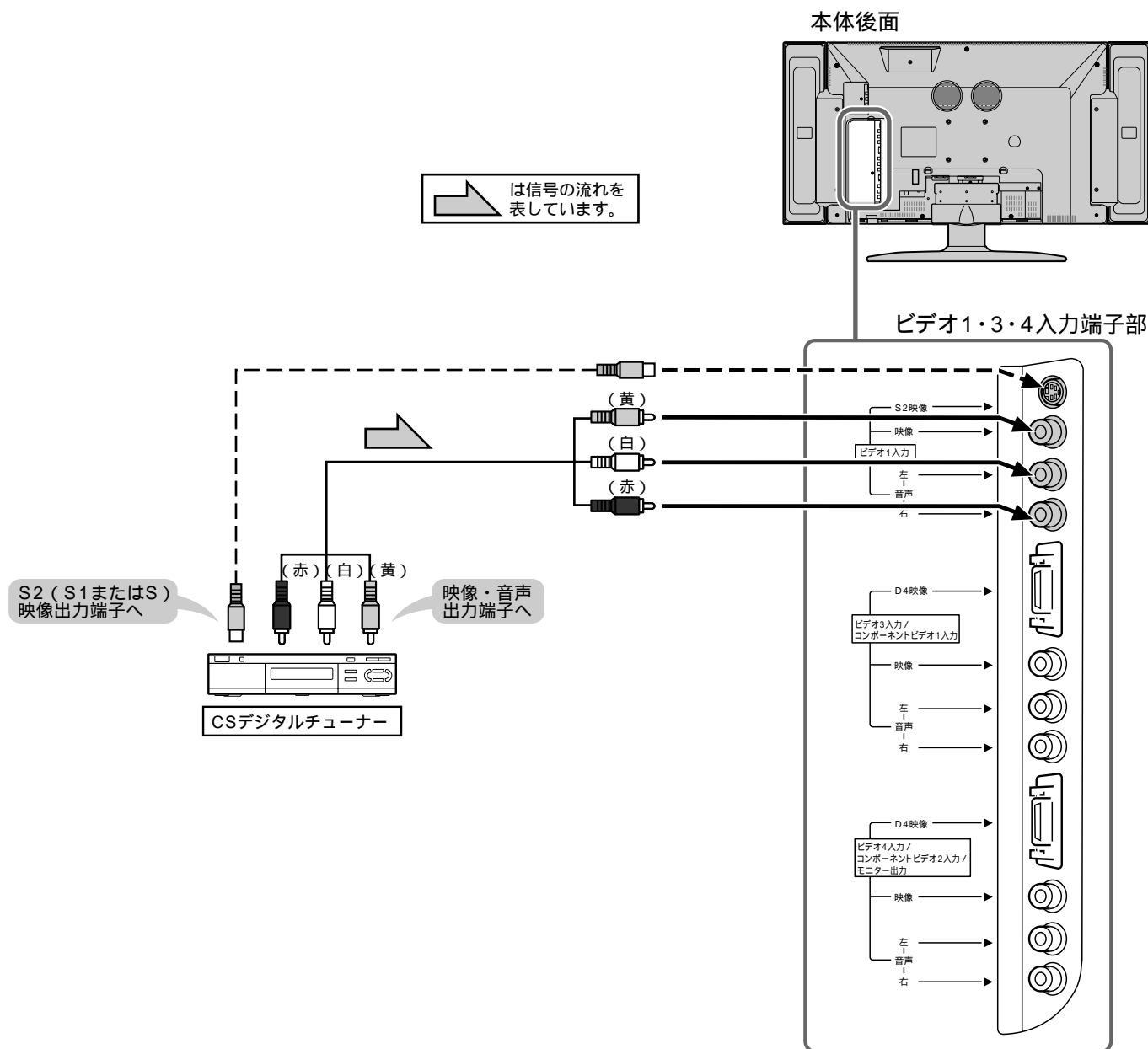
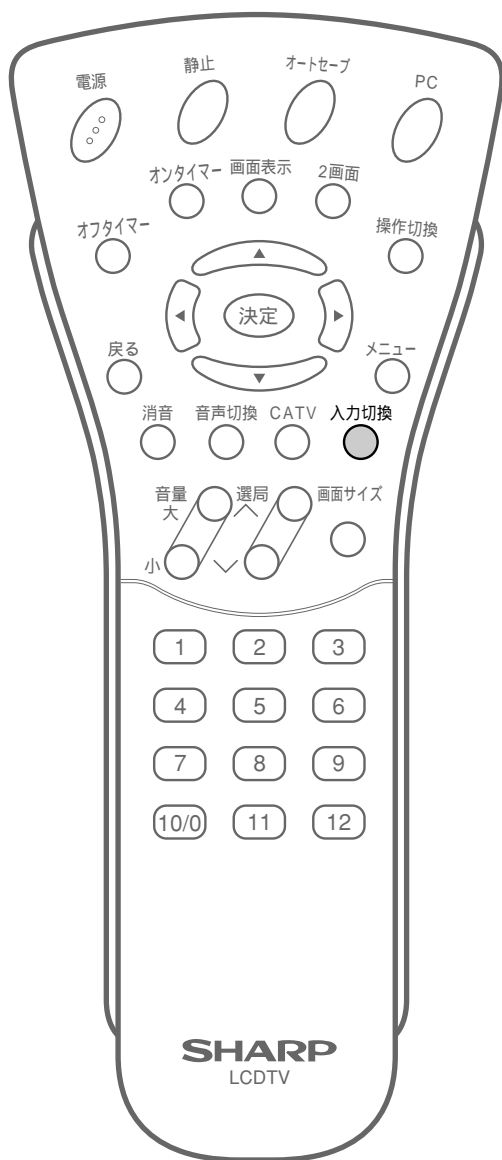
2 ▲▼で「便利な機能」を選び、決定を押す

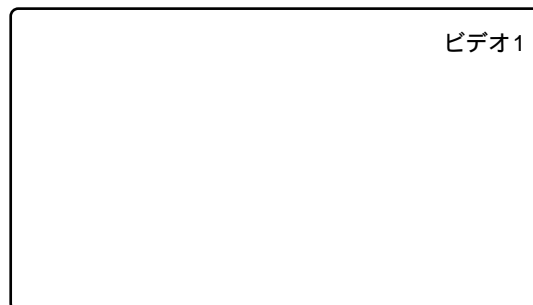
3 ▲▼で「フィルムモード」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「入」を選び、決定を押す

5 メニューを押し、通常画面に戻す

CSデジタル放送を楽しむ

■ CSデジタル放送を受信するには、放送会社との受信契約とCSデジタルチューナー、CSアンテナの接続が必要です。

CSデジタルチューナーとの接続

CSデジタル放送を見る

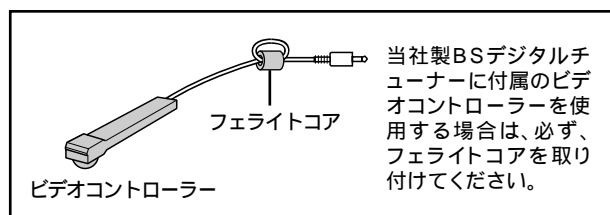
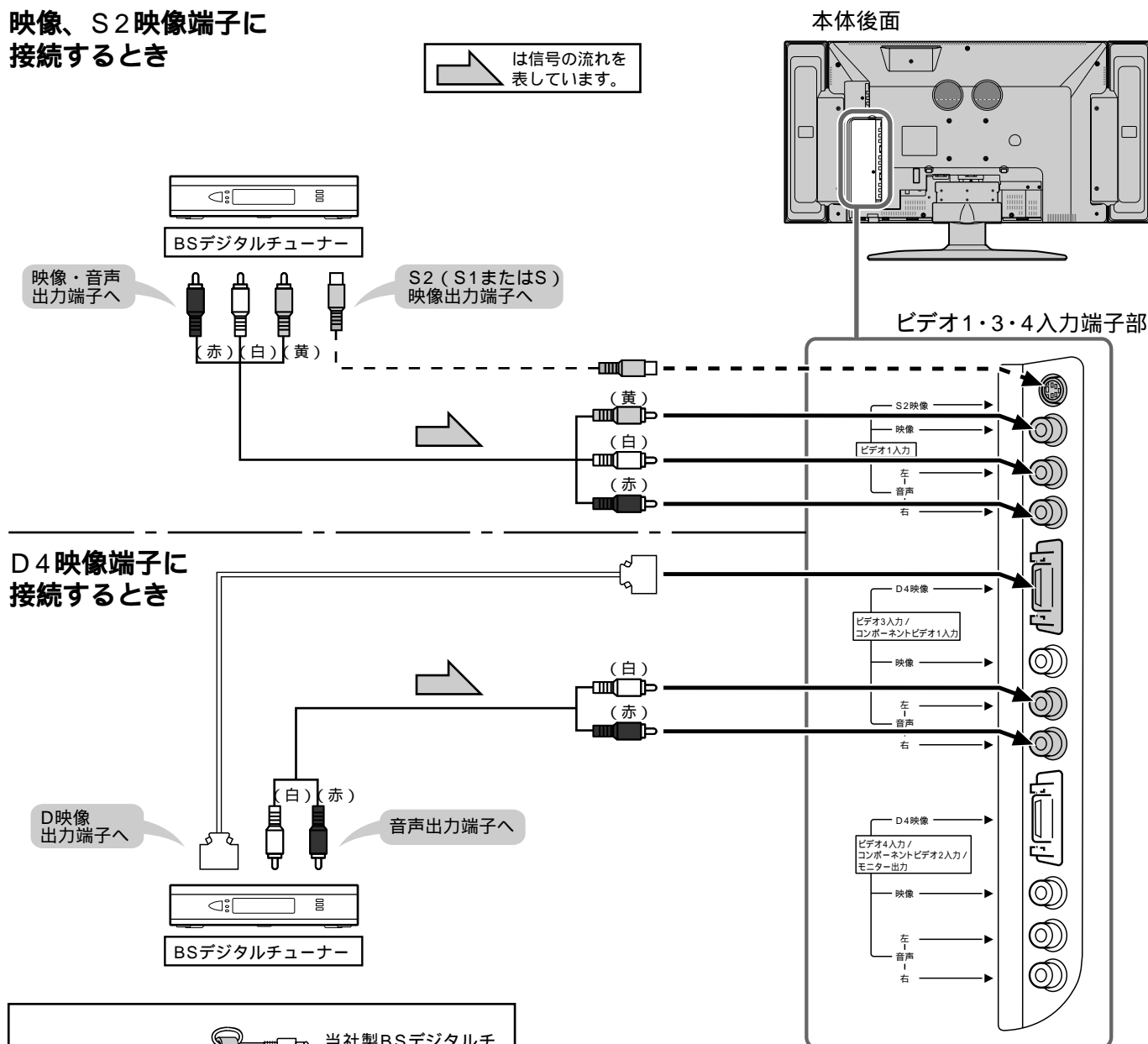
1 入力切換を押し、CSデジタルチューナーを接続している入力端子に切り換える

2 CSデジタルチューナーの電源を入れる

- CSデジタルチューナーの操作方法については、CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送を楽しむ

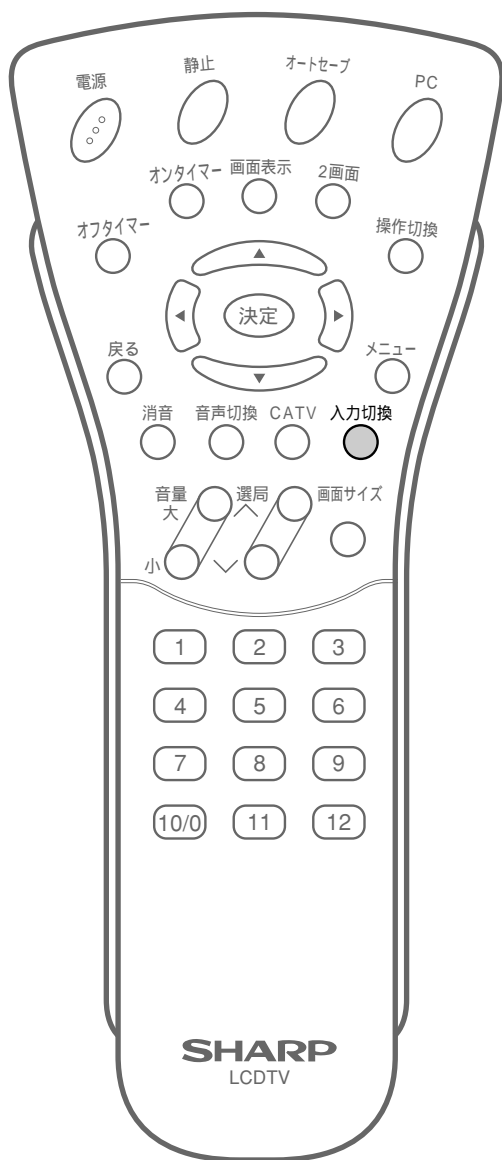
■ BSデジタル放送を受信・視聴するにはBSデジタルチューナー、BSアンテナの接続と受信者登録の手続きが必要です。（詳しくはBSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。）

BSデジタルチューナーとの接続

当社製BSデジタルチューナーに付属のビデオコントローラーを使用する場合は、必ず、フェライトコアを取り付けてください。

おしらせ

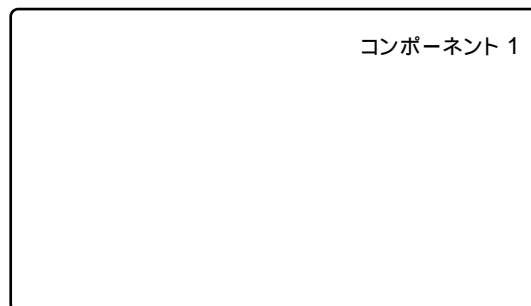
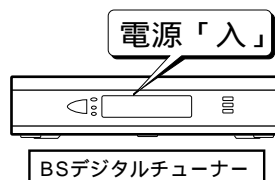
- D４映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力（ビデオ４）端子から出力されません。

きれいな映像をお楽しみいただくために

- BS／UV分波器・分配器をお使いの際は、金属シールドタイプをご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音等を避けるため、電源コードや他の接続コード類はアンテナケーブルからできる限り離してご使用ください。

BSデジタル放送を視聴する

1 入力切換 を押し、BSデジタルチューナーを接続している入力端子に切り換える

- コンポーネント1・2入力端子に接続するときは、入力する端子に合わせてコンポーネント1または2に切換え設定をしてください。（96〜99ページ参照）

<例> ビデオ3入力のD4映像端子に接続しているとき

2 BSデジタルチューナーの電源を入れる

- BSデジタルチューナーの操作方法については、BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

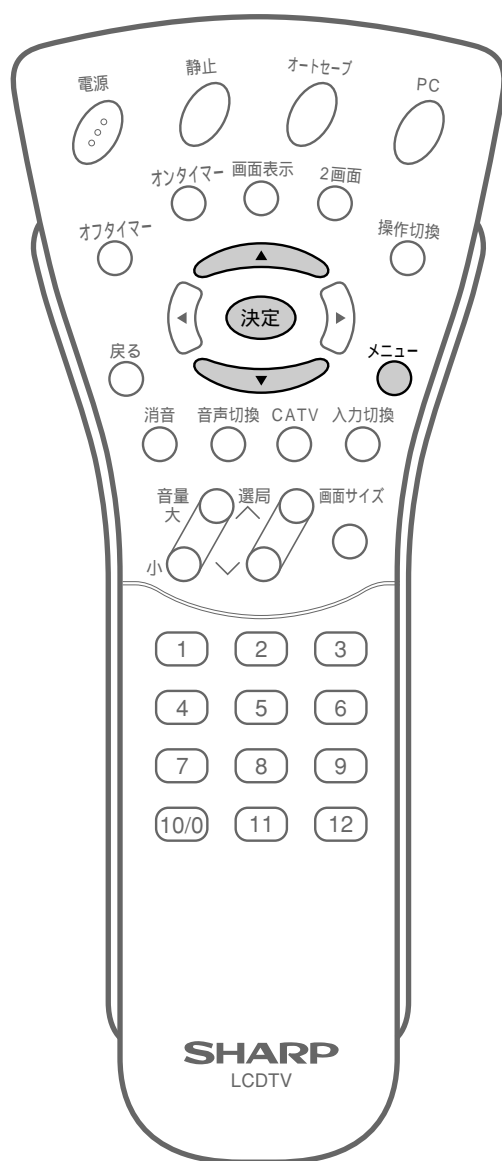
BSデジタル放送の放送方式について

- BSデジタル放送では、何種類かの放送方式が採用されています。本機はつぎの放送方式に対応しています。

525i	走査線525本インターレース（飛び越し走査）
525p	走査線525本プログレッシブ（順次走査）
1125i	走査線1125本インターレース（飛び越し走査）
750p	走査線750本プログレッシブ（順次走査）

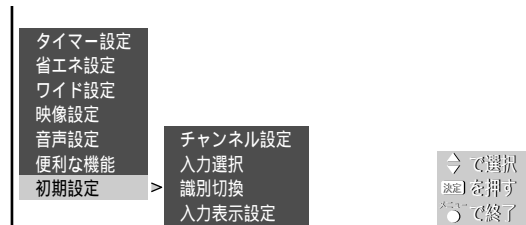
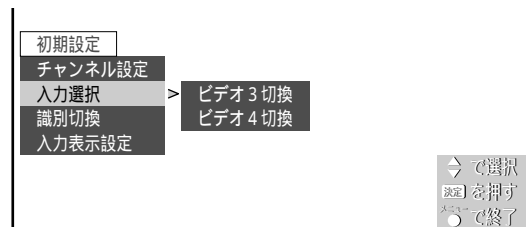
入力選択の設定

■ ビデオ3入力の設定：
ビデオ3入力端子は、2種類の切換え設定ができます。入力する端子に合わせて切換え設定を行ってください。
（工場出荷時は「コンポーネント1入力」に設定されています。）

- **ビデオ3入力：**
映像、音声端子に機器を接続したとき。
- **コンポーネント1入力：**
D4映像端子に機器を接続したとき。

ビデオ3入力端子の設定のしかた

<例>「ビデオ3入力」に設定する

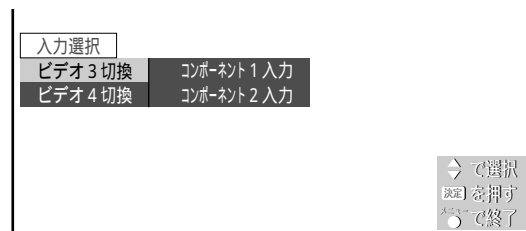
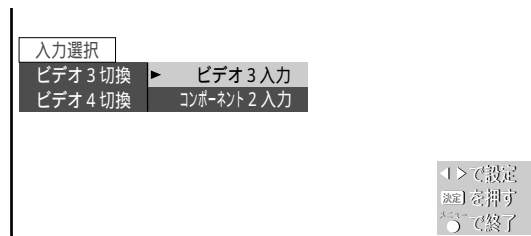
1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「ビデオ3切換」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶ で「ビデオ３入力」を選び、(決定)を押す

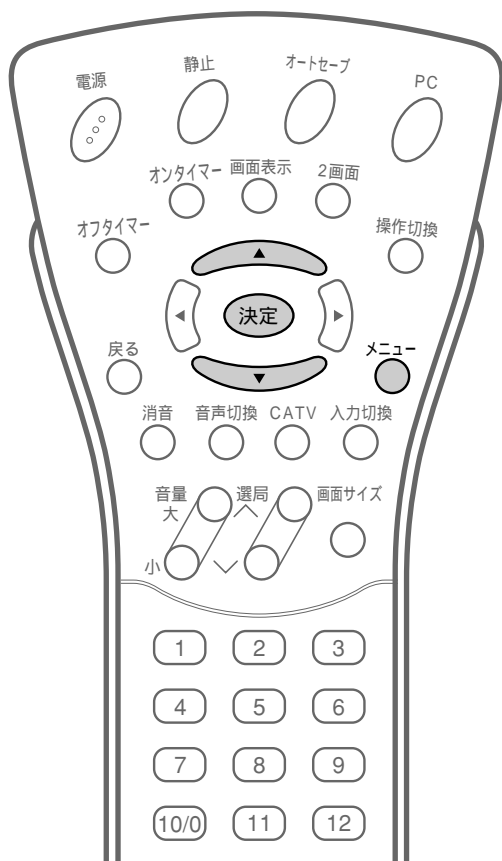
入力選択

ビデオ３切換	▶ ビデオ３入力
ビデオ４切換	コンポーネント２入力

◀▶で設定
決定を押す
メニューで終了

6 (メニュー)を押し、通常画面に戻す

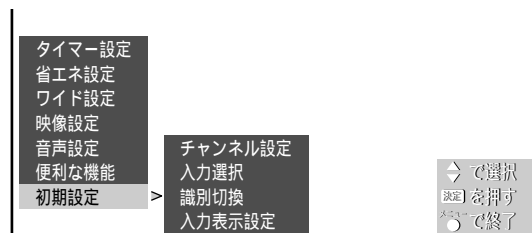
入力選択の設定（つづき）

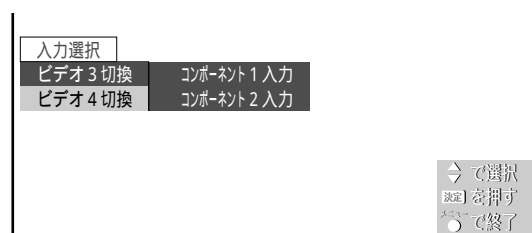
■ ビデオ4入力の設定：
ビデオ4入力端子は、4種類の切換え設定ができます。
（工場出荷時は「コンポーネント2入力」に設定されています。）

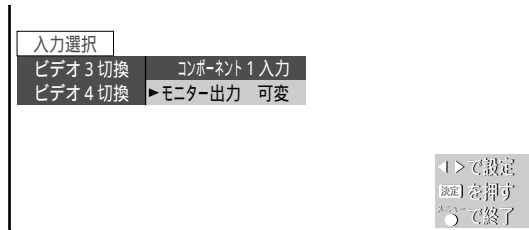
- **ビデオ4入力：**
  映像、音声端子に機器を接続したとき。
- **コンポーネント2入力：**
  D4映像端子に機器を接続したとき。
- **モニター出力可変：**
  モニター出力として使用するとき、可変に設定するとスピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。
- **モニター出力固定：**
  モニター出力として使用するとき、固定に設定するとモニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

ビデオ4入力端子の設定のしかた

＜例＞「モニター出力可変」に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「入力選択」を選び、決定を押す

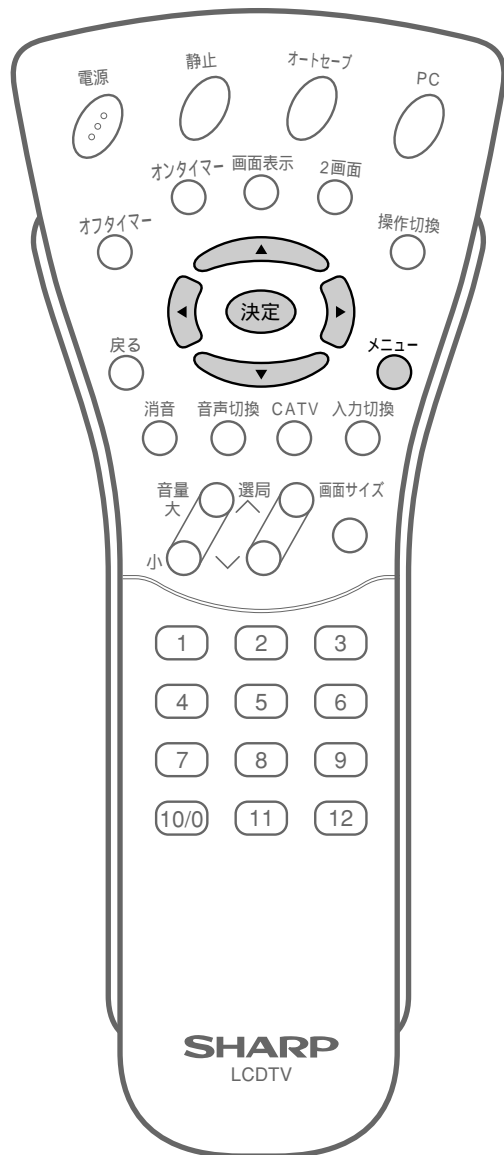
4 ▲▼で「ビデオ4切換」を選び、決定を押す

- オンタイマーの「チャンネル」設定にビデオ4を選んだときは、「モニター出力（可変／固定）」に設定できません。

5 ◀ ▶ で「モニター出力可変」を選び、決定を押す

6 メニューを押し、通常画面に戻す

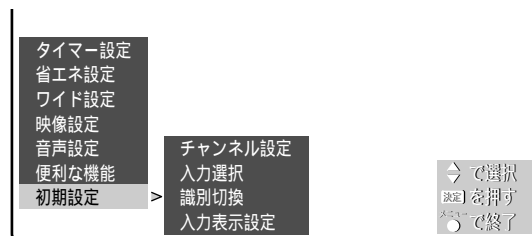
おしらせ

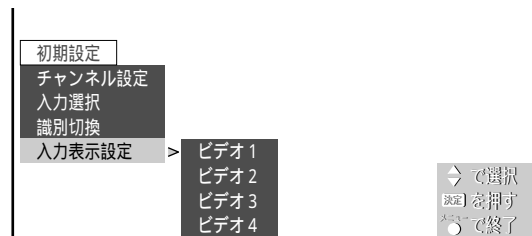
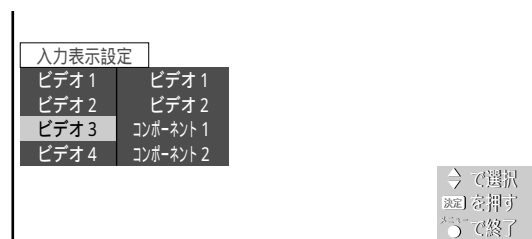
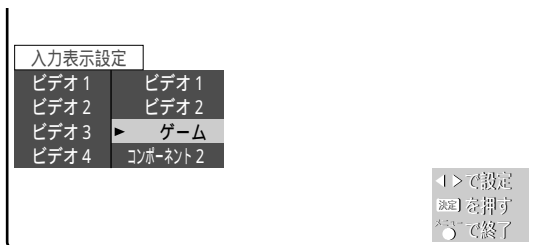
- モニター出力に設定したときは、ビデオ入力を切り換えてもビデオ4（コンポーネント2）はスキップされます。

外部機器に表示を合わせる

■ 入力表示設定：
ビデオ1〜4入力端子に接続している外部機器に合わせて、画面に表示する機器の名称を設定することができます。

入力表示設定をする

<例>ビデオ3の表示を「ゲーム」に変える

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ▲▼で「初期設定」を選び、決定を押す

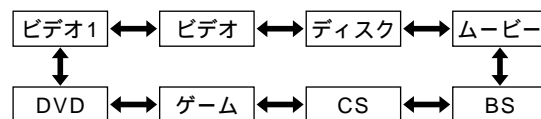
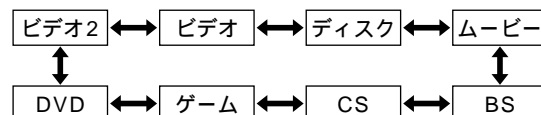
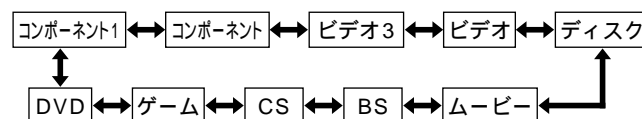
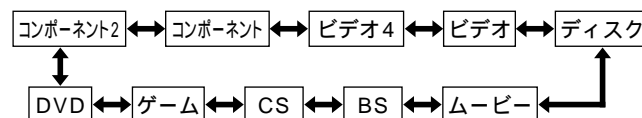
3 ▲▼で「入力表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「ビデオ3」を選び、決定を押す

5 ◀▶で「ゲーム」を選び、決定を押す

6 メニューを押し、通常画面に戻す

- **ビデオ入力を切り換えると「ゲーム」と表示されます。**
- **「ゲーム」表示を選んだ場合は、リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ゲーム」画面にしてから2時間が経過すると、「2時間がたちました」というメッセージが5分間表示されます。**

おしらせ

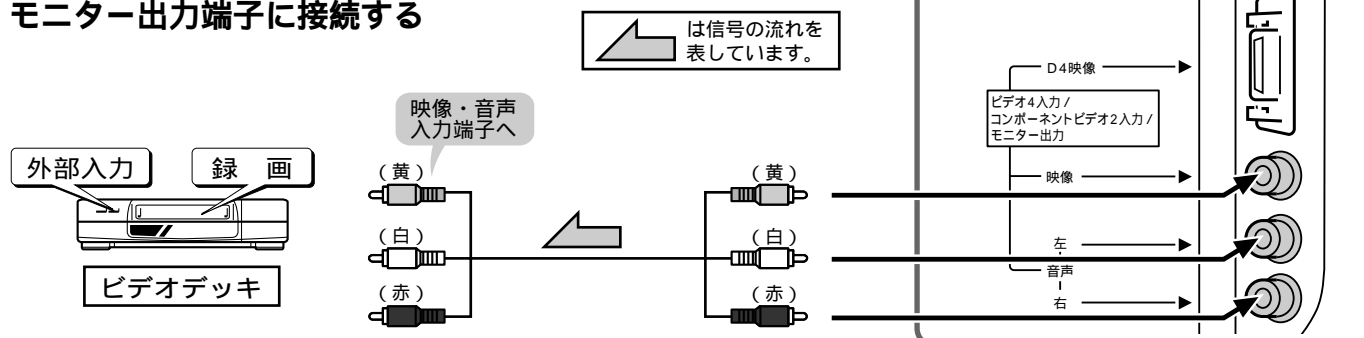
- ゲームの種類の中でピストル等を使った「シューティングゲーム」はできません。

入力表示設定できる名称

ビデオ1

ビデオ2

ビデオ3

ビデオ4

録画・編集

■ 本機で受信しているテレビの映像と音声を、ビデオ4入力／モニター出力端子から出力することができます。
メニューで設定を「モニター出力」に切り換えて、本機のビデオ4入力／モニター出力端子とビデオデッキ側の入力端子を接続すると、受信した映像と音声がビデオデッキ側で録画できます。

▼本体後面

モニター出力端子に接続する

おしらせ
- D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力（ビデオ4）端子から出力されません。

テレビ番組を録画する

<例> 6チャンネルの番組を録画する

1 **テレビチャンネル（6）を押し、録画する番組を選ぶ**

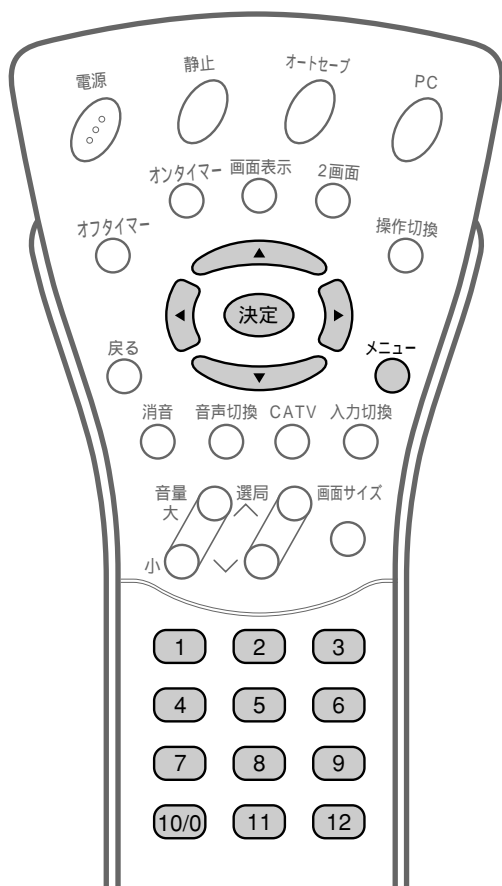
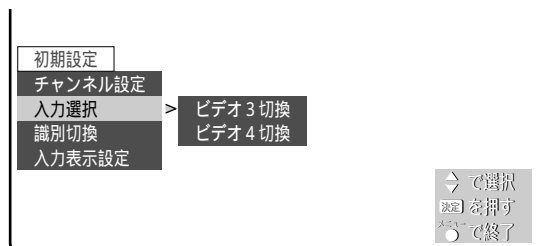
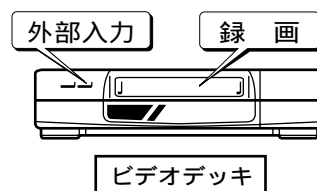
2 **（メニュー）を押し、メニュー画面を表示する**

3 **（▲）（▼）で「初期設定」を選び、（決定）を押す**

タイマー設定
省エネ設定
ワイド設定
映像設定
音声設定
便利な機能
初期設定 ＞
チャンネル設定
入力選択
識別切換
入力表示設定
で選択
決定 を押す
メニュー で終了

4 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定を押す

5 ▲ ▼ で「ビデオ４切換」を選び、決定を押す

6 ◀ ▶ で「モニター出力可変」または「モニター出力固定」を選び、決定を押す

- **ビデオデッキに録画用のモニター出力信号が入力されます。**

7 ビデオデッキを外部入力（モニター出力を接続している外部入力番号）に切り換えて、「録画」状態にする

- **これで本機が受信しているテレビ番組を、ビデオデッキに録画することができます。**

- 録画をするビデオデッキの入力切換えについて、詳しくはビデオデッキに付属の取扱説明書をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、モニター出力端子の映像も変わってしまいます。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- オンタイマーの「チャンネル」設定にビデオ４を選んだときは、「モニター出力（可変／固定）」に設定できません。

録画・編集(つづき)

■ 本機のビデオ入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、モニター出力端子に接続したビデオデッキで録画することができます。

▼本体後面

▼ビデオ1・3・4入力端子部

は信号の流れを表しています。

再　生

再生側ビデオカメラ

映像・音声出力端子へ

(赤)(白)(黄)

再 生

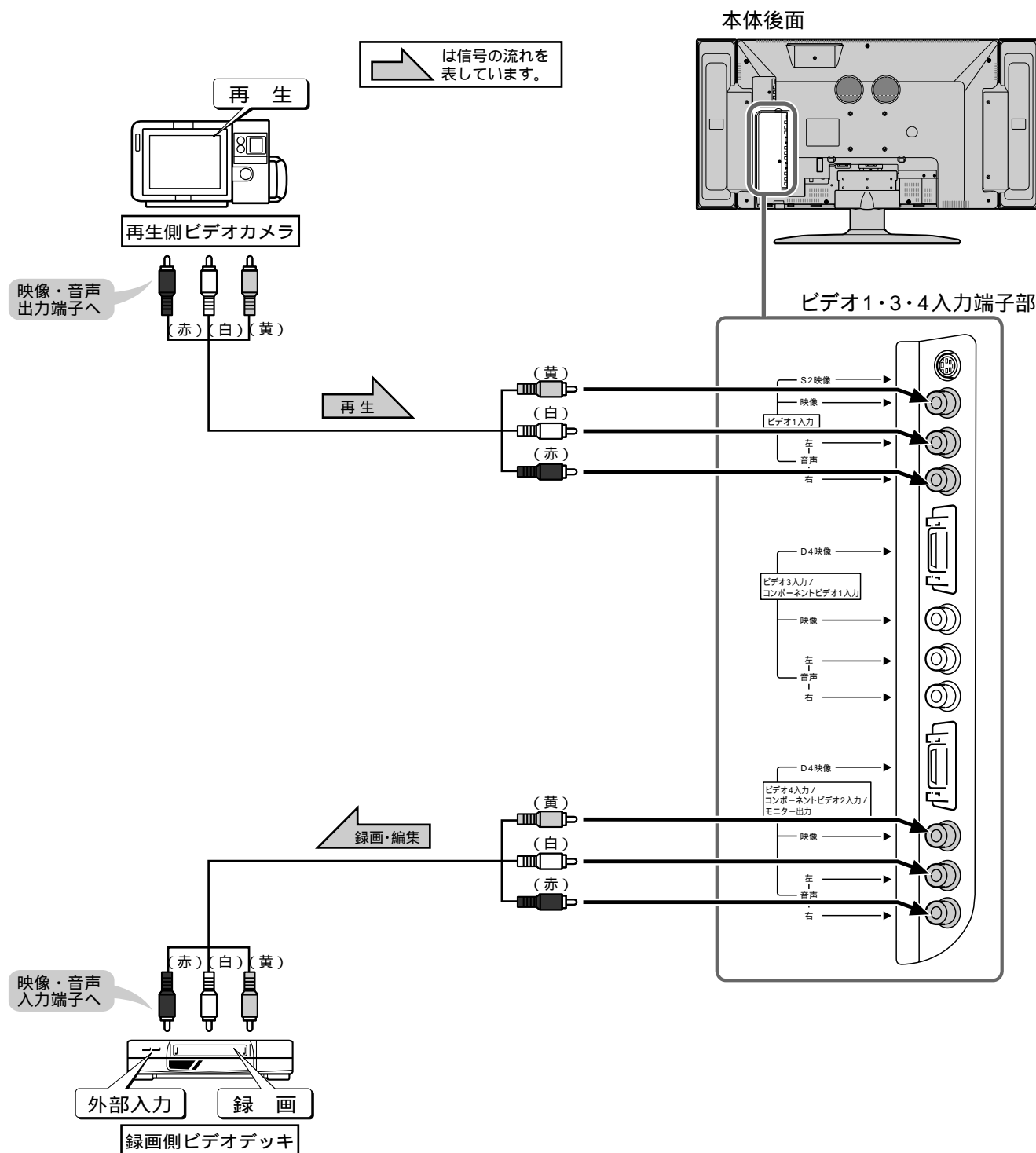
S2映像
映像
ビデオ1入力
左
音声
右

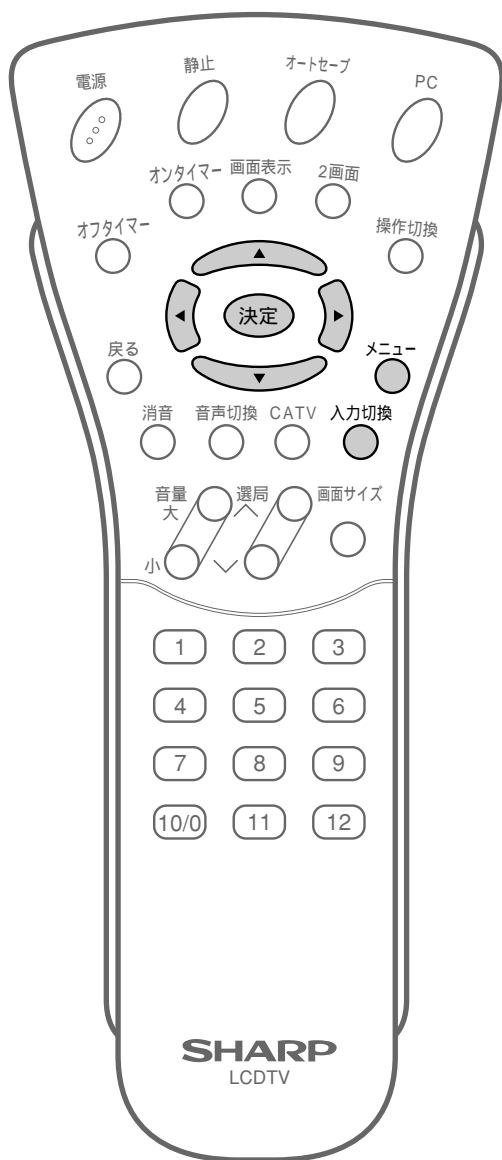
D4映像
ビデオ3入力／コンポーネントビデオ1入力
映像
左
音声
右

D4映像
ビデオ4入力／コンポーネントビデオ2入力／モニター出力
映像
左
音声
右

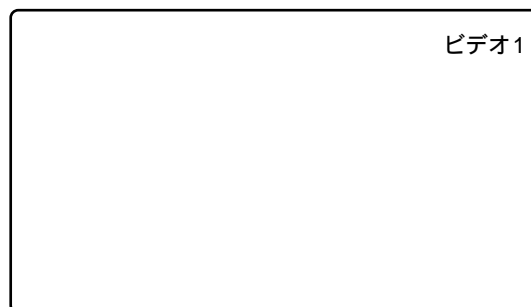
録画・編集

映像・音声入力端子へ

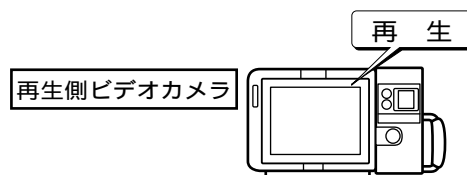
外部入力　録　画

録画側ビデオデッキ

• D4映像端子に接続した機器の入力映像は、モニター出力(ビデオ4)から出力されません。
録画・編集するときはD4映像端子に接続しないでください。

ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

<例>ビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を録画・編集する

1 **入力切換を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える（90ページ参照）**

2 **録画側ビデオデッキを接続したビデオ4入力端子の設定を「モニター出力」に切り換える（98〜99ページ参照）**

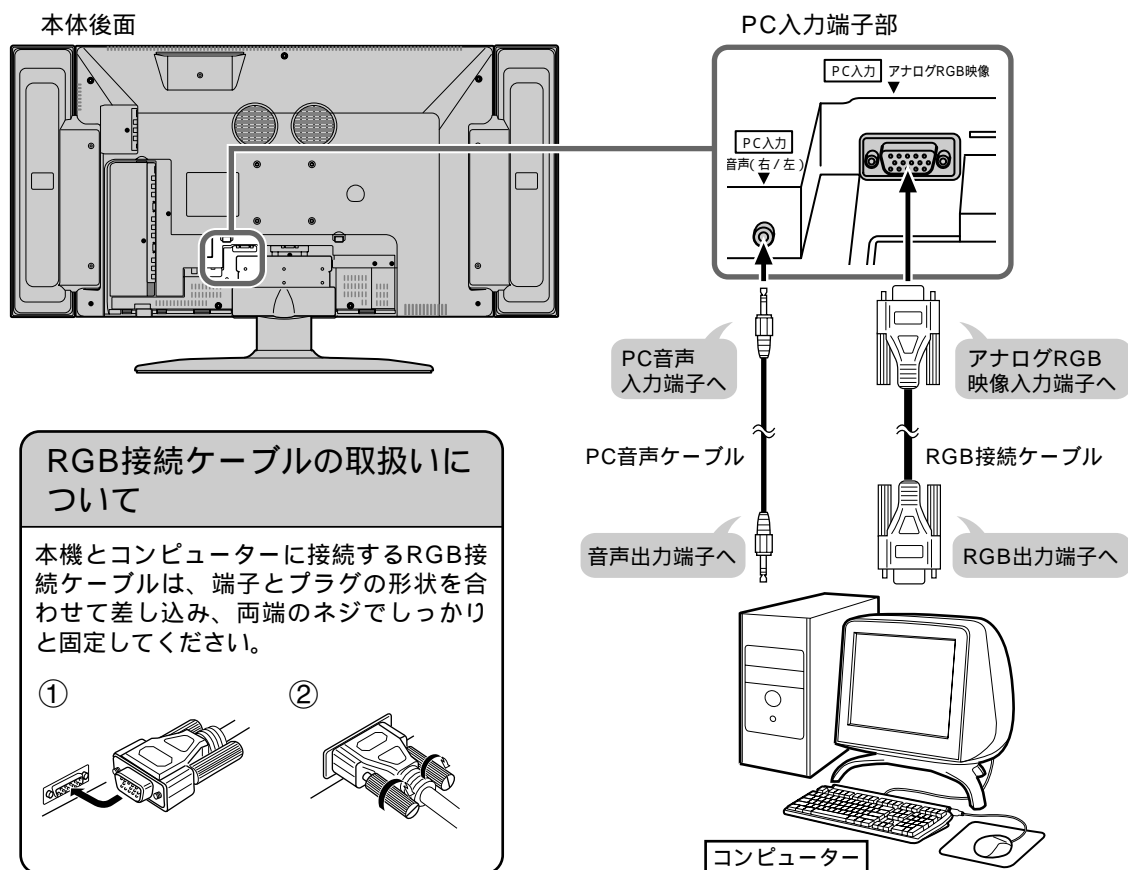
3 **録画側ビデオデッキを外部入力に切り換えて、「録画」状態にする**

4 **ビデオ1入力に接続したビデオカメラを「再生」状態にする**

- **これでテレビ画面で内容を確認しながら、再生側ビデオカメラから録画側ビデオデッキへ録画・編集することができます。**

- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で利用できません。

コンピューターをつなぐ

■ 本機は「プラグアンドプレイ機能」に対応しています。（コンピューターの操作について詳しくは、接続するコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

接続のしかた

コンピューター入力対応表

入力信号名称 <水平×垂直>画素数(ドット)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	入力信号名称 <水平×垂直>画素数(ドット)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640×400	24.82	56.42	SVGA 800×600	46.88	75.00
	31.48	70.10		53.67	85.06
	37.86	85.08	16″モード(MAC) 832×624	49.72	74.55
VGA 640×480	31.48	59.95			
	37.86	72.81	XGA 1024×768	48.36	60.00
	37.50	75.00		56.48	70.07
	43.27	85.01		60.02	75.03
13″モード(MAC) 640×480	35.00	66.67	19″モード(MAC) 1024×768	60.24	74.93
SVGA 800×600	35.16	56.25	W-XGA 1280×768	48.134	60.017
	37.88	60.32		47.986	59.833
	48.08	72.19		48.214	60.571

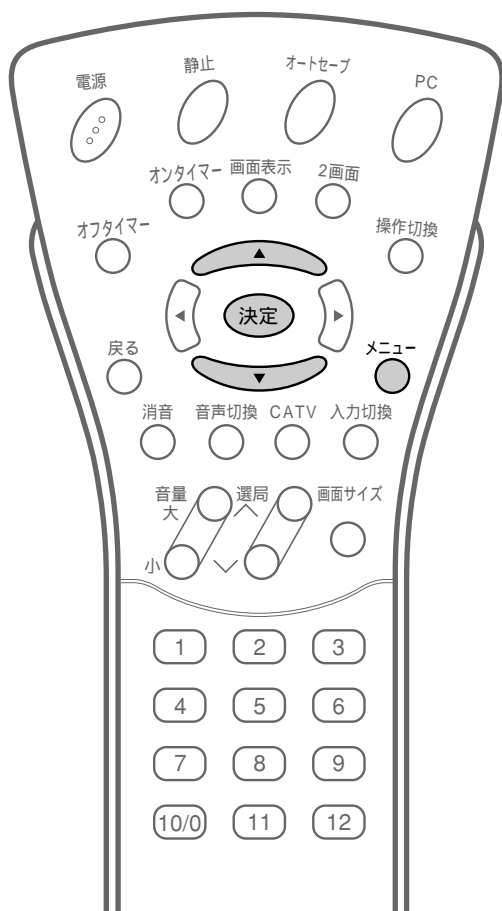
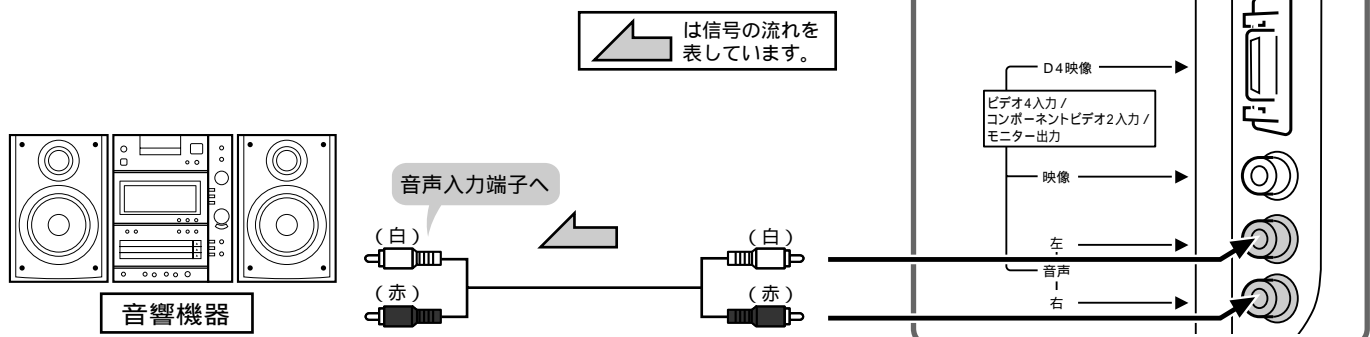
おしらせ
- 上表の画素数および周波数の数値は目安としてご覧ください。
実際に表示される数値とは異なることがあります。

音響機器をつなぐ

■ ビデオ4の切換えをモニター出力に設定すると、お手持ちの音響機器で音声を楽しむことができます。

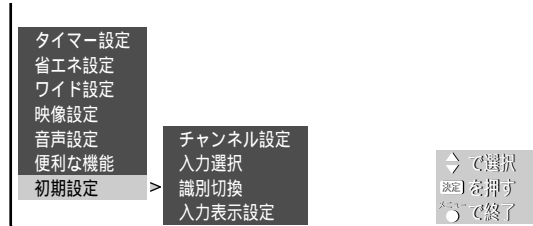
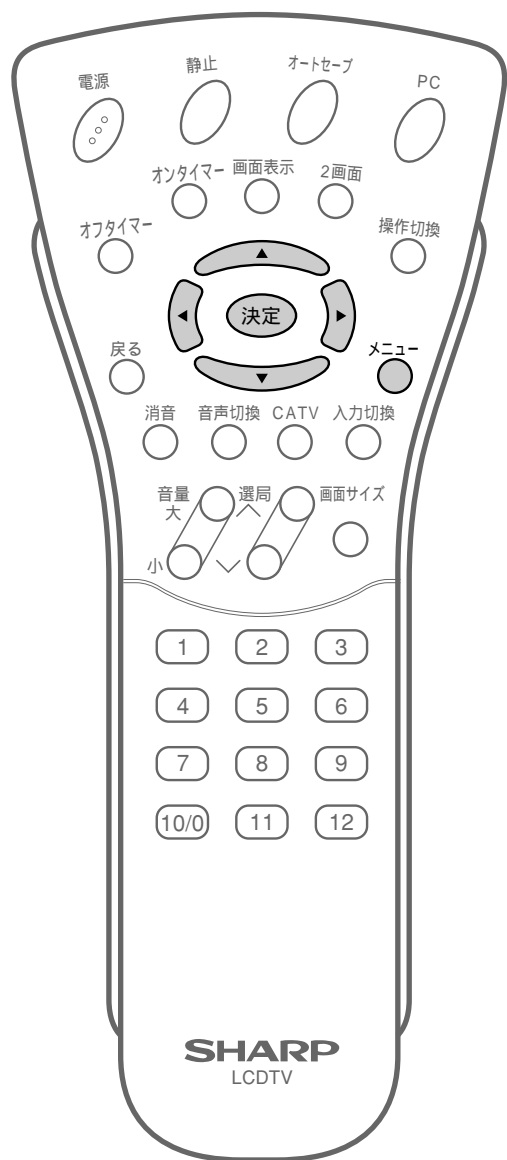
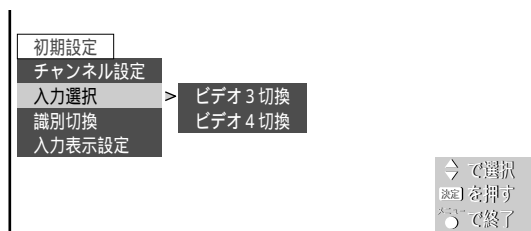
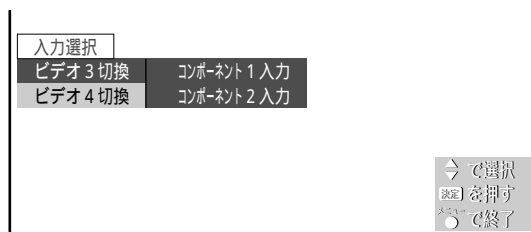
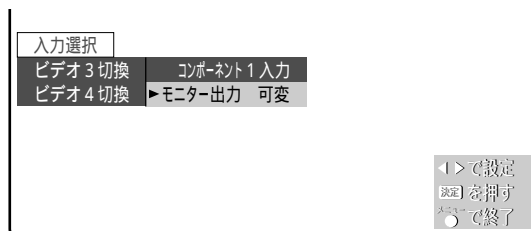
• **モニター出力設定**

「固定」のとき：
モニター出力の音量レベルは一定で出力されます。スピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。

「可変」のとき：
スピーカーからの音声は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。

モニター出力を可変に設定する

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 で「初期設定」を選び、決定を押す

つぎへ ▶

音響機器をつなぐ（つづき）

3 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定を押す

4 ▲ ▼ で「ビデオ４切換」を選び、決定を押す

5 ◀ ▶ で「モニター出力可変」を選び、決定を押す

6 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

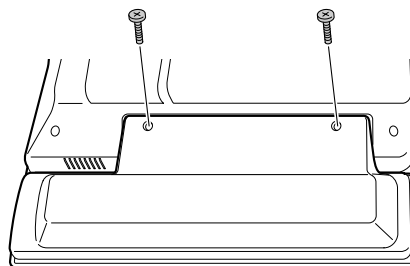
- 詳しくは、接続する機器の取扱説明書を合わせてお読みください。

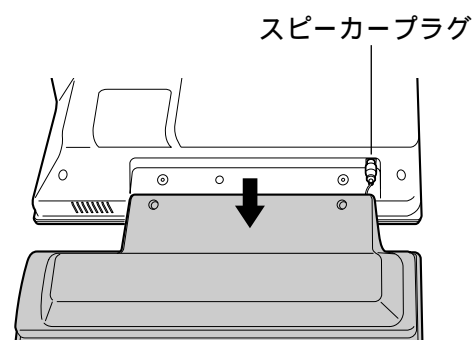
スピーカーの外しかた

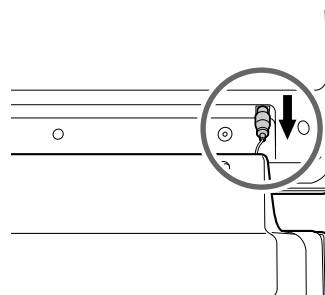
■ 本機のスピーカーは取付け、取外しができるセパレートタイプです。

作業を始める前に

- スピーカーの取外し、取付けの際は本体の電源を切ってください。
- スピーカーの取外し、取付けの際は、ディスプレイに傷が付かないよう、平らな面にクッションなどを敷いて寝かせた状態で作業を行ってください。

1 スピーカーを固定している取付けネジを取り外す

2 スピーカーを少し持ち上げてから、横にゆっくりとスライドさせる。

- **スピーカープラグが接続されていますので、引っ張りすぎないよう、ご注意ください。**

3 本体のスピーカー端子から、スピーカープラグを抜き取る。

- **コードを引っ張らず、スピーカープラグを持って抜いてください。**

4 スピーカーを本体から取り外す

ご注意

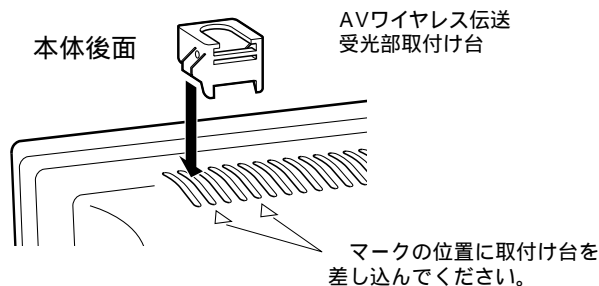
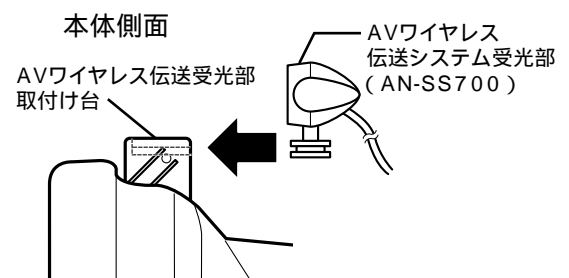
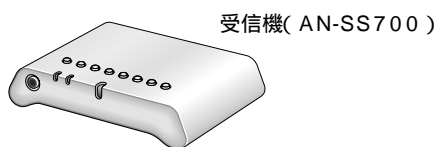
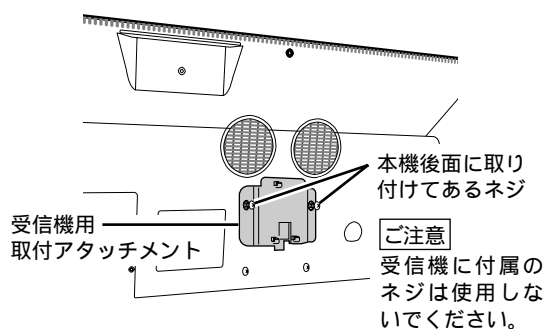
- 本体のスピーカー端子は付属スピーカー専用です。他機のプラグなど、付属のスピーカー以外は接続しないでください。
- スピーカープラグは奥まで完全に差し込んでください。
- スピーカー部を持って持ち上げたり、運んだりしないでください。

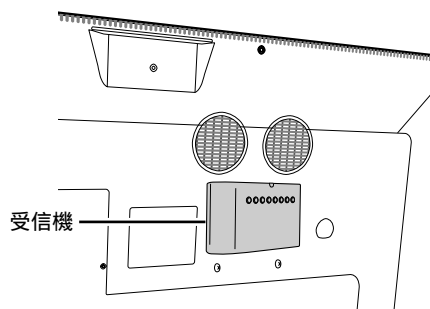
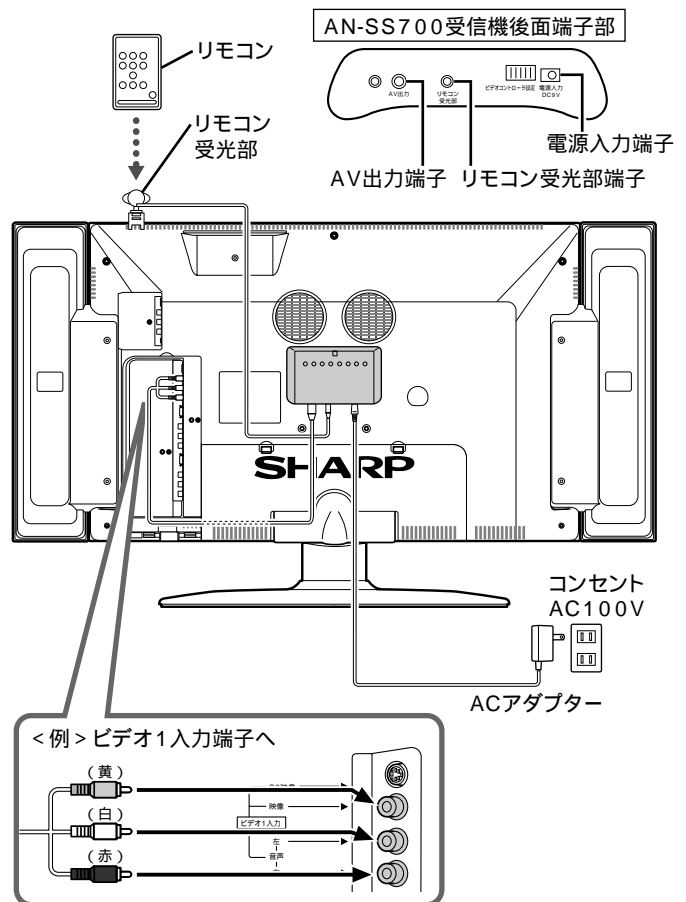
おしらせ

- 左右のスピーカーとも、同じ手順で行ってください。
- スピーカーを取り付けるときは、逆の手順を行ってください。

AVワイヤレス伝送受光部取付け台の取付けかた

■ 別売のAVワイヤレス伝送システムでお楽しみいただく場合は、本機に付属しているAVワイヤレス伝送受光部取付け台を使用します。
AVワイヤレス伝送受光部取付け台のガイドを本機上部の溝に取り付けます。

1 AVワイヤレス伝送受光部取付け台を、本機の指定位置に取り付ける

2 別売のAVワイヤレス伝送システム（AN-SS700またはAN-AV400）に付属の受光部を、AVワイヤレス伝送受光部取付け台に取り付ける

本機の後面に受信機を取り付ける。

1. 本機後面に取り付けてあるネジを使用して、本機の後面に受信機用取付アタッチメントを取り付けます。

2. 受信機用取付アタッチメントに、受信機を取り付けます。

<AN-SS700 接続例>

おしらせ

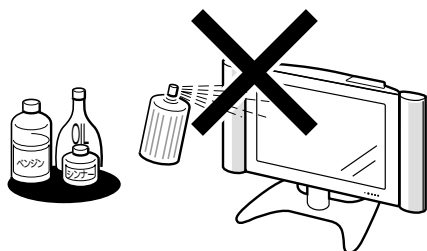
- 詳しくは、AVワイヤレス伝送システムの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

使用上のご注意

守っていただきたいこと

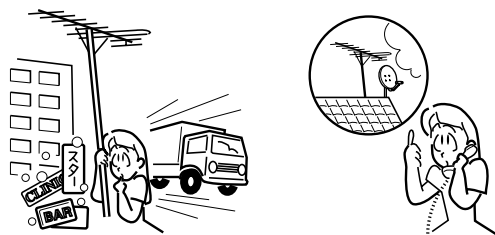
キャビネットのお手入れのしかた

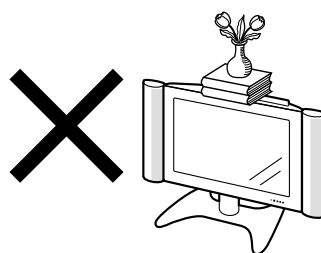
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

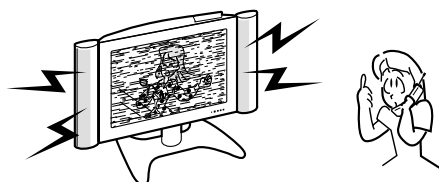
液晶カラーテレビ画面のお手入れのしかた

- 本機の画面の表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、画面の表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にほこりがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 画面の保護のため、乾いた布や化学雑巾で拭きとらないでください。
- お手入れの際は、本体天面の電源スイッチを必ず切って、コンセントから電源プラグを抜いて行ってください。

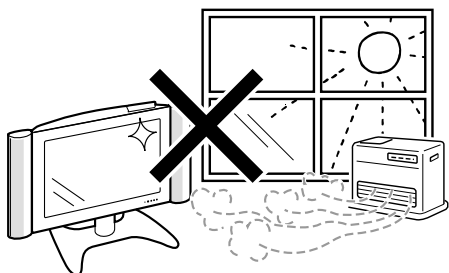
アンテナについて

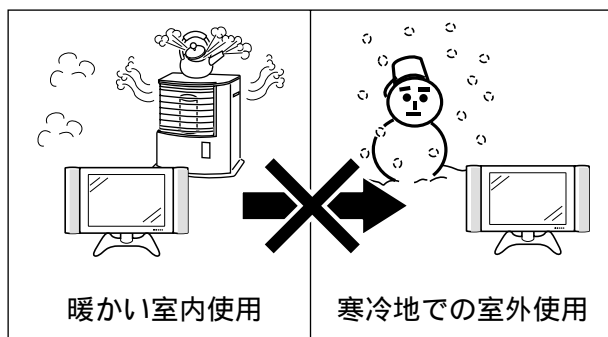
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

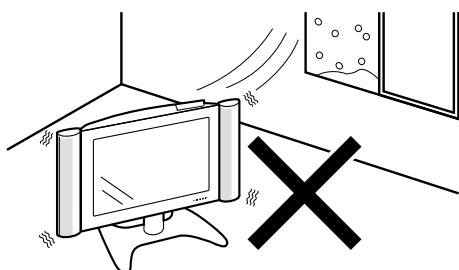
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上にはものを置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

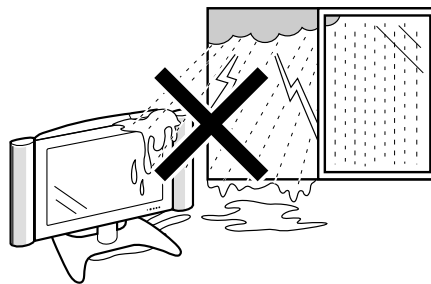
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

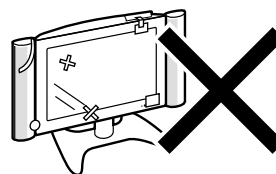
直射日光・熱気は避けてください

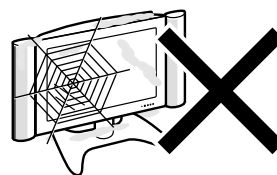
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

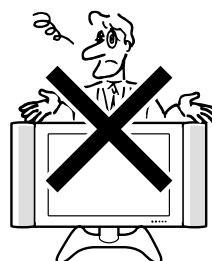
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

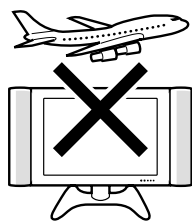
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

使用上のご注意(つづき)

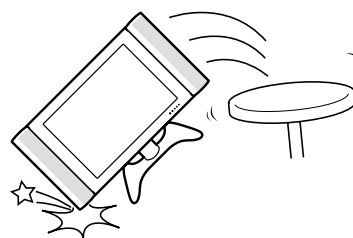
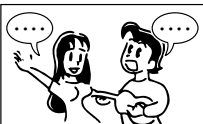
守っていただきたいこと

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。
  そのままご使用になると故障の原因になります。

持ち運びのとき

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押さないように、また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。
  特に液晶画面が割れることがあり危険です。振動の激しい所や不安定な所に置かないでください。
  また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

蛍光管について

本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間(調光が「標準」モードの場合)
- くわしくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源スイッチをいったん「切」にして、再度電源を入れ直して確認してください。

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては**116**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
テレビ側	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。	17 19 90
	リモコンが動作しない	・電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 ・リモコンの電池が消耗していませんか。 ・蛍光灯など強い光がリモコン受光部に当っていませんか。	13
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンプラグが差し込まれたままになっていませんか。	19 19 86
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	62
	特定のテレビチャンネルだけ映らない	・チャンネルの微調整がズレていませんか。	37
アンテナ側	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	18
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	−
	映像が二重になる	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの方向や高さを変えてみてください。	−
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。	−
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの方向が変わったり、こわれたりしていませんか。	18 − −

● 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体の電源ボタンを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いて、しばらくした後再度差し込み、動作を確認してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。（消耗部品は除く）
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製造打切後、8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな？と思ったら」（**115** ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　　名：LC-30HV3
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

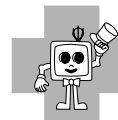
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は ………………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は ………………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は ………………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京サービスセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪サービスセンター	06-6794-3983	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

	TEL	FAX	所在地
東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（01.11）

別売品について

■液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

No.	品　　名	機　種　名
1	壁掛け金具	AN-28AG1
2	フロアースタンド	AN-30FS1
3	アンテナ整合器	AN-300RF
4	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF
5	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
6	AVデジタルワイヤレス伝送システム	AN-SS700

（2001年10月現在）

•本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

主な仕様

形名		LC-30HV3
種類		液晶カラーテレビ
受信チャンネル		VHF1〜12チャンネル／UHF13〜62チャンネル／CATV C13〜C38チャンネル
液晶パネル	**画面サイズ**	30V型（横643mm×縦385mm／対角750mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	2,949,120ドット（縦768×横1,280×3）
アンテナ入力		VHF/UHF75Ω不平衡型
音声出力		20W（10W＋10W）
スピーカー		8cm 丸形 2個
定格電圧		AC100V
定格周波数		50／60Hz
消費電力		135W リモコン待機時：0.5W
年間消費電力		187kWh/年
接続端子		ビデオ入力4系統4端子、S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、 アナログRGB映像入力端子（ミニD-sub 15pin）1系統、 PC音声入力端子（3.5φステレオ）1系統、モニター出力1系統1端子（ビデオ4兼用）、 アンテナ入力端子、ヘッドホン出力端子、 専用スピーカー接続端子、AC100V入力端子
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅1,002mm×高さ597mm×奥行き305mm 幅1,002mm×高さ497mm×奥行き85mm（スタンド含まず） 幅766mm×高さ497mm×奥行き79mm（スピーカー、スタンド含まず）
本体質量		20.8kg 16.9kg（スタンド含まず） 14.1kg（スピーカー、スタンド含まず）

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのであらかじめ、ご了承ください。

メニュー画面階層図

■この項目は、本機の設置調整をするときの手助けとしてご覧ください。

テレビメニュー階層図

PCメニュー階層図

＜第1階層＞　＜第2階層＞　＜第3階層＞　＜第4階層＞　＜第5階層＞

- タイマー設定
  - オフタイマー → しない、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分
  - オンタイマー
    - オンタイマー設定 → 切、入
    - オン時刻設定 → 午前0時00分〜午前11時59分、午後0時00分〜午後11時59分
    - チャンネル → 1〜12、ビデオ1〜4、C13〜C38（ただしスキップ「切」設定のチャンネルのみ）
    - 音量 → 0〜60
  - 時刻設定 → 午前0時00分〜午前11時59分、午後0時00分〜午後11時59分
- 省エネ設定
  - 調光 → 明るい、標準、暗い
  - 無操作オフ → 切、入
  - 無信号オフ → 切、入
- ワイド設定
  - 画面サイズ → ノーマルモード、フルモード、リアルモード
  - 位置調整
    - オート調整
    - クロック → −32〜0〜+32
    - 水平位相 → −16〜0〜+16
    - 垂直位置 → −32〜0〜+32
    - 水平位置 → −64〜0〜+64
    - リセット
  - 入力信号表示
    - 入力信号表示
- 映像設定
  - 映像ポジション
  - 映像調整
    - 映像 → 0〜30
    - 明るさ → −15〜0〜+15
    - 色温度 → 高、標準、中、低、手動
    - 赤 → −15〜0〜+15
    - 青 → −15〜0〜+15
    - 緑 → −15〜0〜+15
    - リセット
  - プロ設定
- 音声設定
  - 音声ポジション → 標準、映画、音楽
  - 音声調整
    - BBE → 切、入
    - EQ調整
      - 120Hz → −10〜0〜+10
      - 500Hz → −10〜0〜+10
      - 1.5kHz → −10〜0〜+10
      - 5kHz → −10〜0〜+10
      - 10kHz → −10〜0〜+10
      - リセット
    - バランス → 左Max〜センター〜右Max
    - リセット
- 便利な機能
  - ヘッドホン音量 → 0〜60
  - ノイズクリーン
  - フィルムモード
  - 映像反転 → しない、左右反転

- 画面に濃い灰色で表示されている項目は、選択できないことを表しています。

用語解説

• **よく使われるテレビ用語です。**

■ 16：9
BSデジタルハイビジョン放送の画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ BS（Broadcast Satellite）
放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ BS デジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ CS デジタル放送
通信衛星を使用した放送のことです。多チャンネルの放送を高画質、高音質で楽しめます。

■ D 端子
BSデジタル放送の高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ HDTV（High Definition Television）
1125iや750pなどのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム（フィールド周波数60Hz）、走査線数525本のインターレース方式です。

■ S1/S2 映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「ズーム」に、スクイーズは「フル」になります。

■ SDTV（Standard Definition Television）
従来の走査線525本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送
BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、1フィールドめですべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、1フィールドで525本の走査線を描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。

■ ワイドクリアビジョン放送
地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

用語索引

●英数

●あ〜お

●か〜こ

●さ〜そ

●た〜と

●な〜の

●は〜ほ

●ま〜も

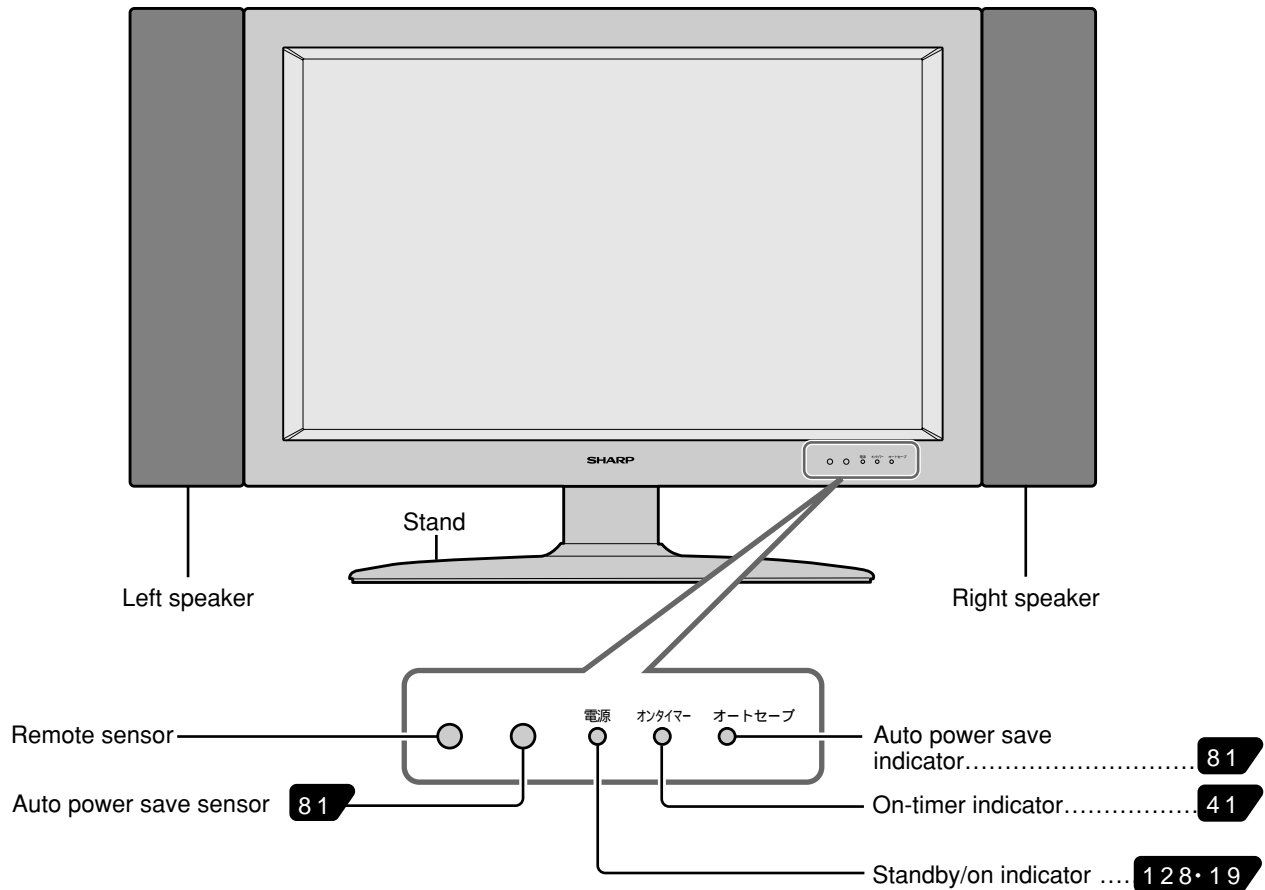
●ら〜ろ

●わ

Quick Start Guide (クイックスタートガイド)

Part Names

■ The number shown in [page number mark] is the page number where the part's function and/or use is explained.

Main Unit (Front view)

Main Unit (Top view: Control section)

Adjusting the LCD panel angle

- Firmly holding the foot of the stand down to a steady surface with one hand, grab a top edge of the display section, and tilt or rotate the panel with the other hand. The panel can be tilted up to 10˚ forward, 8˚ backward, and rotated horizontally up to 10˚ clockwise and counter-clockwise.

Quick Start Guide（クイックスタートガイド）

Main Unit (Rear view)

• The name and function of each terminal/jack/connector and connection examples are given under “ **端子のなまえとはたらき** ” on pages 86 and 87.

AV in 2 terminals 88

Headphones jack 86

AV in 1 terminals··· 89

AV in 3/component in 1 terminals········· 89

AV in 4/component in 2/monitor output terminals······· 89·102

Antenna (VHF/UHF) connector······················ 18

PC audio-in jack············ 106

Analog RGB video-in connector····················· 106

Power cable connector (AC 100V)··· 17

Control terminal (Adjustment terminal)

Opening the terminal covers

Holding the lock at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Holding the two locks at the top of the cover downward, pull the cover off the back of the main unit.

Part Names (Remote Control)

■ The number shown in ▰ is the page number where the part's function and/or use is explained.

Freeze ··· 78
Press to freeze the picture. A frozen image and a moving picture are displayed simultaneously on split screens.

Standby/On ··· 128·19
Press to turn on the TV set or engage it in the standby mode.

On timer ··· 40
Press to activate or deactivate the on-timer function.

Sleep timer ··· 42
Press to select the remaining time period before which the TV set automatically turns off and enters the standby mode.

Cursor (Up, Down, Left, Right) ··· 20
Use to select a menu item, column, etc.

Return ··· 20
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

Enter/Confirm ··· 20
Press to confirm a selected setting or menu item.

Mute ··· 128·19
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Sound select ··· 73
Press to select the desired sound.

Volume (大Up/小Down)* 128·19
Press to adjust the volume.

TV channel select ··· 128·19
- Press to select a regular TV (VHF, UHF) or CATV channel.
- Use for channel settings.

Auto power save ··· 81
Press to engage the TV set in the auto power save mode. The screen brightness is automatically adjusted depending on the ambient illumination.

PC ··· 56
Press to select the PC mode. (The PC mode screen is displayed.)

Display ··· 128·19
Press to display or turn off the channel call, etc.

Split screen ··· 76
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

Operatable screen ··· 77
Press to switch the operatable screen (screen with the ♪ mark in the channel number display) when the TV set is in the split screen mode.

Menu ··· 20
Press to display or turn off the menu screen.

Input select* ··· 90
Press to select the desired input.

CATV ··· 128·19
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

Picture aspect ratio
Press to select the desired picture aspect ratio.
- TV/video mode: normal, wide, cinema, full, auto ··· 45
- PC mode: normal, full, real ··· 56

Channel (∧Up/∨Down)* 128·19
Press to select next higher or lower channel.
- CATV channels are factory set to be skipped.

*These functions can also be operated using the corresponding control buttons on the main unit.

電源 静止 オートセーブ PC オンタイマー 画面表示 2画面 オフタイマー 操作切換 決定 戻る メニュー 消音 音声切換 CATV 入力切換 音量 大 小 選局 画面サイズ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12 SHARP LCDTV

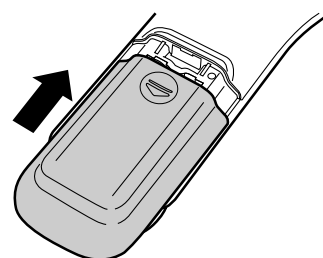
Inserting the batteries in the remote control

1 Open the battery cover.

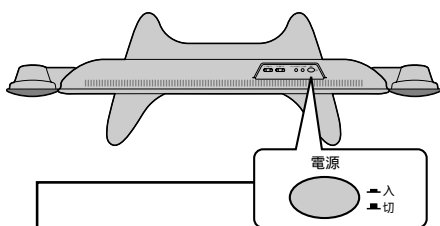
Holding down the ▽ mark, slide the cover in the direction of the arrow.

2 Insert the supplied two AAA batteries.

Make sure that the terminals match the ⊕ and ⊖ indicators in the battery compartment.

3 Close the cover.

Make sure that the two projections located at the rear end of the reverse side of the cover are fit into the holes.

Quick Start Guide (クイックスタートガイド)

Basic Operations

❶ Turn on the main power.

(The main power on/off switch on the main unit)

- The standby/on indicator will light green.
- Once the main power is turned on, you can use the remote control unit to operate the TV set.

❷ Select a channel.

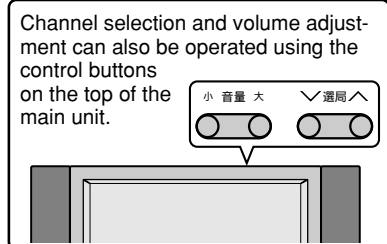
- Channel (∧Up/∨Down)
- TV channel buttons

❸ Adjust the volume.

The volume indicator will appear on the screen showing the volume level with numerals and a bar.

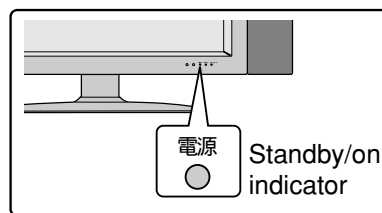
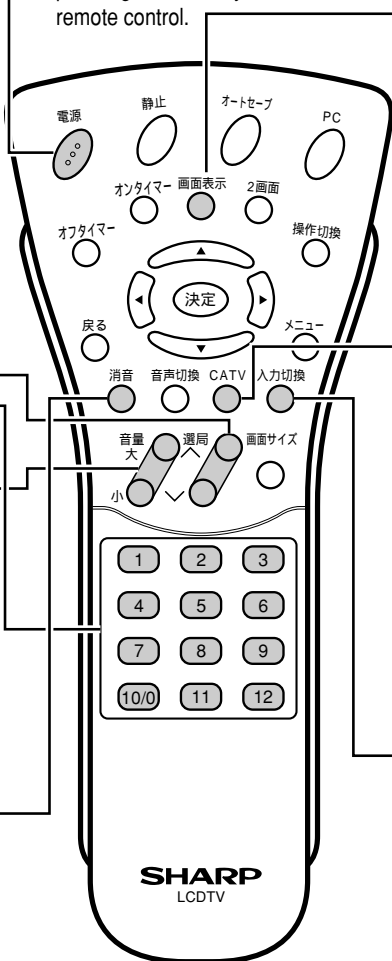
Press to temporarily turn off the sound.

- Press again to return the sound volume to the previous level.

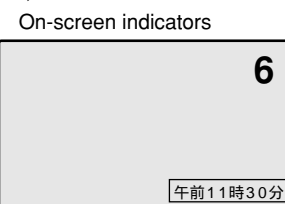
Channel selection and volume adjustment can also be operated using the control buttons on the top of the main unit.

❹ Turn off the TV.

(The Standby/On button on the remote control)

- The standby/on indicator will light red.
- The TV set will enter the standby mode. You can turn the TV on or off by pressing the Standby/On button on the remote control.

電源 Standby/on indicator

Press to display the channel number or switch the on-screen indicators.

- Use to display the channel number, clock, on-timer start time, sleep-timer remaining time, etc.

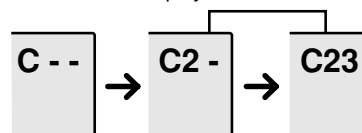
▼On-screen indicators

Use to select a CATV channel by entering the 2-digit channel number.

<Ex.> Selecting channel C23

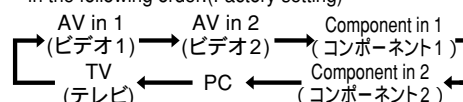
① Press the CATV button.

② Enter the channel number with the TV channel select buttons (1-10/0).

▼ On-screen display

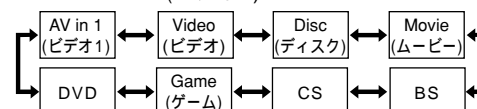
C - - → C2 - → C23

Press to select the desired input.

- Each time you press the button, the screen changes in the following order.(Factory setting)

AV in 1 (ビデオ1) → AV in 2 (ビデオ2) → Component in 1 (コンポーネント1) → Component in 2 (コンポーネント2) → PC → TV (テレビ)

AV input indicator

- The selected AV input indicator can be changed as shown below according to the type of connected equipment and the settings made. For further details, see pages 100 and 101.

<Ex.>AV in 1(ビデオ1)

AV in 1 (ビデオ1) ↔ Video (ビデオ) ↔ Disc (ディスク) ↔ Movie (ムービー) ↔ BS ↔ CS ↔ Game (ゲーム) ↔ DVD

Note

Preset channels

- The TV set is factory preset to receive VHF channels 1 to 12. See pages 32 and 33 if you wish to receive UHF broadcast or re-set the VHF channels.

When the broadcasting service for the selected channel is over for the day

- Approximately 5 minutes after the end of the service, the power automatically turns off, and the TV set enters the standby mode with the standby/on indicator lit red. (No-signal-turn-off feature: see page 84)
- The no-signal-turn-off function may not work properly if the TV set receives a weak signal from any other channel or some other wave.
- The no-signal-turn-off feature works the same way when the TV set is in the AV input mode.

CATV channel reception

- CATV channels can only be received in areas where CATV broadcast services are available.
- To receive CATV channels, you need to subscribe to your local CATV broadcasting company. To watch (and record) charged, scrambled broadcast, you need to connect a home terminal adapter to the TV set. For further details, consult with your local CATV service provider.
- The selectable CATV channels are C13 through C38.

お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

■ **この製品についてのご意見・ご質問**
「お客様相談センター」にお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649
FAX(043)299-8280
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649
FAX(06)6792-5993
〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72

受付時間 ： 月曜日～土曜日　午前9時～午後6時
日曜日・祝日　　午前10時～午後5時
（年末年始は除きます。）

■ **製品の故障や部品のご購入などの相談**
「修理相談センター」にお申し付けください。

（くわしくは、117ページをご覧ください。）
修理サービスを依頼される前に、**115**ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
電話（06）6621-1221（大代表）
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地
電話（0287）43-1131（大代表）

★この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-7595CEZZ ⚠1
01K.K/K